

令和5年度 保土ヶ谷区区民意識調査

調査結果報告書

令和6年2月

横浜市保土ヶ谷区役所

目次

I. 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 調査内容	1
4 回収結果	1
5 報告書の見方	1
II. 回答者の属性	2
III. 集計分析結果	10
1 保土ヶ谷区の魅力づくりについて	10
これからのまちの魅力づくりに期待すること(問1)	10
区内の歴史的な魅力を感じるスポット(問2)	12
歴史的スポットに触れることができる取組として、興味を持つ取組(問 2-1)	13
2 市の行政サービスについて	14
『満足しているサービス』、『今後、充実してほしいと思うサービス』(問3)	14
3 定住意向や保土ヶ谷区への愛着について	22
保土ヶ谷区に住むことになった理由(問4)	22
保土ヶ谷区を住居地を選んだ理由(問 4-1)	23
保土ヶ谷区への定住意向(問5)	24
転居する理由(問5-1)	26
保土ヶ谷区への愛着(問6)	27
4 地域との関わりや地域活動について	28
隣近所との『日頃の付き合い方』、『理想の付き合い方』(問7)	29
地域活動参加の有無(問8)	33
参加、または、取り組めると思う地域活動(問9)	36
今後地域の中で充実してほしい活動(問 10)	38
今後の地域活動についての考え(問 11)	40
地域活動の参加者を増やすために必要なこと(問 12)	41
民生委員・児童委員が行っている活動の認知度(問 13)	42
5 自治会町内会について	44
自治会町内会が行っている『活動の認知度』、『期待する活動』(問 14)	44
自治会町内会への加入状況(問 15)	46
加入していない理由(問 15-1)	48
自治会町内会に加入すると大変だと思うこと(問 16)	49
6 福祉・健康づくりについて	51
「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」の認知度(問 17)	51

「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域(問 18)	52
健康づくりについて知りたい情報(問 19)	54
健診の受診状況(問 20)	56
健診を受診していない理由(問 20-1)	58
口の健康について気にしていること(問 21)	60
普段の食生活について(問 22)	61
朝食を食べない最も大きな理由(問 22-1)	64
運動の習慣(問 23)	66
歩数の測定頻度(問 24)	67
健康管理アプリやウェアラブルデバイスの活用意向(問 25)	68
健康に関する言葉の認知度(問 26)	69
7 子ども・子育て支援について	71
「安心して子育てできるまち」(問 27)	71
子育てをする上で、特に必要なこと(問 28)	73
子育てをしている家庭にできる協力(問 29)	76
児童虐待が疑われる場面を見聞きしたときの対応(問 30)	79
8 防災・減災対策について	81
地域防災拠点の場所の認知度(問 31)	81
災害に備えるために知りたい情報(問 32)	83
食料・飲料水の備蓄状況(問 33)	85
防災に関する訓練や研修会などへの参加状況(問 34)	86
家庭における災害発生時の対策(問 35)	88
9 花と緑・環境に対する意識について	90
「ほどがや花憲章」の認知度(問 36)	90
「花と緑のあふれる魅力ある街」のイメージ(問 37)	92
環境に配慮した行動(問 38)	94
10 区制 100 周年について	98
区制 100 周年の認知度(問 39)	98
次の 100 年にも残したいと思う保土ヶ谷区の魅力(問 40)	99
区制 100 周年に向けて、期待する取組(問 41)	101
11 スマートフォンの使用状況について	103
スマートフォンの所有率(問 42)	103
スマートフォンの『現在、使用している機能』、『今後、使用してみたいと思う機能』(問 42-1)	104
12 保土ヶ谷区の広報について	106
市役所や区役所の情報を入手するときに見ている媒体(問 43)	106
IV. 調査票	110

I. 調査概要

1 調査目的

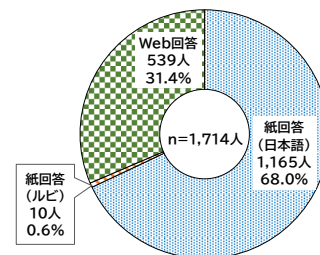
区民ニーズや区民意識、地域課題を的確に把握・分析し、考察することで今後の区政運営や区で実施する施策実現に向けた基礎・根拠資料として活用することを目的とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 : 横浜市保土ヶ谷区全域
- (2) 調査対象 : 区内在住 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 : 4,000 人 (うち外国籍区民 110 人)
- (4) 標本抽出 : 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 : 調査票郵送、郵送又はインターネット回答による回答 (無記名調査)
- (6) 調査期間 : 令和 5 年 6 月 12 日(月)～6 月 26 日(月)

3 調査内容

- (1) 保土ヶ谷区の魅力づくりについて
- (2) 市の行政サービスについて
- (3) 定住意向や保土ヶ谷区への愛着について
- (4) 地域との関わりや地域活動について
- (5) 自治会町内会について
- (6) 福祉・健康づくりについて
- (7) 子ども・子育て支援について
- (8) 防災・減災対策について
- (9) 花と緑・環境に対する意識について
- (10) 区制 100 周年について
- (11) スマートフォンの使用状況について
- (12) 保土ヶ谷区の広報について
- (13) あなた自身やご家族について



4 回収結果

- (1) 有効回収数 : 1,714 件
- (2) 有効回収率 : 42.9%

アンケートへの回答方法
(紙回答が 68.7%、Web 回答が 31.1%)

5 報告書の見方

- (1) 図(グラフ)の中で使用されているアルファベット n は、その設問に対する回答者数をあらわす。
- (2) 回答の比率(すべて百分率(%))で表示は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- (3) 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- (4) 回答者数が 30 未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている(n=1,714)。

※クロス集計表の見方

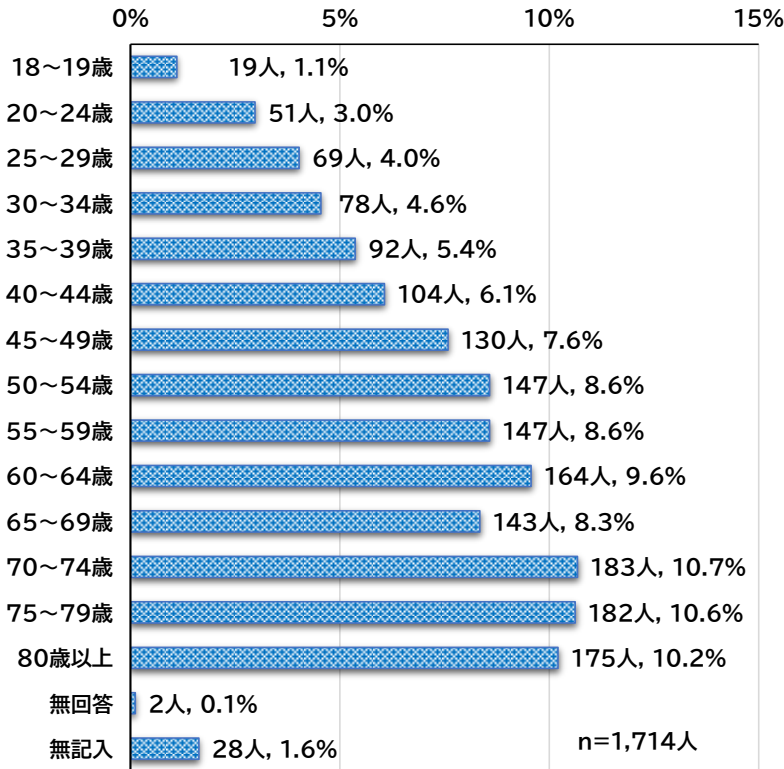
塗りつぶし: 選択肢の中で、第1位の項目については塗りつぶしている。

太字: 属性別にみて、区全体の数値より10ポイント以上高い項目については太字で表記している。

Ⅱ. 回答者の属性

年齢(F1)

- ・「70～74歳」が10.7%と多く、次いで「75～79歳」、「80歳以上」、「60～64歳」の順に多い。
- ・年代別で見ると、10代から50代までが48.9%、60代以上だけで49.4%とほぼ半数を占めている。

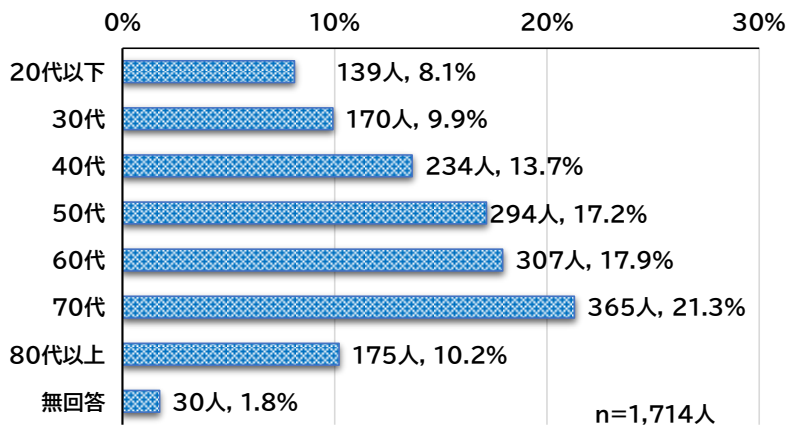


【参考】保土ヶ谷区の年齢別人口

	人口(人)	構成比(%)
18～19歳	3,594	2.0
20～24歳	11,828	6.7
25～29歳	12,040	6.8
30～34歳	10,929	6.2
35～39歳	11,722	6.6
40～44歳	13,017	7.4
45～49歳	15,152	8.6
50～54歳	16,898	9.6
55～59歳	14,956	8.5
60～64歳	12,465	7.1
65～69歳	10,759	6.1
70～74歳	12,979	7.3
75～79歳	10,928	6.2
80歳以上	19,509	11.0
保土ヶ谷区計	176,776	100.0

横浜市統計情報ポータル
人口・世帯 市・区の年齢別人口
(住民基本台帳による、令和5年3月末時点)

年代

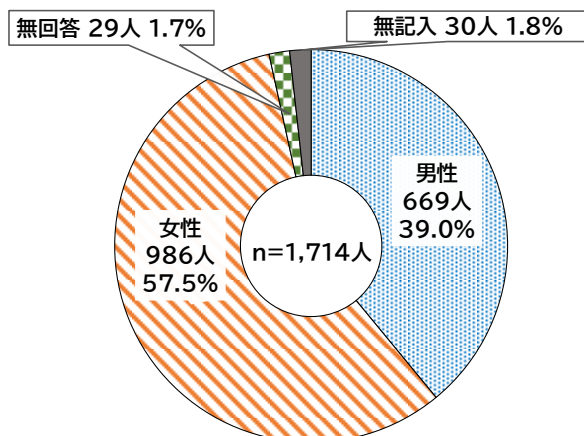


	人口(人)	構成比(%)
20代以下	27,462	15.5
30代	22,651	12.8
40代	28,169	15.9
50代	31,854	18.0
60代	23,224	13.1
70代	23,907	13.5
80代以上	19,509	11.0
保土ヶ谷区計	176,776	100.0

横浜市統計情報ポータル
人口・世帯 市・区の年齢別人口
(住民基本台帳による、令和5年3月末時点)

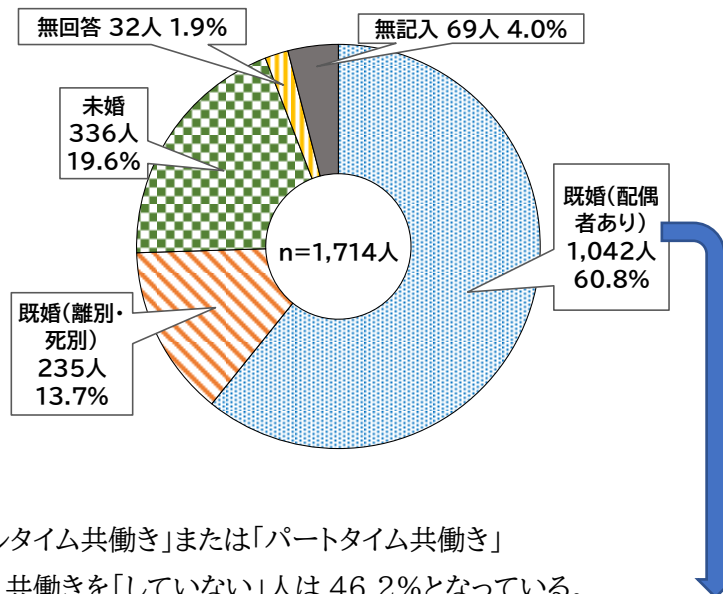
性別(F2)

- ・「女性」が57.5%と、「男性」の39.0%より18.5ポイント高い。



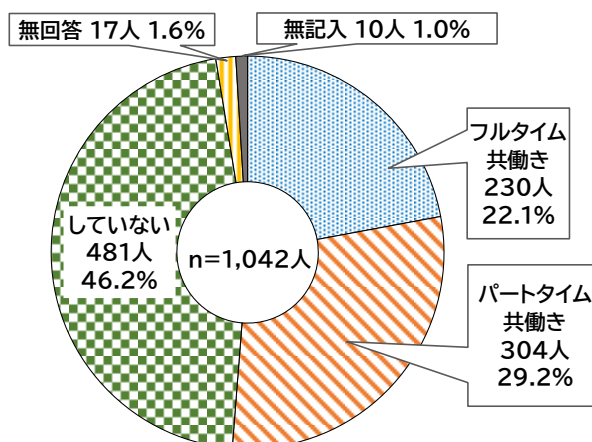
既婚・未婚(F3)

- ・「既婚(配偶者あり)」が60.8%、「既婚(離別・死別)」が13.7%、「未婚」が19.6%である。



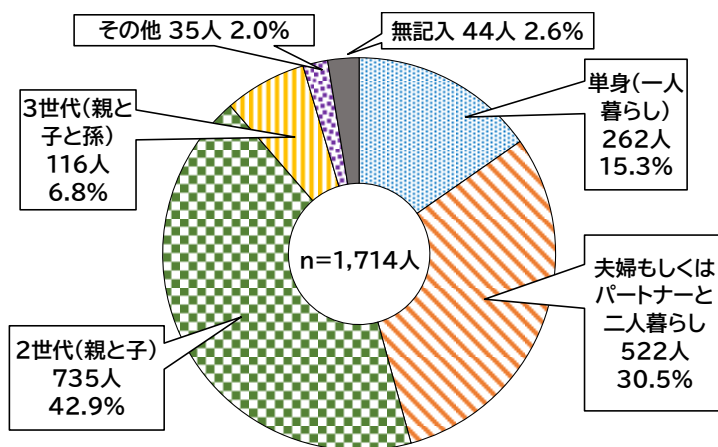
既婚の共働き(F3-1)

- ・配偶者がいる方で、「フルタイム共働き」または「パートタイム共働き」をしている人は51.3%、共働きを「していない」人は46.2%となっている。



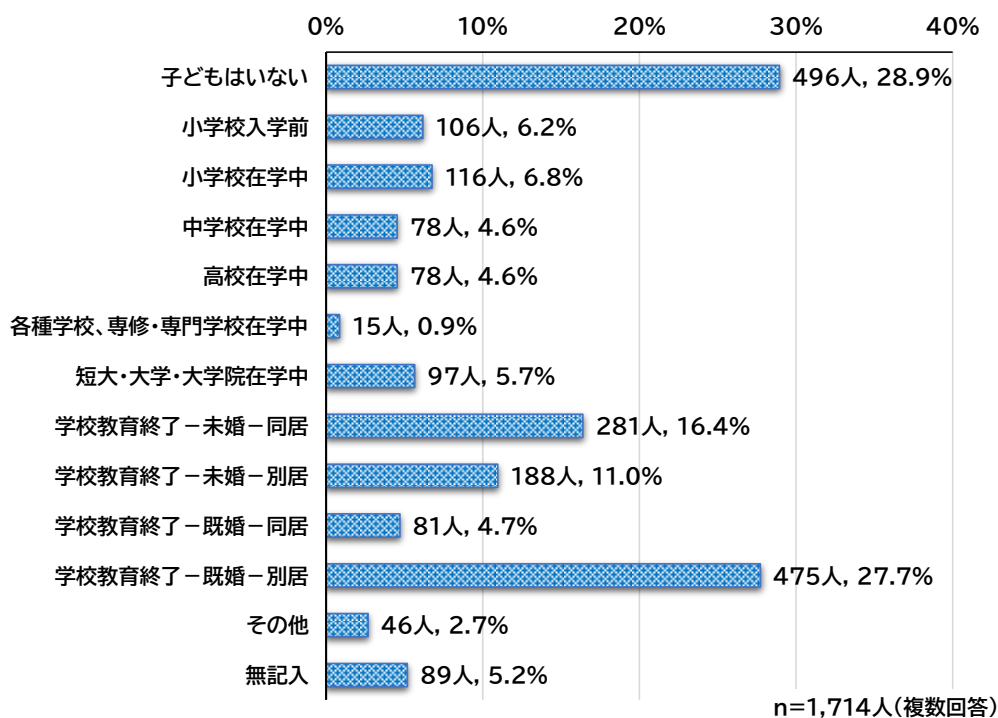
同居の家族形態(F4)

- ・「2世代(親と子)」が 42.9%と最も多く、次いで、「夫婦もしくはパートナーと二人暮らし」が 30.5%、「単身(一人暮らし)」が 15.3%となっている。



お子さんの段階(F5)

- ・「子どもはいない」は 28.9%で、「子どもがいる」は 65.9%である。
- ・ お子さんの段階としては「学校教育終了-既婚-別居」が 27.7%と最も多く、次いで「学校教育終了-未婚-同居」が 16.4%、「学校教育終了-未婚-別居」が 11.0%となっている。



子育てステージ 1

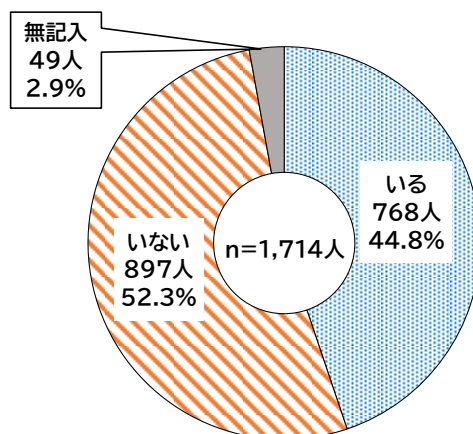
子育てステージ 1			F5 お子さんの段階(複数回答)
1	家族形成期(末子-未就学児)	105	小学校入学前
2	家族成長前期(末子-小学生・中学生)	125	小学校在学中 中学校在学中
3	家族成長後期(末子-高校生・大学生)	116	高校在学中 各種学校、専修・専門学校在学中 短大・大学・大学院在学中
4	家族成熟期(子育て終了)	745	学校教育終了-未婚-同居 学校教育終了-未婚-別居 学校教育終了-既婚-同居 学校教育終了-既婚-別居
5	こどもなし	494	子どもはいない
6	分類不能	129	その他 無記入

※「子育てステージ1」は、「ライフステージ」分析に付随して作成したため、分類に際しては、F5「お子さんの段階」だけでなく、年齢を回答していない方は「分類不能」に分類される等、他の要因も関係している。

※(末子-未就学児)とは、一番下の子どもが未就学という意味です。

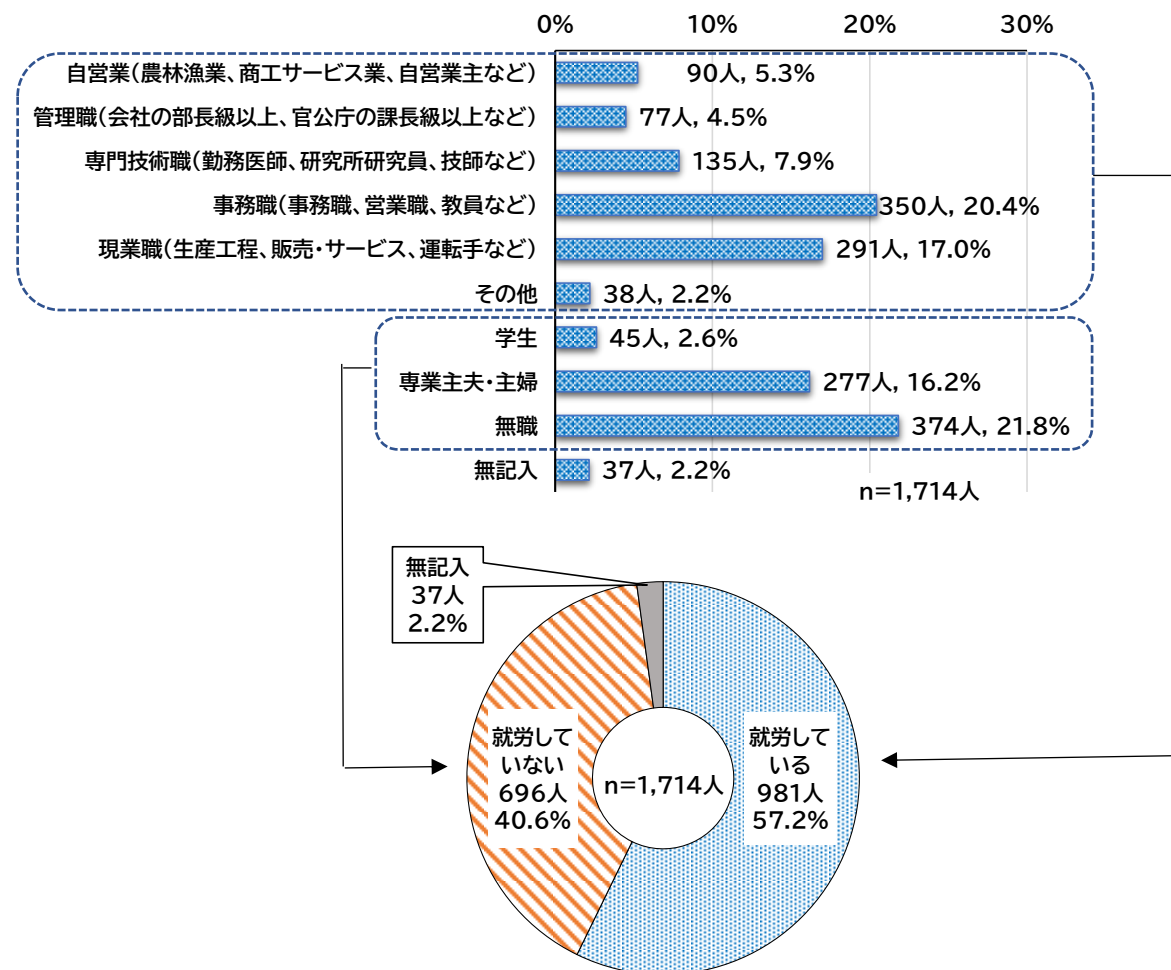
65歳以上の方との同居(自分も含めて)(F6)

・同居の家族に65歳以上の方が「いる」は44.8%、「いない」は52.3%である。



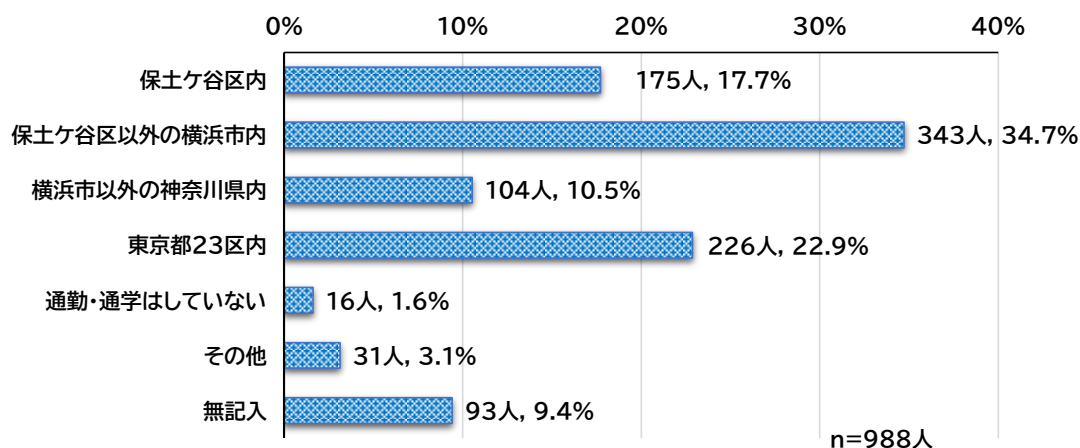
職業(F7)

- ・「無職」が 21.8%と最も多く、次いで「事務職(事務職・営業職・教員など)」が 20.4%、「現業職(生産工程、販売・サービス、運転手など)」が 17.0%、「専業主夫・主婦」が 16.2%と続いている。
- ・ 就労している人は 57.2%、就労していない人は 40.6%である。



職場・学校の所在地(F7-1)

- ・「保土ヶ谷区以外の横浜市内」が 34.7%と最も多く、次いで「東京都 23 区内」が 22.9%、「保土ヶ谷区内」が 17.7%と続いている。
- ・「保土ヶ谷区内」と「保土ヶ谷区以外の横浜市内」を合わせた横浜市内は 52.4%と約半数を占めている。



交通機関(F8)

【通勤・通学】

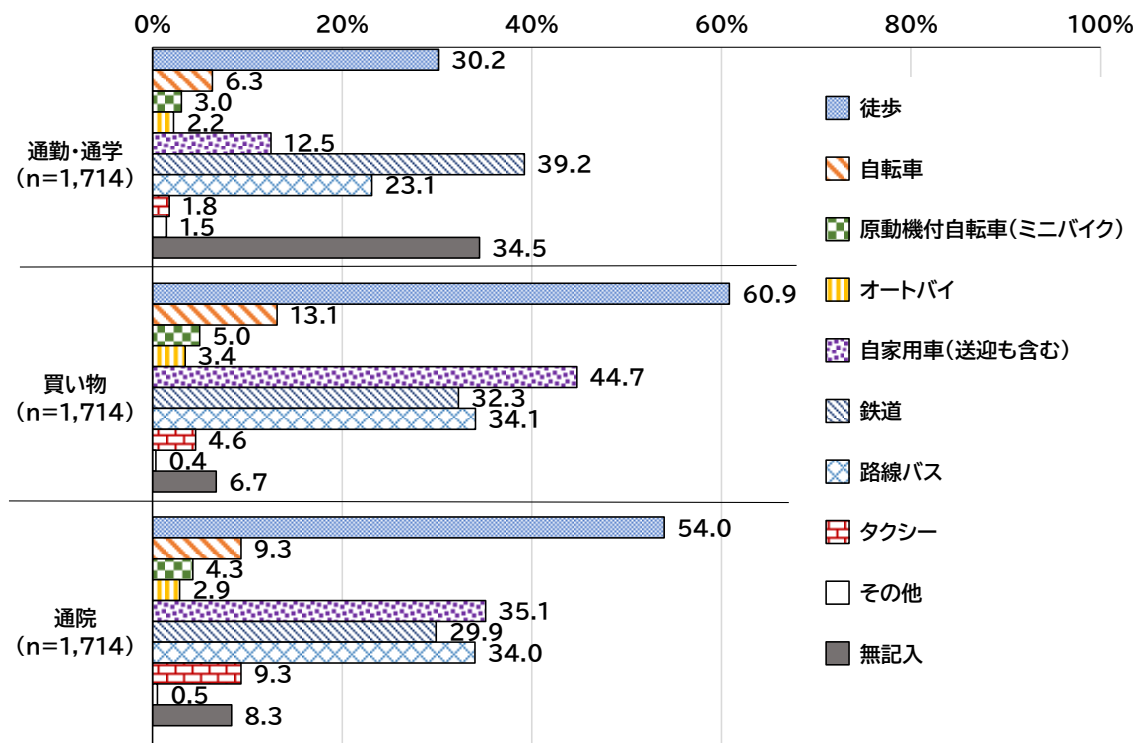
・「鉄道」39.2%、「徒歩」30.2%、「路線バス」23.1%が主な交通手段となっている。

【買い物】

・「徒歩」60.9%、「自家用車」44.7%、「路線バス」34.1%、「鉄道」32.3%が主な交通手段となっている。

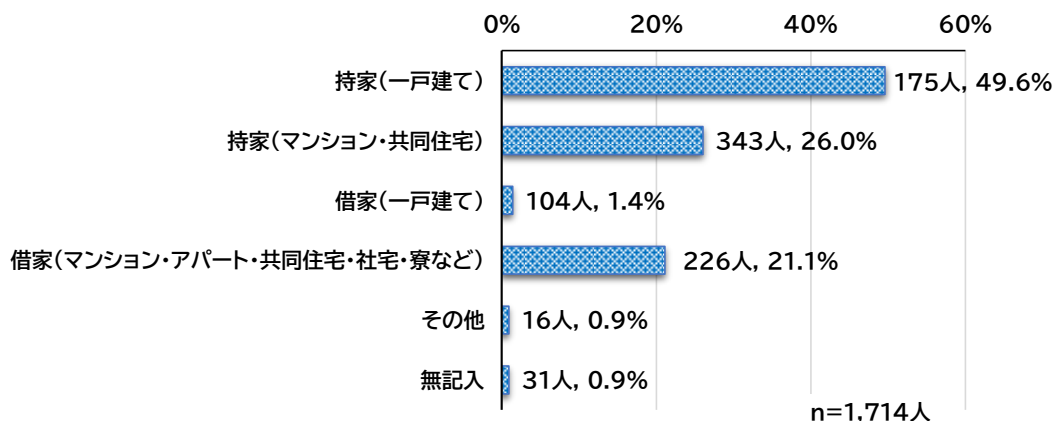
【通院】

・「徒歩」54.0%、「自家用車」35.1%、「路線バス」34.0%、「鉄道」29.9%が主な交通手段となっている。



住居形態(F9)

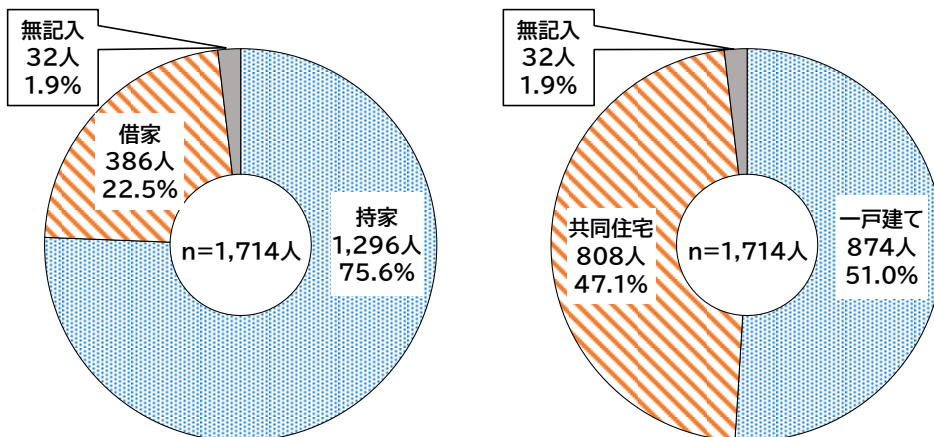
・「持家(一戸建て)」が49.6%と最も多く、次いで「持家(マンション・共同住宅)」26.0%が多い。



・「持家(一戸建て)」と「持家(マンション・共同住宅)」を合わせた「持家」の比率は75.6%、「持家(一戸建て)」と「借家(一戸建て)」を合わせた「一戸建て」の比率は51.0%である。

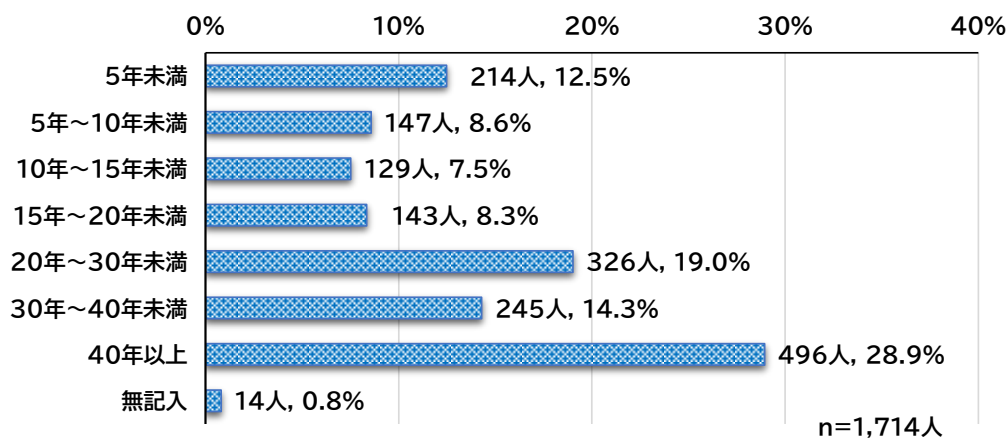
【持家比率】

【一戸建て比率】

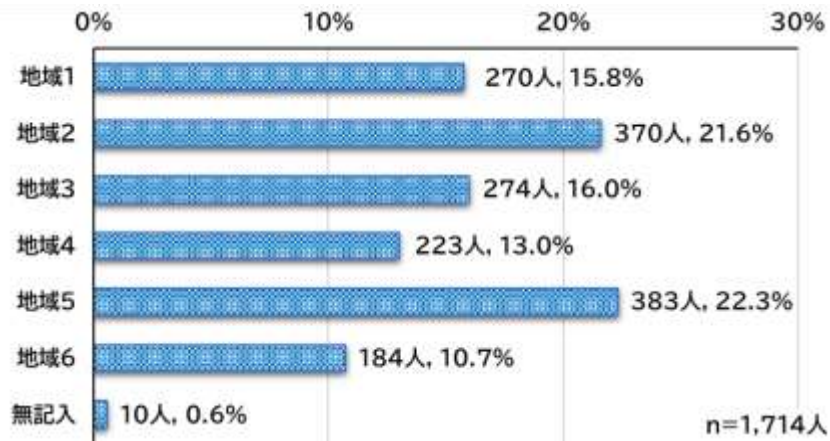


保土ヶ谷区の居住期間(F10)

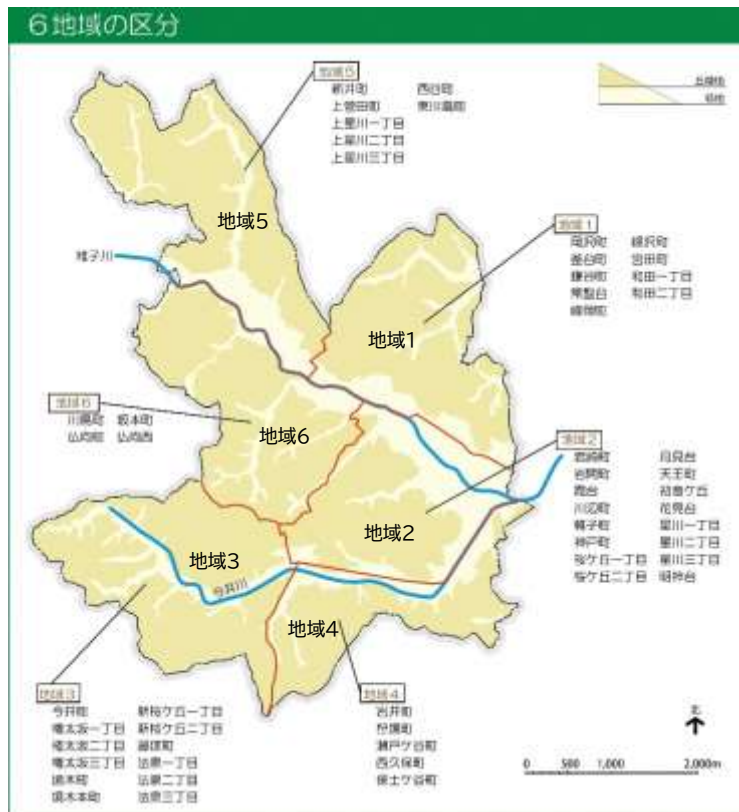
・「40年以上」が28.9%と最も多く、次に「20年～30年未満」19.0%、「30年～40年未満」14.3%と続く。
 ・20年以上の比率は62.2%と6割を超えている。



6地域区分



地域1	地域2	地域3	地域4	地域5	地域6
岡沢町 釜台町 鎌谷町 常盤台 峰岡町 峰沢町 宮田町 和田一丁目 和田二丁目	岩崎町 岩間町 霞台 川辺町 帷子町 神戸町 桜ヶ丘一丁目 桜ヶ丘二丁目 月見台 天王町 初音ヶ丘 花見台 星川一丁目 星川二丁目 星川三丁目 明神台	今井町 権田坂一丁目 権田坂二丁目 権田坂三丁目 境木町 境木本町 新桜ヶ丘一丁目 新桜ヶ丘二丁目 藤塚町 法泉一丁目 法泉二丁目 法泉三丁目	岩井町 狩場町 瀬戸ヶ谷町 西久保町 保土ヶ谷町	新井町 上菅田町 上星川一丁目 上星川二丁目 上星川三丁目 西谷町 東川島町 西谷一丁目 西谷二丁目 西谷三丁目 西谷四丁目	川島町 坂本町 仏向町 仏向西



出典(横浜市都市計画マスタープラン保土ヶ谷区プラン 保土ヶ谷区まちづくり計画)

Ⅲ. 集計分析結果

1 保土ヶ谷区の魅力づくりについて

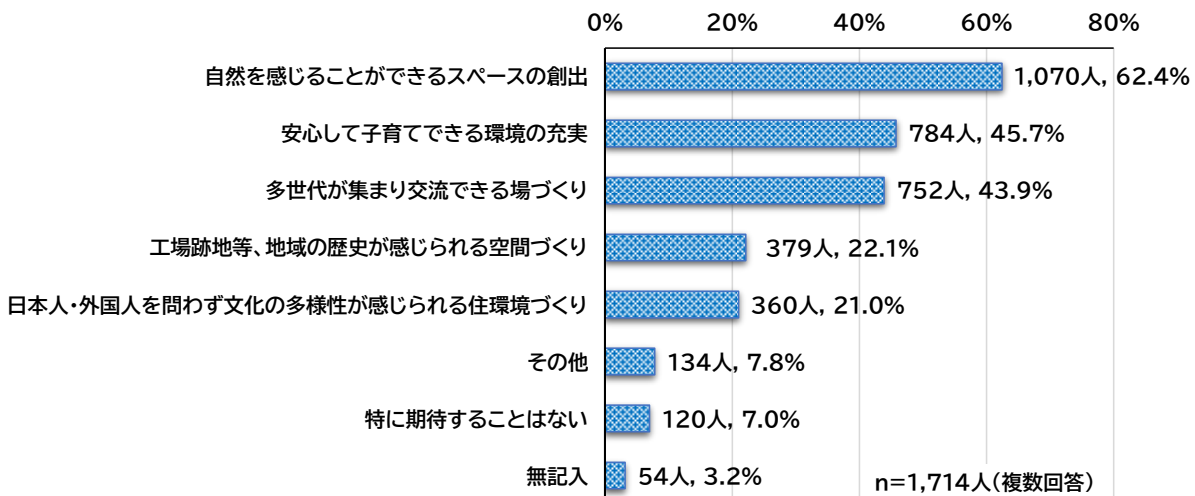
結果のポイント

- ◆これからのまちの魅力づくり
 - ・「自然を感じることができるスペースの創出」への期待が最も高い。
- ◆保土ヶ谷区内の歴史的な魅力を感じるスポット
 - ・「保土ヶ谷本陣跡」が最も多い。
- ◆歴史的スポットに触れることができる取組
 - ・「歴史的スポットを巡るイベント(まちあるきなど)」への興味が最も高い。

これからのまちの魅力づくりに期待すること(問1)

問1 相鉄本線星川駅～天王町駅間の高架化^{※1} や相鉄・東急直通線の開業などにより、まちが大きく変化している中、これからのまちの魅力づくりに期待することは何ですか。(○は3つまで)

- ・「自然を感じることができるスペースの創出」が最も多く 62.4%、次いで「安心して子育てできる環境の充実」が45.7%、「多世代が集まり交流できる場づくり」が43.9%などとなっている。



※1 保土ヶ谷区では、区民・事業者・行政が協働し、星川駅周辺地区の魅力向上を推進するための、まちづくりの基本的な考え方を整理した「星川駅周辺総合的なまちづくりガイドライン」を策定しています。

■ 性・年代別 これからのまちの魅力づくりに期待すること

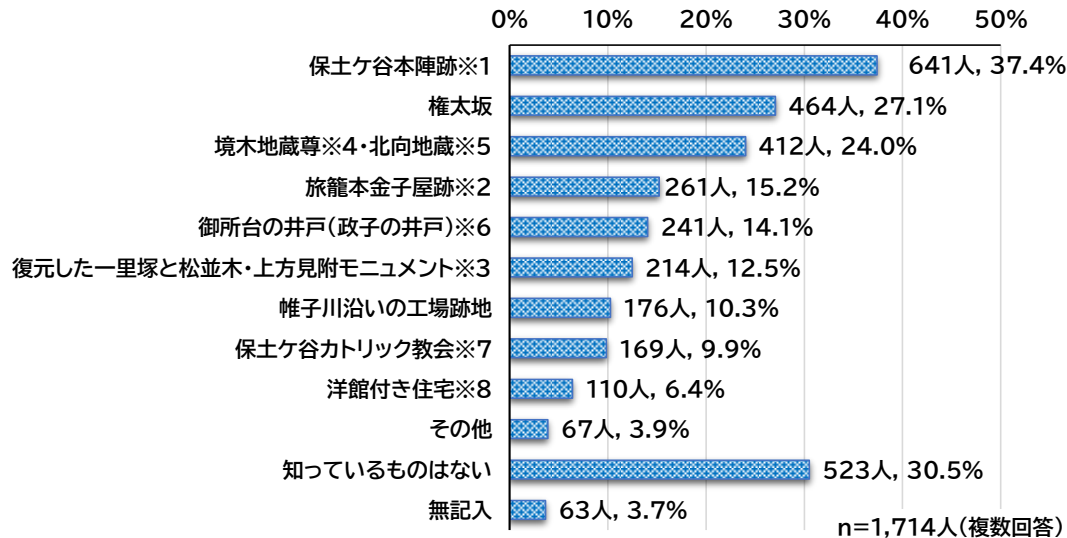
・年代別でみると、“18～29 歳”で「自然を感じることができるスペースの創出」、「安心して子育てできる環境の充実」が同率で最も多く、30 代以上の年代では「自然を感じることができるスペースの創出」が最も多い。“30～39 歳”では「安心して子育てできる環境の充実」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問1 これからのまちの魅力づくりに期待すること							
			多世代が集まり交流できる	自然を感じるスペースの創出	工場跡地等、地域づくりの歴史	安心して子育てできる環境の充実	文化の多様性が感じられず	日本人・外国人を問わず	その他	特に期待することはない
	全体	1,714	43.9	62.4	22.1	45.7	21.0	7.8	7.0	3.2
性別	男性	669	43.5	62.5	24.7	46.0	22.1	8.8	7.0	2.2
	女性	986	44.0	63.6	20.8	46.1	20.8	7.1	6.9	3.0
年代	18～29歳	139	38.8	54.0	12.9	54.0	20.1	9.4	11.5	1.4
	30～39歳	170	32.9	67.6	17.1	61.8	17.1	7.1	8.2	0.6
	40～49歳	234	39.7	62.4	17.1	49.1	17.9	14.1	5.1	0.9
	50～59歳	294	48.6	66.7	21.4	41.5	24.1	8.2	5.4	0.7
	60～69歳	307	44.3	64.5	23.5	42.0	25.4	6.5	7.2	2.9
	70～79歳	365	46.8	64.9	28.8	43.3	20.5	6.3	6.3	3.6
	80歳以上	175	50.3	53.7	26.9	40.6	19.4	3.4	8.6	10.3

区内の歴史的な魅力を感じるスポット(問2)

問2 保土ヶ谷区内の歴史的な魅力を感じるスポットはどれですか。(〇はいくつでも)

- ・「保土ヶ谷本陣跡※1」が 37.4%で最も多い。一方、「知っているものはない」も 30.5%となっている。次いで「権太坂」が 27.1%、「境木地蔵尊※4・北向地蔵※5」が 24.0%となっている。



- ※1 保土ヶ谷本陣跡とは:江戸時代に公家や大名などが宿泊した幕府公認の旅館のことです。
- ※2 旅籠本金子屋跡とは:旅人を宿泊させる旅館として栄えました。現在の建物は明治時代初期に再建されたものです。
- ※3 復元した一里塚と松並木・上方見附モニュメントとは:平成 19 年、区民と横浜市の協働事業により、旧東海道を象徴する一里塚と松並木を再現しました。
- ※4 境木地蔵尊とは:江戸時代初期に創建され、旅の道中の安全を祈る旅人が多く参拝しました。
- ※5 北向地蔵とは:旅人に金沢方面と弘明寺方面を告げる役目を担っていました。平成元年に横浜市の文化財に登録されました。
- ※6 御所台の井戸(政子の井戸)とは:北条政子が化粧の際にこの井戸の水を使ったという言い伝えがあります。
- ※7 保土ヶ谷カトリック教会とは:昭和 14 年にフランス人神父が私財を投じて建築し、平成3年に横浜市の史跡名勝天然記念物に指定されました。
- ※8 洋館付き住宅とは:大正から昭和初期にかけて建てられた、玄関脇に三角屋根の洋館(洋間)がついた和風住宅のことです。

■ 性・年代別 歴史的な魅力を感じるスポット

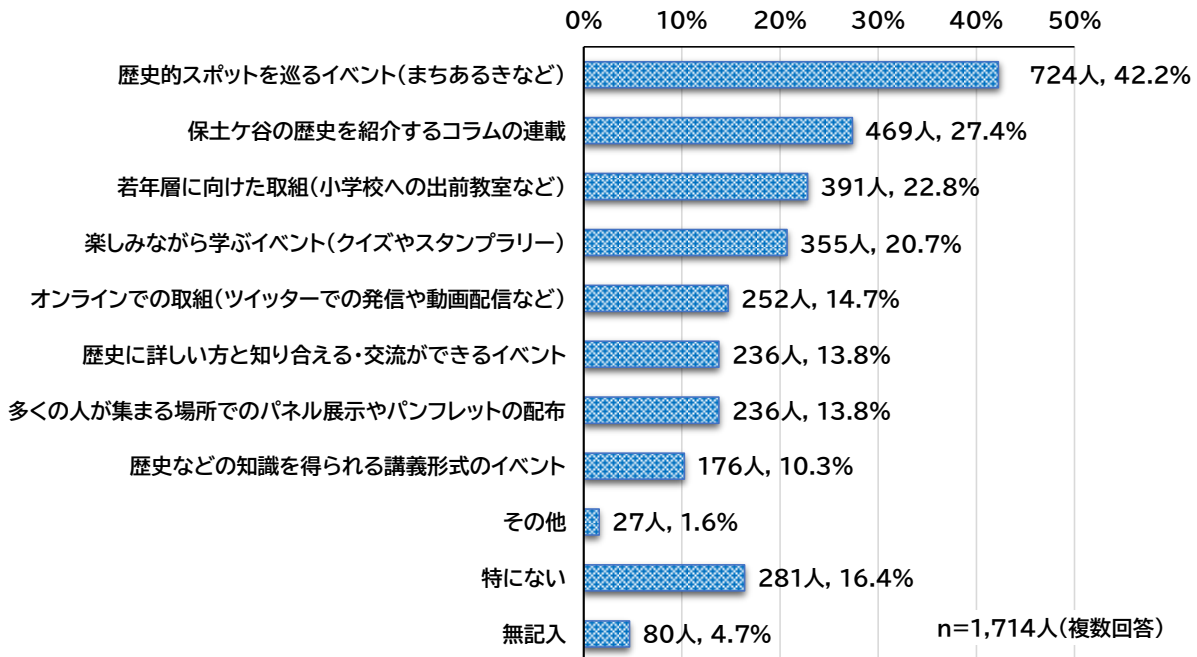
- ・ 性別で見ると、男女とも「保土ヶ谷本陣跡」が最も多い。また、「女性」は「知っているものはない」が「男性」より数値が高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、40 代以下の年代では「知っているものはない」、50 代以上の年代では「保土ヶ谷本陣跡」が最も多く、50 代を境に傾向が分かれた。

		問2 保土ヶ谷区内の歴史的な魅力を感じるスポット												
		合計	保土ヶ谷本陣跡※1	旅籠本金子屋跡※2	ト木復元※3 ・上した 方見附 モニュ メント	権太坂	蔵境※4 木地蔵 尊※5 ・北向 地	戸御所 台の井 戸(政 子の井	帷子川 沿いの 工場跡 地	※7 保 土ヶ谷 カトリ ック教 会	洋館付 き住宅 ※8	その他	知っ てい るも のな い	無記 入
	全体	1,714	37.4	15.2	12.5	27.1	24.0	14.1	10.3	9.9	6.4	3.9	30.5	3.7
性別	男性	669	41.7	17.6	14.6	32.4	25.4	12.0	11.4	9.4	5.2	4.5	25.6	2.4
	女性	986	35.2	14.1	11.1	23.8	23.5	15.8	9.6	10.6	7.4	3.5	33.7	3.8
年代	18~29歳	139	16.5	7.2	5.0	23.7	10.1	7.9	1.4	2.9	1.4	2.2	56.1	1.4
	30~39歳	170	17.6	10.6	2.9	25.3	11.8	5.9	3.5	6.5	5.9	4.1	51.8	1.2
	40~49歳	234	27.4	13.2	5.6	30.3	17.9	9.4	5.6	10.3	4.7	3.0	35.9	2.1
	50~59歳	294	38.1	17.0	9.5	32.0	20.7	15.0	10.2	10.5	7.5	4.8	32.3	1.4
	60~69歳	307	43.3	16.3	14.0	28.3	27.4	17.9	12.4	9.1	8.1	4.9	21.5	3.9
	70~79歳	365	50.4	18.6	21.4	23.0	32.9	18.6	18.4	13.7	9.0	3.8	21.4	2.7
	80歳以上	175	49.7	18.9	21.1	26.9	37.1	17.1	9.1	12.0	4.0	3.4	16.0	11.4

歴史的スポットに触れることができる取組として、興味を持つ取組(問 2-1)

問2-1 問2で挙げた区の歴史的スポットに触れることができる取組として、興味を持つものはどれですか。(〇は3つまで)

- ・「歴史的スポットを巡るイベント(まちあるきなど)」が 42.2%で最も多い。次いで「保土ヶ谷の歴史を紹介するコラムの連載」が 27.4%、「若年層に向けた取組(小学校への出前教室など)」が 22.8%、「楽しみながら学ぶイベント(クイズやスタンプラリー)」が 20.7%で、これらは2割以上の人々が挙げている。



■ 性・年代別 歴史的スポットに触れることができる取組として、興味のある取組

- ・年代別でみると、30代以下の年代では「若年層に向けた取組(小学校への出前教室など)」、40代から70代までの年代では「歴史的スポットを巡るイベント(まちあるきなど)」、「80歳以上」では「保土ヶ谷の歴史を紹介するコラムの連載」が最も多くなっている。

		問2-1 区の歴史的スポットに触れることができる取組として、興味を持つもの												
		合計	歴史的スポットを巡るイベント(まちあるきなど)	楽しみながら学ぶイベント(クイズやスタンプラリー)	歴史に詳しい方と知り合える・交流ができるイベント	歴史などの知識を得られる講義形式のイベント	若年層に向けた取組(小学校への出前教室など)	オンラインでの発信や動画配信	ツイッターでの発信や動画配信	多くの人が集まる場所でのパネル展示やパンフレットの配布	保土ヶ谷の歴史を紹介するコラムの連載	その他	特になし	無記入
	全体	1,714	42.2	20.7	13.8	10.3	22.8	14.7	13.8	27.4	1.6	16.4	4.7	
性別	男性	669	41.3	17.9	12.7	12.1	19.7	17.2	14.1	27.8	2.1	18.4	2.8	
	女性	986	43.8	22.9	14.3	9.1	25.7	13.2	14.1	27.2	1.1	14.8	5.1	
年代	18~29歳	139	24.5	25.9	9.4	7.2	32.4	16.5	13.7	12.9	2.2	22.3	1.4	
	30~39歳	170	29.4	34.7	4.7	2.4	36.5	18.8	17.1	17.1	0.0	21.2	1.2	
	40~49歳	234	33.8	25.6	10.7	5.6	31.2	20.9	12.0	17.9	3.0	17.5	3.0	
	50~59歳	294	46.6	25.2	10.9	8.2	27.9	22.1	14.6	22.4	2.0	15.6	0.3	
	60~69歳	307	54.4	18.2	16.0	12.4	17.3	16.0	13.0	28.0	2.0	15.0	3.6	
	70~79歳	365	49.0	12.3	19.2	14.0	15.9	6.6	14.8	40.5	1.4	14.2	6.3	
	80歳以上	175	40.6	12.6	20.6	18.3	9.7	5.1	12.0	41.1	0.0	13.7	13.7	

2 市の行政サービスについて

結果のポイント

- ◆ 『満足しているサービス』は、「電車やバスの利便性」が最も多い。
- ◆ 『今後、充実してほしいと思うサービス』は、「最寄り駅周辺のまちづくり」が最も多い。
- ◆ 『満足しているサービス』と『今後、充実してほしいと思うサービス』で数値の差が最も大きいのは「商店街や産業振興など地域経済の活性化」。

『満足しているサービス』上位5位

1	バスや電車の利便性	56.6%
2	公園・広場の整備	37.7%
3	ごみ対策(分別収集・街の美化)や地球温暖化対策	32.3%
4	緑地や水辺環境の整備	24.3%
5	最寄り駅周辺のまちづくり	22.1%

『今後、充実してほしいと思うサービス』上位5位

1	バスや電車の利便性	56.6%
2	公園・広場の整備	37.7%
3	ごみ対策(分別収集・街の美化)や地球温暖化対策	32.3%
4	緑地や水辺環境の整備	24.3%
5	最寄り駅周辺のまちづくり	22.1%

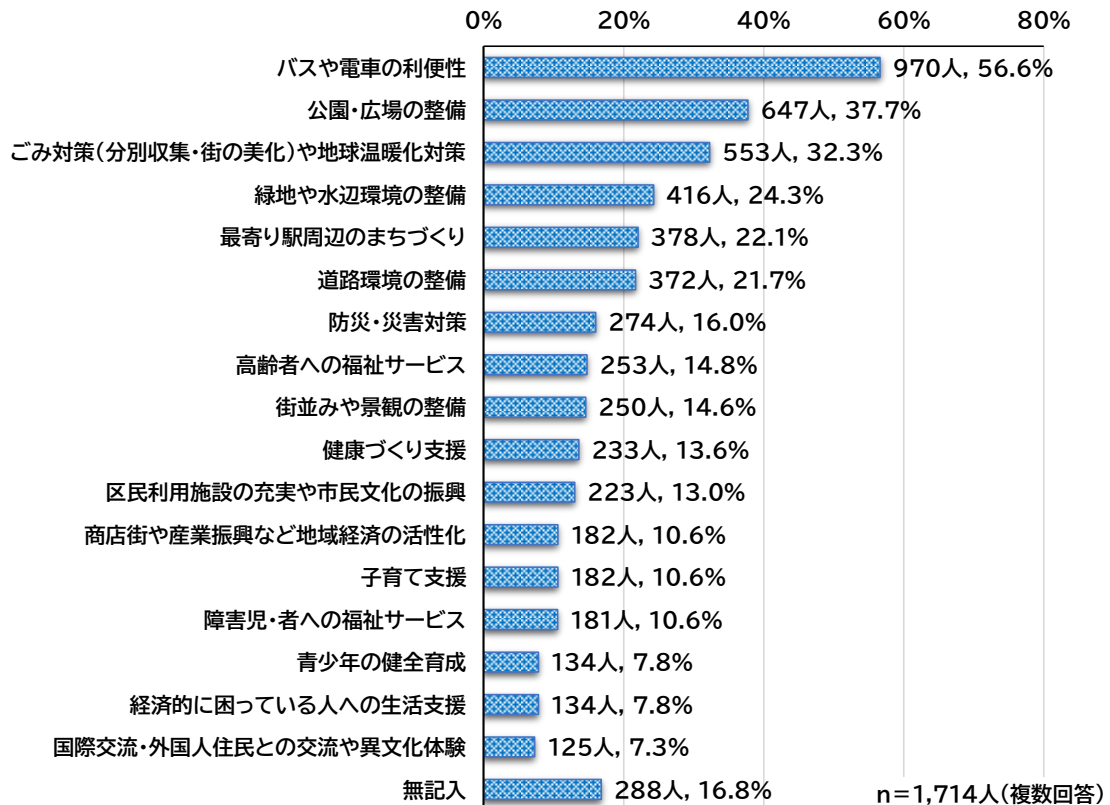
『満足しているサービス』、『今後、充実してほしいと思うサービス』(問3)

問3 ア 市の行政サービスの中で満足しているサービスはどれですか。(〇はいくつでも)

イ 今後、充実してほしいと思うサービスはどれですか。(〇はいくつでも)

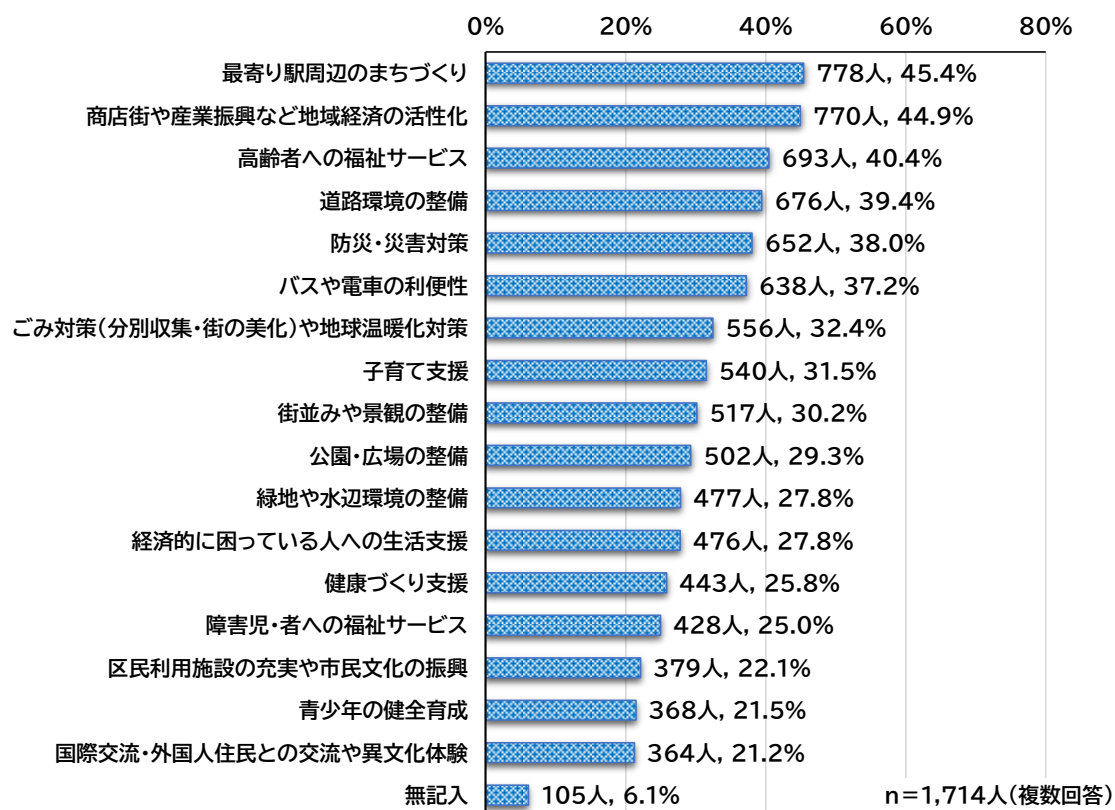
<満足しているサービス>

- ・ 「バスや電車の利便性」が 56.6%で最も多い。次いで「公園・広場の整備」が 37.7%である。以下「ごみ対策(分別収集・街の美化)や地球温暖化対策」(32.3%)、「緑地や水辺環境の整備」(24.3%)、「最寄り駅周辺のまちづくり」(22.1%)、「道路環境の整備」(21.7%)などと続く。



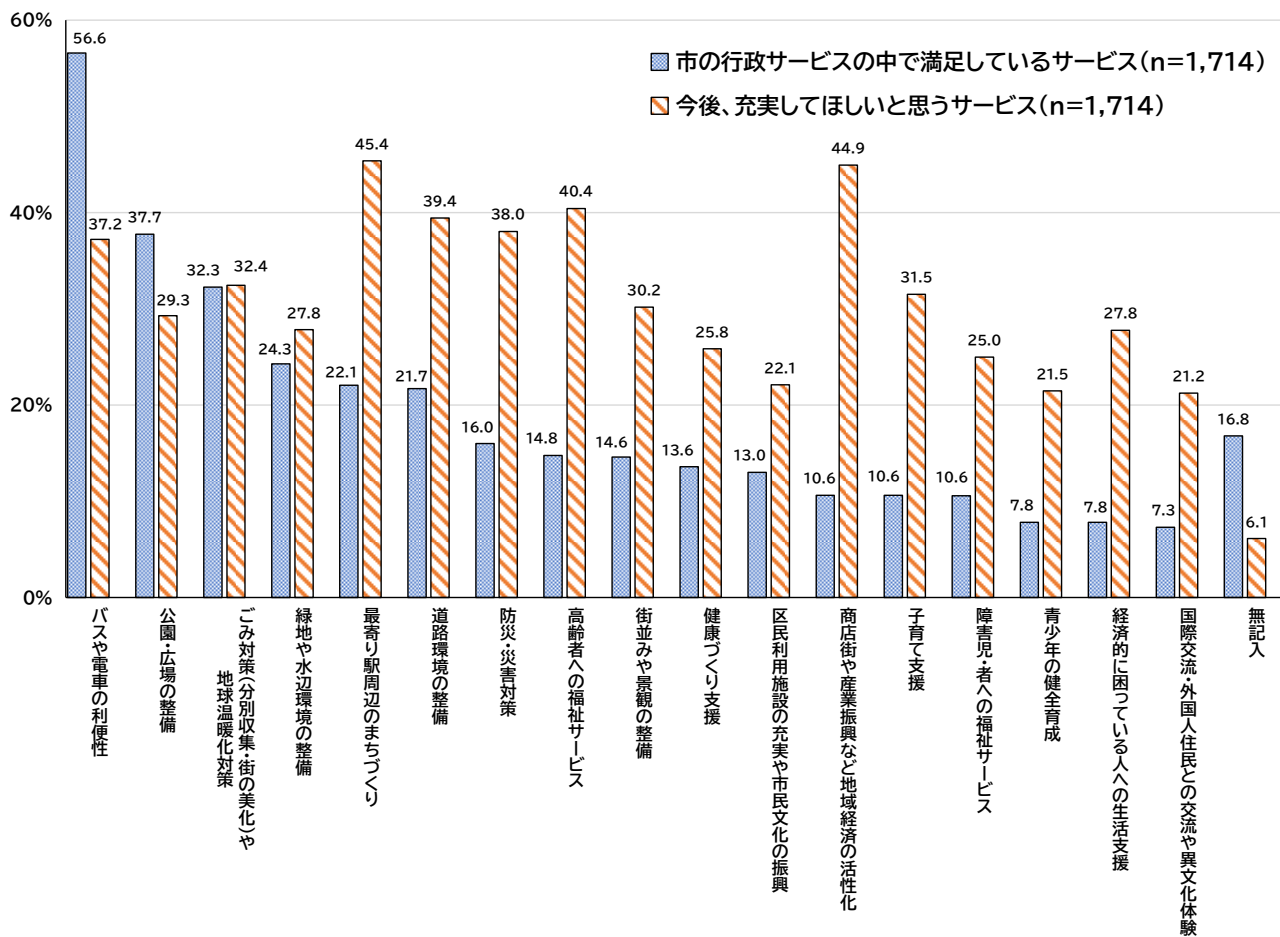
<今後、充実してほしいと思うサービス>

- ・「最寄り駅周辺のまちづくり」が 45.4%で最も多い。次いで「商店街や産業振興など地域経済の活性化」が 44.9%である。以下「高齢者への福祉サービス」(40.4%)、「道路環境の整備」(39.4%)、「防災・災害対策」(38.0%)、「バスや電車の利便性」(37.2%)、「ごみ対策(分別収集・街の美化)や地球温暖化対策」(32.4%)などと続く。



<『満足しているサービス』と『今後、充実してほしい』と思うサービスの比較>

- ・ 数値の差が最も大きいのは「商店街や産業振興など地域経済の活性化」で、『今後、充実してほしいと思う』の数値が『満足している』の数値より高くなっている。
- ・ 『満足している』の数値が『今後、充実してほしいと思う』よりも高くなっているのは、「バスや電車の利便性」、「公園・広場の整備」であった。



■ 性・年代別 『満足しているサービス』、『今後、充実してほしいと思うサービス』

<満足しているサービス>

- ・ 性・年代別でみると、性別、年齢問わず「バスや電車の利便性」が最も多く、特に“70～79 歳”は全体値より高い数値となっている。

<今後、充実してほしいと思うサービス>

- ・ 性別でみると、“男性”は「商店街や産業振興など地域経済の活性化」、「女性」は「最寄り駅周辺のまちづくり」が最も多く、男女で傾向が分かれた。
- ・ 年代別でみると、“18～29 歳”、“40～49 歳”では「最寄り駅周辺のまちづくり」、「30～39 歳」では「子育て支援」、「50～59 歳」、「60～69 歳」では「商店街や産業振興など地域経済の活性化」、70 代以上の年代では「高齢者への福祉サービス」が最も多く、回答は分散した。

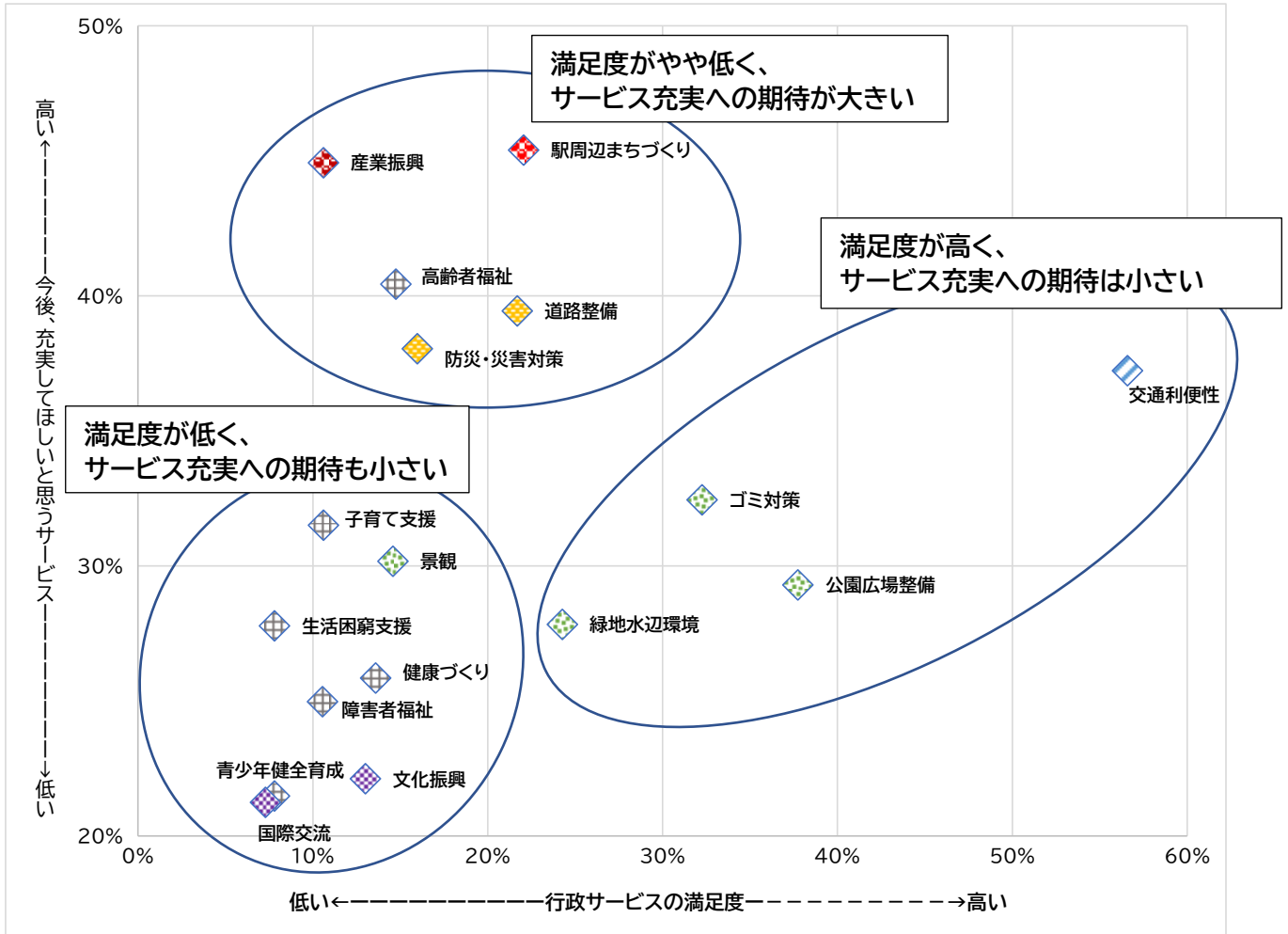
		問3 ア 市の行政サービスの中で満足しているサービス																		
		合計	バスや電車の利便性	道路環境の整備	公園・広場の整備	緑地や水辺環境の整備	最寄り駅周辺のまちづくり	街並みや景観の整備	商店街や産業振興など地域経済の活性化	策の美化（分別収集・対街）	防災・災害対策	子育て支援	青少年の健全育成	高齢者への福祉サービス	障害児・者への福祉サービス	経済的に困っている人への生活支援	健康づくり支援	区民利用施設の充実や市民文化の振興	国際交流・外国人住民との交流や異文化体験	無記入
	全体	1,714	56.6	21.7	37.7	24.3	22.1	14.6	10.6	32.3	16.0	10.6	7.8	14.8	10.6	7.8	13.6	13.0	7.3	16.8
性別	男性	669	58.4	22.6	38.1	24.1	21.4	11.5	9.1	35.3	15.5	8.7	8.1	13.6	11.4	7.9	12.0	12.6	5.5	14.2
	女性	986	56.6	21.6	37.9	24.6	23.3	16.5	11.8	30.7	16.1	12.1	7.5	15.5	10.1	7.5	14.8	13.3	8.4	17.5
年代	18～29歳	139	54.7	27.3	30.9	23.7	24.5	19.4	10.8	28.8	12.9	7.9	10.1	13.7	13.7	7.9	11.5	13.7	9.4	11.5
	30～39歳	170	61.2	22.9	41.8	25.3	28.8	20.6	15.9	24.7	15.9	14.7	8.2	13.5	13.5	10.0	13.5	17.6	10.6	5.3
	40～49歳	234	52.1	20.5	37.2	23.1	21.4	15.0	10.3	27.8	16.2	14.1	10.7	12.4	13.2	11.1	15.4	12.8	9.4	17.5
	50～59歳	294	48.6	24.8	40.8	22.1	23.8	13.6	10.2	33.7	15.0	11.2	7.8	9.9	9.2	7.5	12.9	8.2	7.5	17.7
	60～69歳	307	53.7	18.9	38.1	27.0	17.6	14.0	7.2	28.3	15.3	10.4	6.5	10.7	10.7	4.9	10.7	9.8	6.2	18.6
	70～79歳	365	66.8	21.9	40.8	27.4	20.3	12.1	11.0	40.5	16.7	8.2	6.3	21.6	8.8	7.7	15.6	15.9	5.5	15.1
	80歳以上	175	61.1	17.7	29.1	18.3	26.3	12.0	13.1	37.1	19.4	8.6	7.4	21.1	7.4	8.6	16.0	16.0	5.1	25.1

		問3 イ 今後、充実してほしいと思うサービス																		
		合計	バスや電車の利便性	道路環境の整備	公園・広場の整備	緑地や水辺環境の整備	最寄り駅周辺のまちづくり	街並みや景観の整備	商店街や産業振興など地域経済の活性化	策の美化（分別収集・対街）	防災・災害対策	子育て支援	青少年の健全育成	高齢者への福祉サービス	障害児・者への福祉サービス	経済的に困っている人への生活支援	健康づくり支援	区民利用施設の充実や市民文化の振興	国際交流・外国人住民との交流や異文化体験	無記入
	全体	1,714	37.2	39.4	29.3	27.8	45.4	30.2	44.9	32.4	38.0	31.5	21.5	40.4	25.0	27.8	25.8	22.1	21.2	6.1
性別	男性	669	36.2	41.1	29.0	29.7	44.2	31.8	44.4	28.6	36.3	31.7	22.7	39.2	22.9	25.7	24.8	20.6	20.3	5.2
	女性	986	38.2	38.8	29.9	26.9	46.2	29.6	45.6	35.0	39.0	31.7	20.7	42.0	26.5	29.6	27.2	23.2	21.9	5.8
年代	18～29歳	139	38.1	33.1	28.8	24.5	48.9	23.0	36.0	23.7	29.5	40.3	18.7	20.1	19.4	34.5	20.9	12.9	17.3	4.3
	30～39歳	170	32.4	38.8	40.0	28.2	48.2	28.2	40.6	32.9	30.0	55.3	21.8	15.3	17.6	17.1	20.0	16.5	20.0	0.0
	40～49歳	234	43.6	41.5	29.9	29.9	52.6	35.0	46.6	30.8	36.8	41.5	24.8	27.8	23.5	24.4	25.6	19.7	22.2	3.8
	50～59歳	294	44.9	41.5	25.2	26.2	47.3	29.3	50.0	30.6	44.2	29.3	20.7	42.9	31.6	28.2	22.8	26.5	23.8	2.4
	60～69歳	307	37.8	45.6	30.9	30.0	47.6	32.6	52.1	38.4	43.3	24.8	21.2	51.8	27.4	28.7	28.0	23.5	23.8	2.9
	70～79歳	365	31.2	36.7	28.8	27.9	41.1	32.3	43.8	35.3	40.8	25.2	23.8	51.2	25.5	29.9	29.6	26.3	20.5	10.1
	80歳以上	175	34.3	37.1	25.1	28.0	32.6	26.9	36.0	28.0	29.7	20.6	16.0	53.7	23.4	30.9	31.4	21.1	17.1	15.4

■ 『満足しているサービス』と『今後、充実してほしいと思うサービス』の関係

<全体>

- ・『今後、充実してほしいと思うサービス』の上位 5 項目は、行政サービスの満足度で見るとほぼ中間層に位置しており、満足度が低いというわけではない。



※ 散布図では、市の行政サービスの項目を略称で明記しています。(以下、分析も同様)

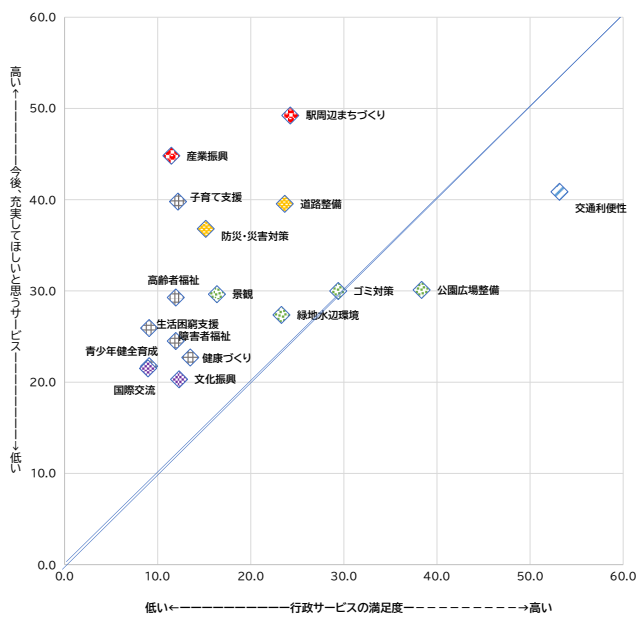
マーカー	大分類	略称	市の行政サービス	マーカー	大分類	略称	市の行政サービス	
◇	利便	交通利便性	バスや電車の利便性	◇	健康福祉	高齢者福祉	高齢者への福祉サービス	
◇	環境	公園広場整備	公園・広場の整備			健康づくり	健康づくり支援	
		ゴミ対策	ごみ対策(分別収集・街の美化)や地球温暖化対策			子育て支援	子育て支援	
		緑地水辺環境	緑地や水辺環境の整備			障害者福祉	障害児・者への福祉サービス	
◇	産業	駅周辺まちづくり	最寄り駅周辺のまちづくり			青少年健全育成	青少年の健全育成	
		産業振興	商店街や産業振興など地域経済の活性化	生活困窮支援	経済的に困っている人への生活支援			
◇	安全	道路整備	道路環境の整備	◇	環境	景観	街並みや景観の整備	
		防災・災害対策	防災・災害対策	防災・災害対策	◇	文化・交流	文化振興	区民利用施設の充実や市民文化の振興
					◇		国際交流	国際交流・外国人住民との交流や異文化体験

『満足しているサービス』と『今後、充実してほしいと思うサービス』の関係

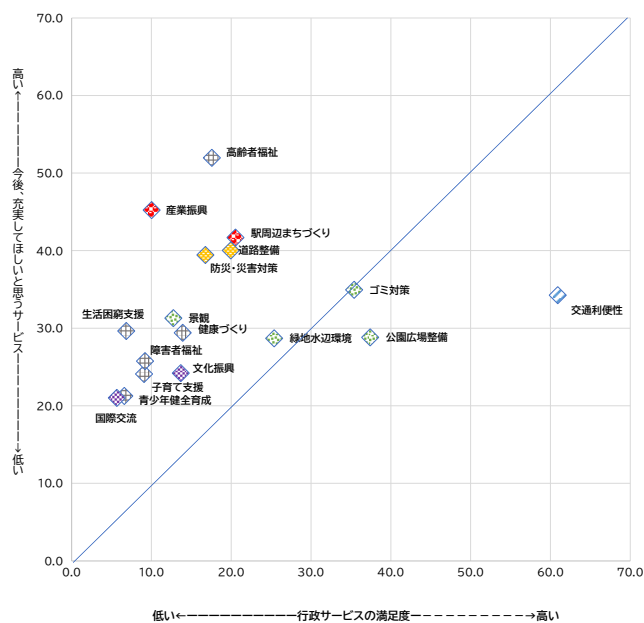
<年代別(2 区分)>

- ・『今後、充実してほしいと思うサービス』において、「高齢者への福祉サービス」では、18～59 歳で全体より 11.2 ポイント低くなっており、60 歳以上で全体より 11.5 ポイント高くなっている。
- ・「子育て支援」では、18～59 歳で全体より 8.3 ポイント高く、60 歳以上で全体より 7.4 ポイント低くなっている。

18～59 歳

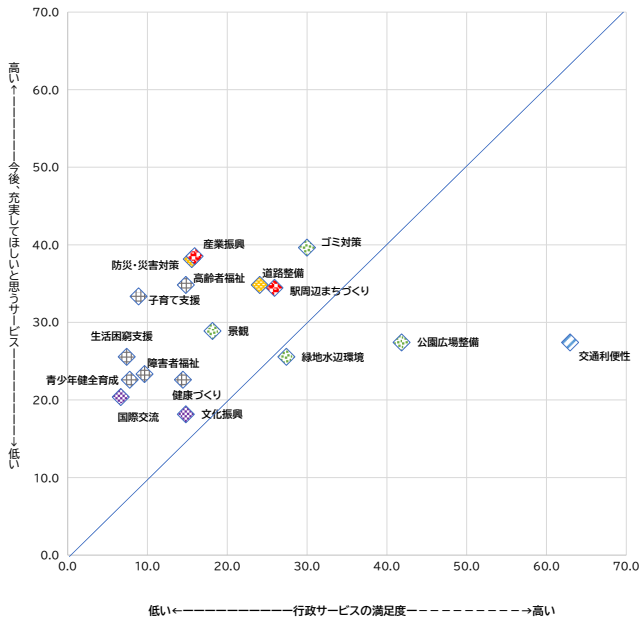


60 歳以上

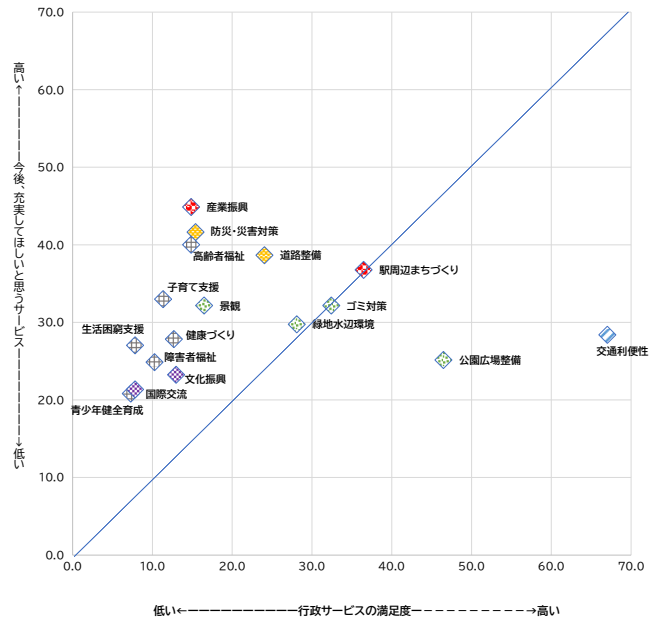


<地域別(6 区分)>

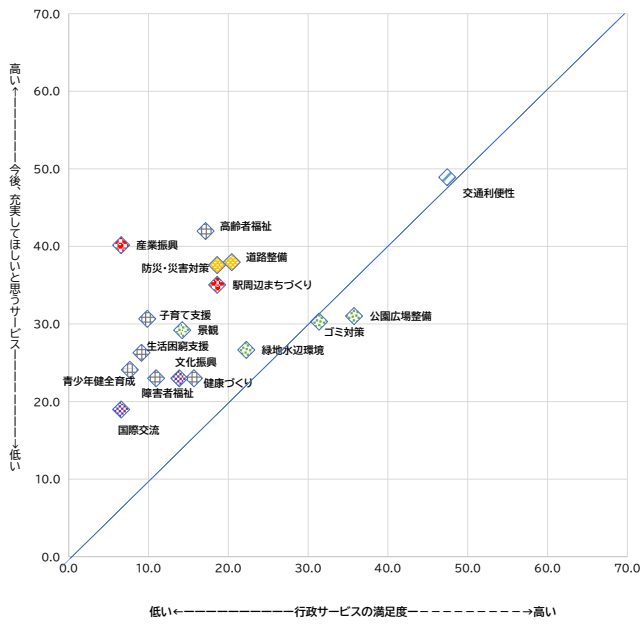
地域1



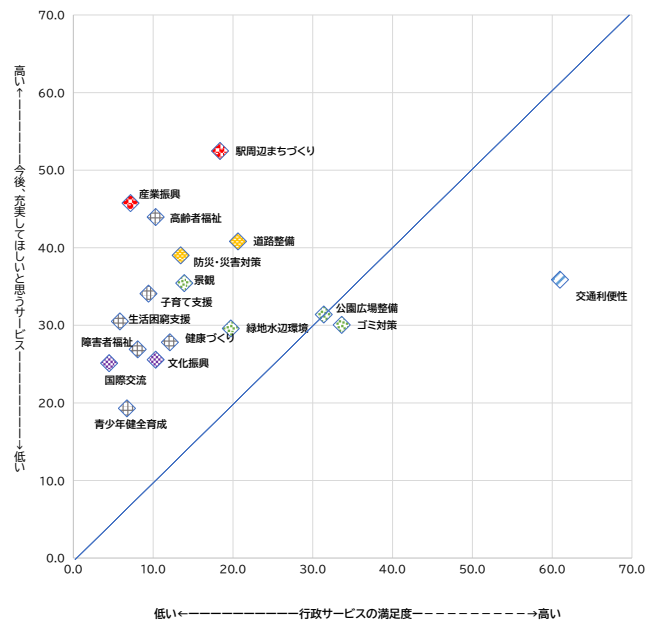
地域2



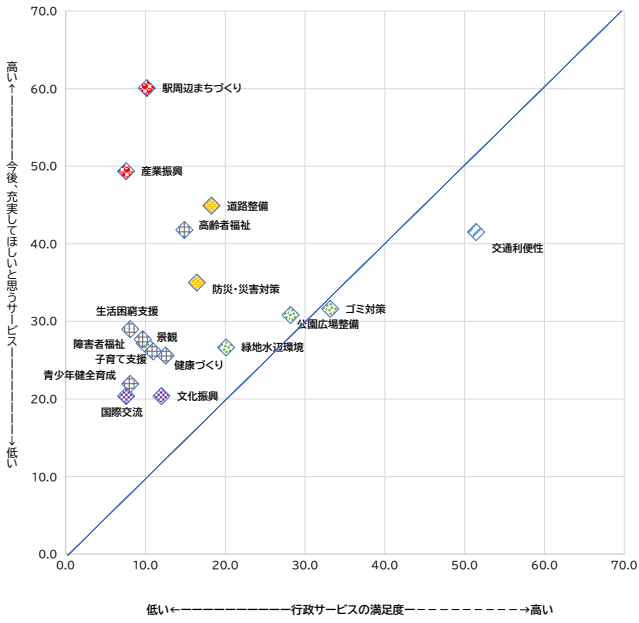
地域3



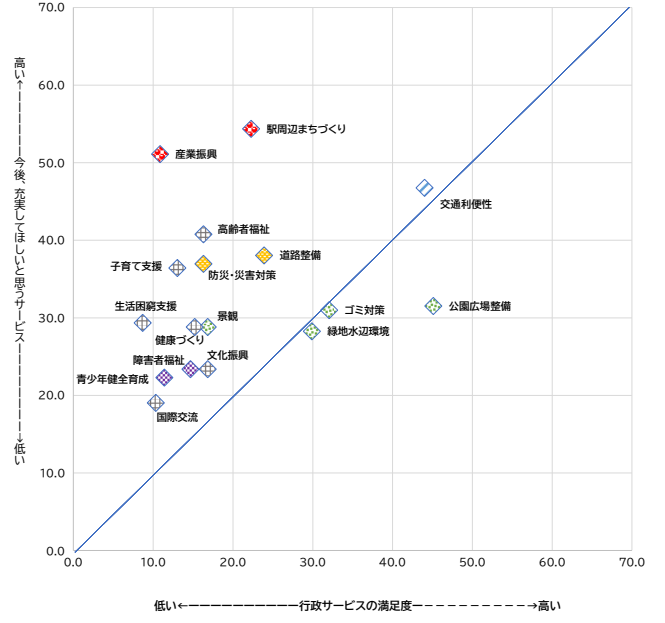
地域4



地域5



地域6



6地域区分



なお、地域5の西谷地区は、令和2年10月19日に住居表示を実施したことにより、西谷町のほか次の新町があります。

- ・西谷一丁目
- ・西谷二丁目
- ・西谷三丁目
- ・西谷四丁目

出典(横浜市都市計画マスタープラン保土ヶ谷区プラン 保土ヶ谷区まちづくり計画)

3 定住意向や保土ケ谷区への愛着について

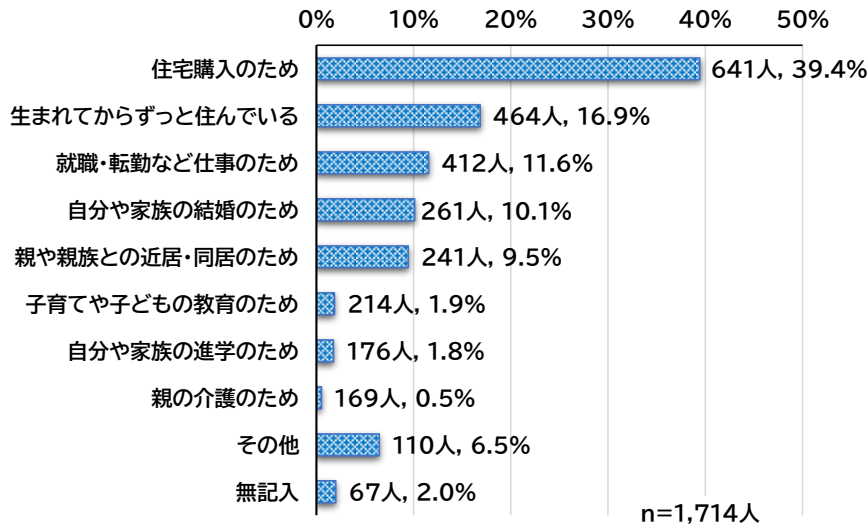
結果のポイント

- ◆定住意向
 - ・「住み続けたい」と「たぶん住み続ける」を合わせた7割以上が定住意向を持っている。
- ◆保土ケ谷区を居住地に選んだ理由
 - ・「交通の便が良いから」が約3割で最も多い。
- ◆区への愛着
 - ・「愛着を感じる」と「やや愛着を感じる」を合わせた8割近くが保土ケ谷区に愛着を感じている。

保土ケ谷区に住むことになった理由(問4)

問4 保土ケ谷区に住むことになった一番大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)

- ・「住宅購入のため」が最も多い 39.4%で、全体の4割近くの人が挙げている。次いで「生まれてからずっと住んでいる」が16.9%である。



■ 性・年代別 保土ケ谷区に住むことになった理由

- ・年代別でみると、“18～29 歳”では「生まれてからずっと住んでいる」が最も多く、30 代以上の年代では「住宅購入のため」が最も多い。

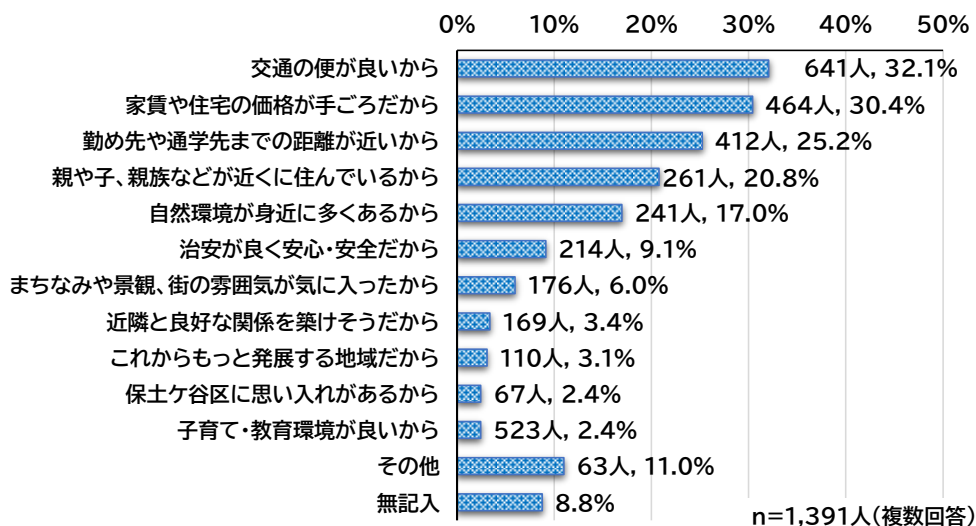
	合計	問4 保土ケ谷区に住むことになった一番大きな理由									
		で生まれてからずっと住ん	住宅購入のため	め就職・転勤など仕事のため	自分や家族の進学のため	自分や家族の結婚のため	た子育てや子どもの教育のため	親の介護のため	の親や親族との近居・同居	その他	無記入
全体	1,714	16.9	39.4	11.6	1.8	10.1	1.9	0.5	9.5	6.5	2.0
性別											
男性	669	20.3	40.5	13.8	2.5	4.9	1.9	0.6	8.8	5.2	1.3
女性	986	14.7	39.0	10.2	1.2	13.9	1.9	0.5	9.3	7.3	1.8
年代											
18～29歳	139	46.8	7.2	18.7	8.6	3.6	1.4	0.0	9.4	4.3	0.0
30～39歳	170	15.9	33.5	21.2	2.4	8.8	3.5	0.0	10.0	4.7	0.0
40～49歳	234	14.1	38.0	13.7	2.1	11.5	2.1	0.4	12.0	6.0	0.0
50～59歳	294	17.3	37.8	12.6	1.0	11.2	3.1	1.4	9.2	6.1	0.3
60～69歳	307	15.3	46.9	7.2	0.7	11.7	1.3	0.0	9.1	6.2	1.6
70～79歳	365	14.0	46.6	7.4	0.3	9.3	0.5	0.8	9.0	7.7	4.4
80歳以上	175	6.9	46.3	9.7	1.1	12.0	2.3	0.6	8.0	9.1	4.0

保土ケ谷区を住居地に選んだ理由(問 4-1)

問4-1 保土ケ谷区を住居地に選んだ理由は何ですか。

(問4で「生まれてからずっと住んでいる」以外に○をつけた方、○は3つまで)

- ・「交通の便が良いから」が 32.1%で最も多い。次いで「家賃や住宅の価格が手ごろだから」が 30.4%で、これらは3割以上の方が挙げている。以下「勤め先や通学先までの距離が近いから」が 25.2%、「親や子、親族などが近くに住んでいるから」が 20.8%などとなっている。



■ 性・年代別 住居地に選んだ理由

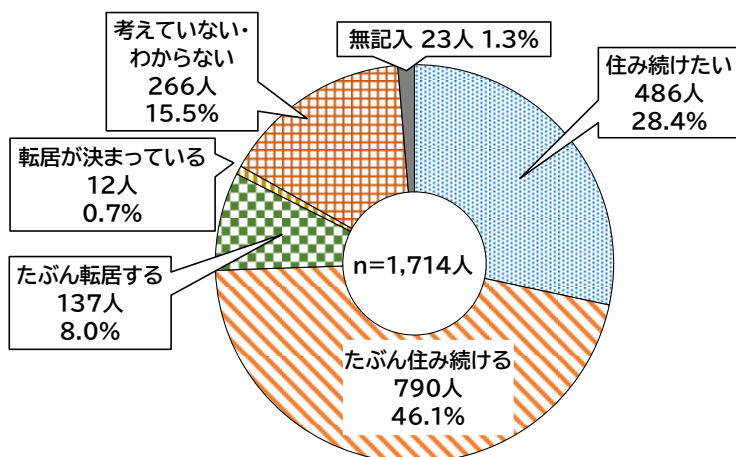
- ・年代別でみると、40代以下の年代では「家賃や住宅の価格が手ごろだから」、「50～59歳」では「親や子、親族などが近くに住んでいるから」、60代以上の年代では「交通の便が良いから」が最も多い。

		問4-1 保土ケ谷区を住居地に選んだ理由														
		合計	交通の便が良いから	勤め先や通学先までの距離が近いから	自然環境が身近に多くあるから	家賃や住宅の価格が手ごろだから	親や子、親族などが近くに住んでいるから	街の雰囲気や景観、街の雰囲気が気に入ったから	まちなみや景観、街の雰囲気が気に入ったから	これからもっと発展する地域だから	保土ケ谷区に思い入れがあるから	子育て・教育環境が良いから	治安が良く安心・安全だから	近隣と良好な関係を築けそうだから	その他	無記入
	全体	1,391	32.1	25.2	17.0	30.4	20.8	6.0	3.1	2.4	2.4	9.1	3.4	11.0	8.8	
性別	男性	524	33.2	30.3	18.1	34.2	19.3	6.3	3.2	3.4	3.8	8.6	2.7	10.7	5.9	
	女性	823	31.8	22.4	16.2	28.2	21.5	6.0	3.0	1.6	1.6	9.6	3.9	11.5	10.2	
年代	18～29歳	74	32.4	36.5	2.7	44.6	16.2	5.4	0.0	0.0	1.4	9.5	0.0	8.1	4.1	
	30～39歳	143	41.3	38.5	5.6	44.8	23.1	6.3	6.3	4.9	2.8	10.5	0.0	11.2	2.1	
	40～49歳	201	27.9	27.9	10.0	34.8	27.9	6.5	4.0	3.0	2.0	4.5	2.0	10.4	5.5	
	50～59歳	242	26.9	25.2	12.0	28.5	29.3	5.0	1.7	2.1	1.7	7.9	2.5	12.0	8.7	
	60～69歳	255	34.9	23.9	18.4	27.5	18.8	7.1	2.4	2.0	2.7	11.0	2.0	12.5	10.2	
	70～79歳	298	32.2	16.4	27.5	24.2	16.4	5.7	4.0	1.3	3.4	9.7	5.7	9.7	12.4	
	80歳以上	156	34.0	24.4	27.6	26.3	11.5	6.4	2.6	2.6	2.6	11.5	9.0	10.9	11.5	

保土ヶ谷区への定住意向(問5)

問5 これからもずっと保土ヶ谷区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- ・「たぶん住み続ける」が 46.1%で最も多く、全体の半数近くを占める。次いで「住み続けたい」が 28.4%で、これらを合わせると 74.5%となり、全体の4分の3が定住意向を持っている。次いで「考えていない・わからない」が 15.5%である。「たぶん転居する」(8.0%)、「転居が決まっている」(0.7%)を合わせると 8.7%で、転出意向は1割未満である。



■ 性・年代別 保土ヶ谷区への定住意向

- ・年代別でみると、“18～29 歳”では「たぶん転居する」、30～79 歳は「たぶん住み続ける」、「80 歳以上」では「住み続けたい」が最も多い。

		合計	問5 保土ヶ谷区への定住意向					
			住み続けた い	たぶん住み 続ける	たぶん転 居する	転居が決 まっている	考えていな い・わから ない	無記入
	全体	1,714	28.4	46.1	8.0	0.7	15.5	1.3
性別	男性	669	30.6	46.0	9.4	0.6	12.3	1.0
	女性	986	27.0	46.6	6.8	0.8	17.7	1.1
年代	18～29歳	139	10.1	28.8	32.4	2.2	25.9	0.7
	30～39歳	170	18.2	45.3	12.4	0.6	23.5	0.0
	40～49歳	234	17.9	46.6	9.8	1.7	23.1	0.9
	50～59歳	294	27.9	48.0	7.1	0.3	16.7	0.0
	60～69歳	307	27.7	53.1	4.2	1.0	12.4	1.6
	70～79歳	365	37.3	47.4	3.0	0.0	10.1	2.2
	80歳以上	175	49.7	42.3	1.7	0.0	4.6	1.7

■ 子育てステージ別 保土ヶ谷区への定住意向

- ・子育てステージ別でみると、いずれの世帯も「たぶん住み続ける」が最も多く、小学生・中学生のいる世帯では「たぶん住み続ける」が全体値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問5 保土ヶ谷区への定住意向					
			住み続けた い	たぶん住み 続ける	たぶん転 居する	転居が決 まっている	考えていな い・わから ない	無記入
	全体	1714	28.4	46.1	8.0	0.7	15.5	1.3
子育てステージ1	家族形成期(末子-未就学児)	105	17.1	50.5	13.3	1.0	18.1	0.0
	家族成長前期(末子-小学生・中学生)	125	20.8	57.6	6.4	0.0	14.4	0.8
	家族成長後期(末子-高校生・大学生)	116	24.1	53.4	4.3	0.9	17.2	0.0
	家族成熟期(子育て終了)	745	34.0	49.7	3.5	0.1	11.0	1.7
	こどもなし	494	22.5	37.9	15.6	1.8	21.7	0.6

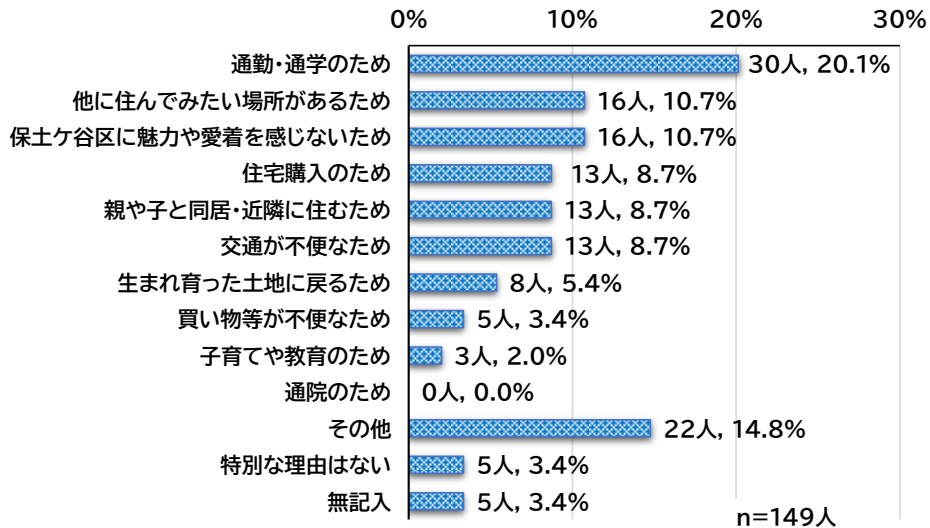
※子育てステージ1区分は、報告書P5参照

転居する理由(問5-1)

問5-1 その理由は何ですか。

(問5で「たぶん転居する」または「転居が決まっている」に○をつけた方、○は1つだけ)

- ・「通勤・通学のため」が20.1%で最も多い。「他に住んでみたい場所があるため」、「保土ヶ谷区に魅力や愛着を感じないため」がともに10.7%となっている。



■ 性・年代別 転居する理由

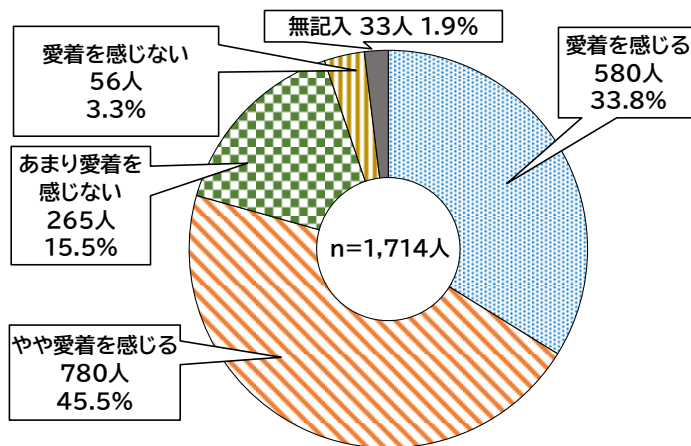
- ・年代別で見ると、男性18～39歳の年代では「通勤・通学のため」が最も多い。

		合計	問5-1 転居する理由												
			住宅購入のため	通勤・通学のため	親や子と同居・近隣に住むため	生まれ育った土地に戻るため	交通が不便なため	買い物等が不便なため	子育てや教育のため	通院のため	他に住んでみたい場所があるため	保土ヶ谷区に魅力や愛着を感じないため	その他	特別な理由はない	無記入
	全体	149	8.7	20.1	8.7	5.4	8.7	3.4	2.0	0.0	10.7	10.7	14.8	3.4	3.4
性別	男性	67	10.4	23.9	6.0	7.5	4.5	6.0	1.5	0.0	17.9	9.0	7.5	4.5	1.5
	女性	75	5.3	17.3	12.0	2.7	12.0	1.3	2.7	0.0	5.3	10.7	22.7	2.7	5.3
年代	18～29歳	48	10.4	43.8	0.0	0.0	10.4	4.2	2.1	0.0	18.8	6.3	4.2	0.0	0.0
	30～39歳	22	4.5	22.7	4.5	9.1	9.1	9.1	4.5	0.0	4.5	13.6	4.5	9.1	4.5
	40～49歳	27	7.4	14.8	11.1	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	11.1	11.1	22.2	7.4	7.4
	50～59歳	22	13.6	0.0	27.3	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	13.6	22.7	13.6	0.0	0.0
	60～69歳	16	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0	6.3	6.3
	70～79歳	11	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0	9.1
	80歳以上	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

保土ケ谷区への愛着(問6)

問6 あなたはどのくらい保土ケ谷区に愛着を感じていますか。(○は1つだけ)

- ・「やや愛着を感じる」が 45.5%で最も多くなっている。次いで「愛着を感じる」が 33.8%で、これらを合わせると 79.3%と、8割近くが愛着を感じている。「あまり愛着を感じない」は 15.5%、「愛着を感じない」は 3.3%で、これらを合わせると 18.7%と2割に満たない。



■ 性・年代別 保土ケ谷区への愛着

- ・年代別で見ると、70代以下の年代では「やや愛着を感じる」が最も多く、“80歳以上”では「愛着を感じる」が最も多い。

		合計	問6 保土ケ谷区への愛着				
			愛着を感じる	やや愛着を感じる	あまり愛着を感じない	愛着を感じない	無記入
	全体	1,714	33.8	45.5	15.5	3.3	1.9
性別	男性	669	35.9	44.7	14.2	3.3	1.9
	女性	986	33.1	46.5	16.2	3.0	1.2
年代	18～29歳	139	30.9	41.0	20.9	5.8	1.4
	30～39歳	170	21.8	49.4	21.2	7.1	0.6
	40～49歳	234	23.1	52.6	18.8	5.1	0.4
	50～59歳	294	32.3	48.6	15.3	3.1	0.7
	60～69歳	307	36.8	42.3	16.3	1.6	2.9
	70～79歳	365	41.1	43.8	10.7	1.9	2.5
	80歳以上	175	44.6	42.3	10.9	1.1	1.1

4 地域との関わりや地域活動について

結果のポイント

◆地域との関わり(隣近所との付き合い方)

- ・『日頃』と『理想』の数値の差が最も大きいのは、「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」。
- ・『日頃』と『理想』の数値の差が最も小さいのは、「見かけたら世間話や立ち話をする」、「気のあった人と親しくしている」。

『日頃の付き合い方』			『理想の付き合い方』	
「挨拶だけする程度」	42.2%		「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」	30.7%
「見かけたら世間話や立ち話をする」	23.5%	↔	「見かけたら世間話や立ち話をする」	23.0%
「気のあった人と親しくしている」	16.8%	↘	「挨拶だけする程度」	22.2%
「顔もよく知らず、つながりもない」	7.2%		「気のあった人と親しくしている」	16.7%
「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」	6.9%		「顔もよく知らず、つながりもない」	2.2%

◆参加、または取り組めると思う地域活動

- ・「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」が約3割で最も多い。

◆地域で充実してほしい活動

- ・「高齢者の見守り・支えあい・訪問活動」が約3割で最も多い。

◆地域活動に参加してもらうために必要なこと

- ・「初めての人が参加しやすい工夫がある(体験会や同じ境遇の人がいるなど)」が約4割で最も多い。

隣近所との『日頃の付き合い方』、『理想の付き合い方』（問7）

問7 ア あなたは日頃、隣近所の方とどのような付き合い方をしていますか。（○は1つだけ）

イ 今後の理想として、隣近所の方とどのような付き合い方をしていきたいですか。（○は1つだけ）

<日頃の付き合い方>

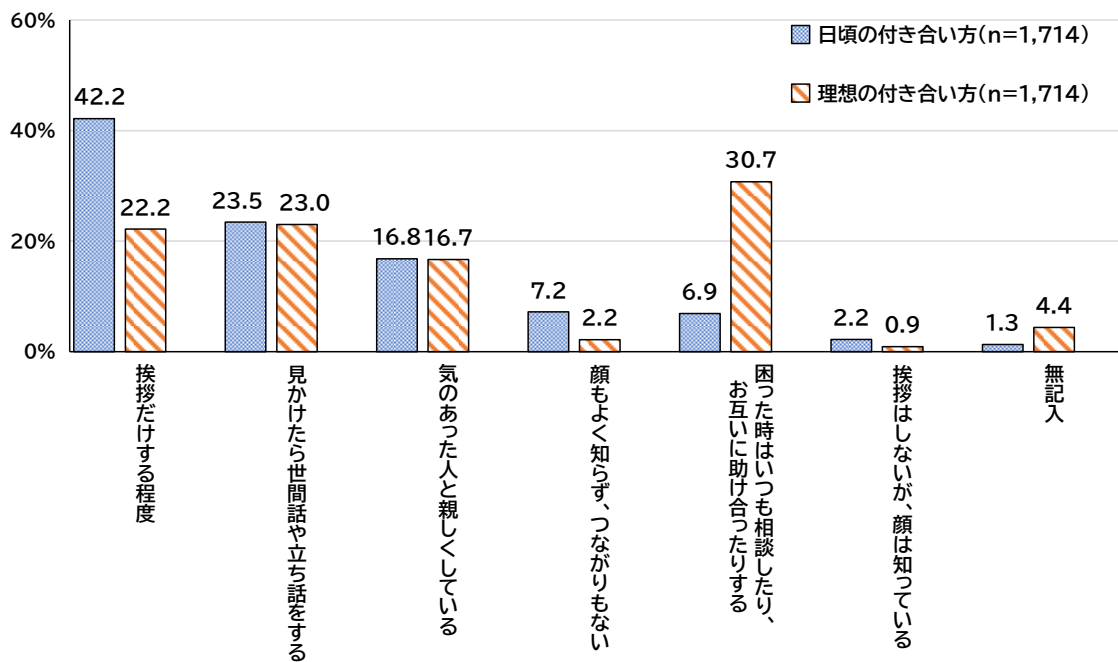
- ・「挨拶だけする程度」が最も多く 42.2%である。次いで「見かけたら世間話や立ち話をする」が 23.5%となっている。

<理想の付き合い方>

- ・「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」が 30.7%で最も多い、次いで「見かけたら世間話や立ち話をする」が 23.0%となっている。

<日頃の付き合い方と理想の付き合い方の比較>

- ・数値の差が最も大きいのは「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」で、『理想の付き合い方』の数値が『日頃の付き合い方』の数値を上回っている。
- ・「挨拶だけする程度」では、『日頃の付き合い方』の数値が『理想の付き合い方』の数値を上回っている。



■ 性・年代別 隣近所との付き合い方

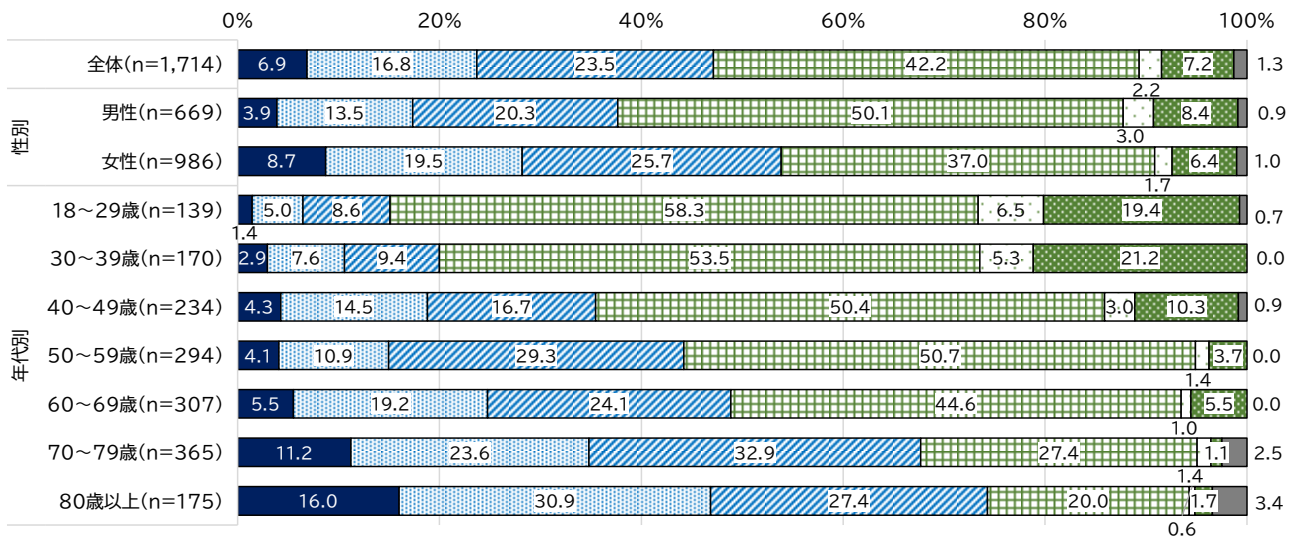
<日頃の付き合い方>

- ・ 性別で見ると、男女とも「挨拶だけする程度」が最も多い。“女性”は“男性”より「気のあった人と親しくしている」や「見かけたら世間話や立ち話をする」が高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、60代以下の年代では「挨拶だけする程度」、70代は「見かけたら世間話や立ち話をする」、80歳以上では「気のあった人と親しくしている」が最も多い。

<理想の付き合い方>

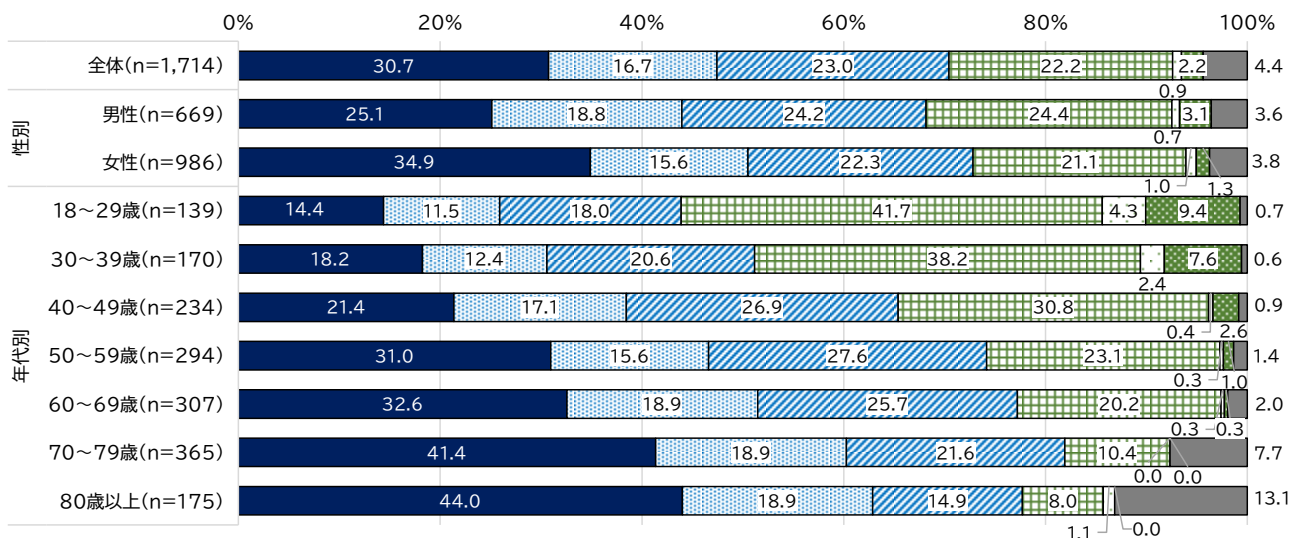
- ・ 性別で見ると、男女とも「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」が最も多く、“女性”は“男性”より高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、40代以下の年代では「挨拶だけする程度」、50代以上の年代では「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」が最も多く、50代を境に傾向が分かれた。

<日頃の付き合い方>



困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする
 気のあった人と親しくしている
 見かけたら世間話や立ち話をする
 挨拶だけする程度
 挨拶はしないが、顔は知っている
 顔もよく知らず、つながりもない
 無記入

<理想の付き合い方>



困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする
 気のあった人と親しくしている
 見かけたら世間話や立ち話をする
 挨拶だけする程度
 挨拶はしないが、顔は知っている
 顔もよく知らず、つながりもない
 無記入

■ 同居の家族形態別・住居形態別・居住期間別・定住意向別 隣近所との付き合い方

<日頃の付き合い方>

- ・同居の家族形態別でみると、“単身(一人暮らし)”では「顔もよく知らず、つながりもない」、「3世代(親と子と孫)」では「見かけたら世間話や立ち話をする」の数値が全体値より高くなっている。
- ・住居形態別でみると、“借家(マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など)”では「顔もよく知らず、つながりもない」の数値が全体値より高くなっている。
- ・保土ケ谷区の居住期間別でみると、40年以上では「見かけたら世間話や立ち話をする」、それ以外では「挨拶だけする程度」が最も多い。“5年未満”では「顔もよく知らず、つながりもない」、「10年～15年未満」、「15年～20年未満」では「挨拶だけする程度」の数値が全体値より高くなっている。
- ・保土ケ谷区への定住意向別でみると、“たぶん転居する”、“転居が決まっている”では「顔もよく知らず、つながりもない」、「考えていない・わからない」では「挨拶だけする程度」の数値が全体値より高くなっている。

	合計	問7 ア 日頃の付き合い方							
		困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする	気のあった人と親しくしている	見かけたら世間話や立ち話をする	挨拶だけする程度	挨拶はしないが、顔は知っている	顔もよく知らず、つながりもない	無記入	
全体	1,714	6.9	16.8	23.5	42.2	2.2	7.2	1.3	
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	262	8.0	14.9	17.2	33.6	3.1	20.6	2.7
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	522	8.2	17.8	22.6	42.3	2.1	6.3	0.6
	2世代(親と子)	735	5.0	17.0	24.9	46.1	2.4	3.8	0.7
	3世代(親と子と孫)	116	6.9	18.1	33.6	37.9	0.0	1.7	1.7
	その他	35	11.4	11.4	17.1	45.7	2.9	11.4	0.0
住居形態	持家(一戸建て)	850	8.7	18.8	29.5	38.6	1.8	1.4	1.2
	持家(マンション・共同住宅)	446	4.7	17.0	20.0	50.2	2.0	5.4	0.7
	借家(一戸建て)	24	0.0	8.3	29.2	50.0	8.3	4.2	0.0
	借家(マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など)	362	5.2	12.4	14.1	40.6	3.3	23.2	1.1
	その他	16	6.3	25.0	12.5	43.8	0.0	6.3	6.3
保土ケ谷区の居住期間	5年未満	214	2.8	7.9	11.2	47.7	2.8	27.6	0.0
	5年～10年未満	147	4.8	12.2	16.3	50.3	4.1	12.2	0.0
	10年～15年未満	129	5.4	17.1	17.8	52.7	0.8	5.4	0.8
	15年～20年未満	143	6.3	9.8	21.7	53.8	4.9	3.5	0.0
	20年～30年未満	326	4.0	16.3	23.3	50.9	2.5	2.8	0.3
	30年～40年未満	245	4.9	15.5	28.2	42.0	3.3	5.3	0.8
	40年以上	496	12.3	25.2	30.8	26.2	0.4	2.2	2.8
保土ケ谷区への定住意向	住み続けたい	486	11.7	21.2	27.2	33.7	1.4	3.7	1.0
	たぶん住み続ける	790	5.8	17.8	24.9	43.0	1.9	5.9	0.5
	たぶん転居する	137	1.5	7.3	13.9	51.1	6.6	19.0	0.7
	転居が決まっている	12	8.3	16.7	16.7	25.0	8.3	25.0	0.0
	考えていない・わからない	266	3.4	11.3	18.4	53.0	2.3	10.9	0.8

<理想の付き合い方>

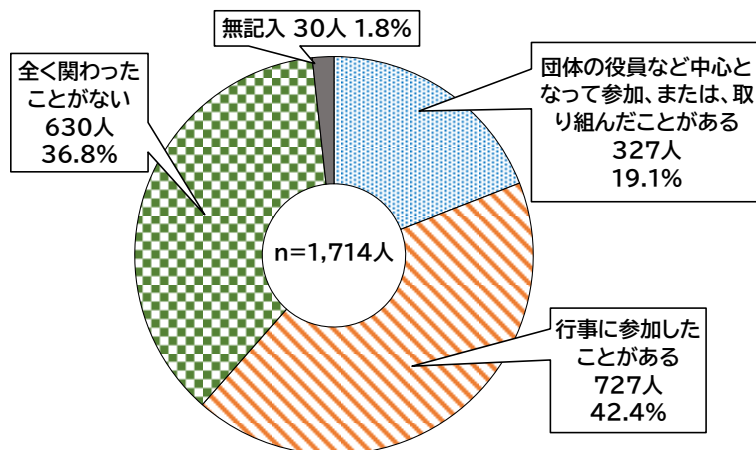
- ・同居の家族形態別でみると、いずれの家族形態においても「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」が最も多くなっている。
- ・住居形態別でみると、持家では「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」、借家では「挨拶だけする程度」が最も多い。“借家(一戸建て)”では「挨拶だけする程度」の数値が全体値より高くなっている。
- ・保土ヶ谷区の居住期間別でみると、“5年未満”では「挨拶だけする程度」が最も多い。“10年～20年未満”では「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」、「挨拶だけする程度」が同率で最も多く、居住期間が長くなるにつれて「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」割合が高くなる傾向がある。
- ・保土ヶ谷区への定住意向別でみると、“住み続けたい”、“たぶん住み続ける”では「困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」が最も多く、それ以外は「挨拶だけする程度」、「見かけたら世間話や立ち話をする」が多い傾向にある。“たぶん転居する”では「挨拶だけする程度」、「転居が決まっている”では「見かけたら世間話や立ち話をする」が最も多く、「挨拶はしないが、顔は知っている」の数値が全体値より高くなっている。

	合計	問7 イ 理想の付き合い方							
		困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする	気のあった人と親しくしている	見かけたら世間話や立ち話をする	挨拶だけする程度	挨拶はしないが、顔は知っている	顔もよく知らず、つながりもない	無記入	
全体	1,714	30.7	16.7	23.0	22.2	0.9	2.2	4.4	
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	262	30.2	13.7	14.1	25.2	2.7	6.1	8.0
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	522	33.5	16.5	22.4	21.5	0.4	1.9	3.8
	2世代(親と子)	735	28.8	18.4	25.9	22.9	0.8	1.2	2.0
	3世代(親と子と孫)	116	35.3	18.1	25.9	16.4	0.0	0.0	4.3
	その他	35	31.4	8.6	20.0	31.4	0.0	2.9	5.7
	住居形態	持家(一戸建て)	850	35.3	17.9	24.1	17.3	0.7	0.6
	持家(マンション・共同住宅)	446	28.7	19.3	23.3	24.2	0.7	1.3	2.5
	借家(一戸建て)	24	20.8	8.3	20.8	41.7	0.0	0.0	8.3
	借家(マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など)	362	24.6	11.3	20.4	29.8	1.7	7.2	5.0
	その他	16	18.8	18.8	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5
保土ヶ谷区の居住期間	5年未満	214	20.1	10.7	22.4	35.0	1.4	8.4	1.9
	5年～10年未満	147	26.5	18.4	21.1	25.2	0.7	6.1	2.0
	10年～15年未満	129	28.7	16.3	21.7	28.7	0.8	0.8	3.1
	15年～20年未満	143	27.3	17.5	20.3	27.3	3.5	1.4	2.8
	20年～30年未満	326	26.7	19.9	23.6	25.2	0.6	1.2	2.8
	30年～40年未満	245	31.8	14.3	26.9	22.9	0.4	0.4	3.3
	40年以上	496	40.7	17.7	22.8	10.5	0.4	0.4	7.5
保土ヶ谷区への定住意向	住み続けたい	486	39.3	16.0	21.0	16.5	0.8	0.8	5.6
	たぶん住み続ける	790	32.2	17.2	25.1	20.8	0.4	1.4	3.0
	たぶん転居する	137	19.0	12.4	21.2	35.0	3.6	8.0	0.7
	転居が決まっている	12	16.7	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	0.0
	考えていない・わからない	266	19.5	18.0	22.6	32.0	0.4	3.8	3.8

地域活動参加の有無(問8)

問8 地域の方々が主体となって様々な活動が行われていますが、あなたは地域で行われる何らかの地域活動に関わったことがありますか。(○は1つだけ)

- ・「行事に参加したことがある」が 42.4%で最も多く、全体の4割以上となっている。「全く関わったことがない」が 36.8%、「団体の役員など中心となって参加、または、取り組んだことがある」は 19.1%となっている。



■ 性・年代別 地域活動参加の有無

- ・性別で見ると、“男性”は「全く関わったことがない」が最も多く、“女性”は「行事に参加したことがある」が最も多くなっている。
- ・年代別で見ると、40代以下の年代では「全く関わったことがない」が最も多い。50代以上の年代では「行事に参加したことがある」が最も多く、50代を境に傾向が分かれた。

	合計	問8 地域活動に関わったことの有無			
		団体の役員など中心となって参加、または、取り組んだことがある	行事に参加したことがある	全く関わったことがない	無記入
全体	1,714	19.1	42.4	36.8	1.8
性別					
男性	669	17.6	38.9	42.5	1.0
女性	986	20.2	44.7	33.4	1.7
年代					
18~29歳	139	2.9	44.6	51.8	0.7
30~39歳	170	2.9	28.8	68.2	0.0
40~49歳	234	14.5	35.9	48.7	0.9
50~59歳	294	22.8	43.2	33.7	0.3
60~69歳	307	27.0	44.6	28.0	0.3
70~79歳	365	24.9	45.2	26.6	3.3
80歳以上	175	21.1	50.9	23.4	4.6

■ 居住期間別・定住意向別・自治会町内会への加入状況別 地域活動参加の状況

- ・ 保土ケ谷区内の居住期間別で見ると、15年未満までは「全く関わったことがない」が、15年以上では「行事に参加したことがある」が最も多い。
- ・ 保土ケ谷区への定住意向別で見ると、“住み続けたい”、“たぶん住み続ける”では「行事に参加したことがある」が最も多い。それ以外では「全く関わったことがない」が最も多く、その数値も全体値より高くなっている。
- ・ 自治会町内会への加入状況別で見ると、“加入している”では「行事に参加したことがある」が最も多く、“以前は加入していたが、現在は加入していない”、“加入したことがない”では「全く関わったことがない」が最も多い。また、“加入したことがない”では「全く関わったことがない」の数値が全体値より高くなっている。

		合計	問8 地域活動に関わったことの有無			
			団体の役員 など中心と なって参 加、または、 取り組んだ ことがある	行事に参加 したことが ある	全く関わっ たことがな い	無記入
全体		1,714	19.1	42.4	36.8	1.8
保土ケ谷 区の居住 期間	5年未満	214	4.2	16.8	78.0	0.9
	5年～10年未満	147	6.8	38.8	53.1	1.4
	10年～15年未満	129	23.3	37.2	38.0	1.6
	15年～20年未満	143	18.2	49.0	32.2	0.7
	20年～30年未満	326	19.9	48.8	31.0	0.3
	30年～40年未満	245	23.7	46.5	28.6	1.2
	40年以上	496	25.4	48.2	23.2	3.2
保土ケ谷 区への定 住意向	住み続けたい	486	22.8	45.3	30.2	1.6
	たぶん住み続ける	790	20.5	44.9	33.3	1.3
	たぶん転居する	137	12.4	36.5	51.1	0.0
	転居が決まっている	12	16.7	16.7	66.7	0.0
	考えていない・わからない	266	11.7	35.3	52.3	0.8
自治会町 内会への 加入状況	加入している	1329	22.9	48.8	26.6	1.7
	以前は加入していたが、現在は加入していない	95	13.7	36.8	46.3	3.2
	加入したことがない	255	1.6	13.7	84.7	0.0

■ 隣近所との付き合い方(日頃、理想)別 地域活動参加の状況

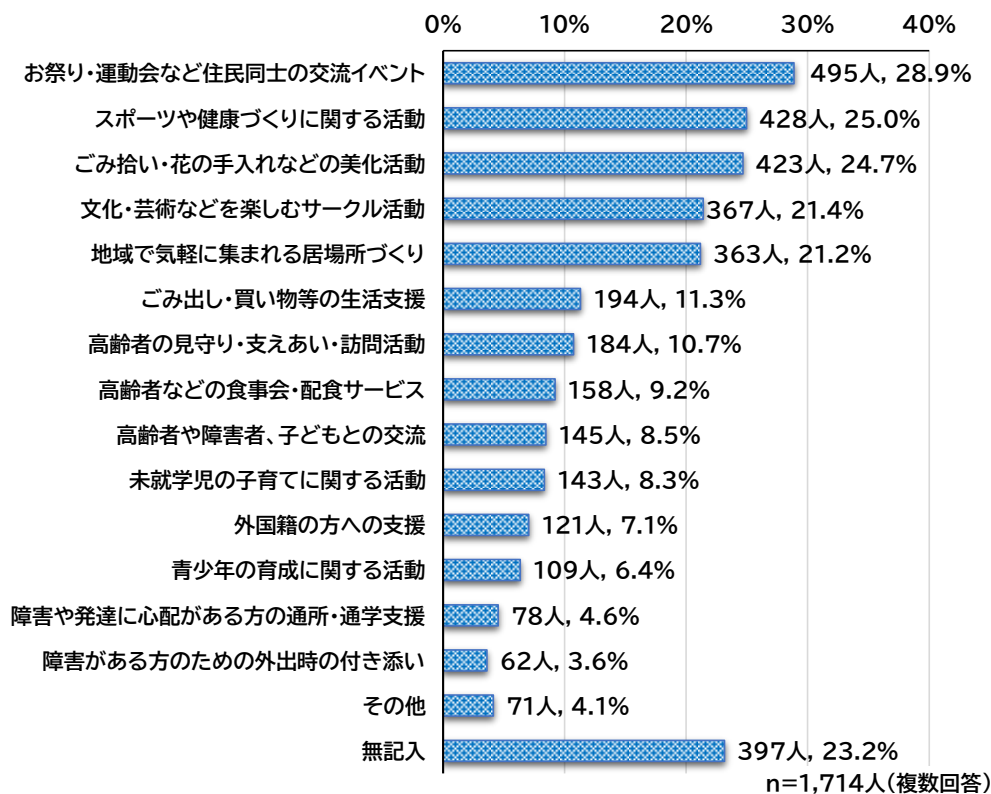
- ・ 隣近所との付き合い方別で見ると、付き合い方が深いほど地域活動への関わり度合いが高い傾向がある。
- ・ また、日頃の隣近所との付き合い方が深い方が地域活動に参加している割合が全体の数値より高い傾向があり、『日頃』と『理想』のいずれでも付き合い方が浅い場合は、「全く関わったことがない」の割合が全体値より高くなっている。

	合計	問8 地域活動に関わったことの有無				
		団体の役員 など中心と なって参 加、または、 取り組んだ ことがある	行事に参加 したことが ある	全く関わっ たことがな い	無記入	
全体(n=1714)	1,714	19.1	42.4	36.8	1.8	
日頃の付 き合い方	困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする(n=118)	118	39.8	45.8	11.9	2.5
	気のあった人と親しくしている(n=288)	288	26.7	53.8	17.4	2.1
	見かけたら世間話や立ち話をする(n=402)	402	26.4	50.0	22.4	1.2
	挨拶だけする程度(n=723)	723	12.0	40.4	47.2	0.4
	挨拶はしないが、顔は知っている(n=38)	38	13.2	18.4	68.4	0.0
	顔もよく知らず、つながりもない(n=123)	123	2.4	9.8	87.0	0.8
理想の付 き合い方	困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする(n=527)	527	27.9	46.1	25.2	0.8
	気のあった人と親しくしている(n=286)	286	21.0	48.3	29.7	1.0
	見かけたら世間話や立ち話をする(n=394)	394	17.3	46.4	36.0	0.3
	挨拶だけする程度(n=380)	380	10.3	33.9	54.7	1.1
	挨拶はしないが、顔は知っている(n=15)	15	6.7	26.7	66.7	0.0
	顔もよく知らず、つながりもない(n=37)	37	2.7	5.4	91.9	0.0

参加、または、取り組めると思う地域活動(問9)

問9 どのような活動であれば参加、または、取り組めると思われますか。(〇はいくつでも)

- ・「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」が28.9%で最も多く、次いで「スポーツや健康づくりに関する活動」が25.0%となっている。以下「ごみ拾い・花の手入れなどの美化活動」(24.7%)、「文化・芸術などを楽しむサークル活動」(21.4%)、「地域で気軽に集まれる居場所づくり」(21.2%)と続く。



■ 性・年代別 参加、または、取り組めると思う地域活動

- 性別でみると、男女とも「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」が最も多い。また、“男性”は“女性”より「スポーツや健康づくりに関する活動」の数値が高く、“女性”は「未就学児の子育てに関する活動」が“男性”より高くなっている。
- 年代別でみると40代以下の年代では「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」、50～69歳では「ごみ拾い・花の手入れなどの美化活動」、70代以上の年代では「地域で気軽に集まれる居場所づくり」が最も多い。

		合計	問9 参加、または、取り組めると思う活動															
			配食サービス 高齢者などの食事会・ あい・訪問活動	高齢者の見守り 支援	障害や発達に心配が ある方の通所・通学支 援	障害や発達に心配が ある方のための 外出時の付き添い	障害がある方の子育 てに関する活動	未就学児の子育 てに関する活動	青少年の育 成に関する活動	高齢者や障 害者、子 どもの交 流	地域で気 軽に集ま れる居場 所づくり	生活支 援	ごみ出し 買物等の 生活支 援	スポーツ や健康づ くりに関 する活 動	文化・芸 術など を楽しむ サークル 活動	お祭り・ 運動会 など住 民同 士の交 流イ ベン ト	ごみ拾 い・花 の手入 れなど の美化 活動	外国籍 の方 への支 援
性別	全体	1,714	9.2	10.7	4.6	3.6	8.3	6.4	8.5	21.2	11.3	25.0	21.4	28.9	24.7	7.1	4.1	23.2
	男性	669	6.7	9.6	3.9	4.0	4.2	9.0	7.8	21.7	9.1	28.3	21.2	31.4	23.6	7.6	3.9	24.4
	女性	986	11.1	11.7	5.0	3.3	11.4	4.8	8.9	20.7	12.6	23.1	21.8	27.2	26.0	6.9	4.4	21.7
年代別	18～29歳	139	2.2	4.3	0.7	0.7	8.6	7.2	7.9	9.4	8.6	23.7	17.3	43.2	14.4	10.1	2.9	30.2
	30～39歳	170	1.2	1.8	5.3	1.2	23.5	9.4	6.5	10.0	6.5	24.1	25.3	42.4	18.8	8.2	2.9	22.4
	40～49歳	234	5.1	9.4	5.6	5.6	11.5	11.1	7.3	11.5	6.4	25.2	23.5	35.5	17.9	12.8	5.6	26.1
	50～59歳	294	9.5	8.8	8.8	5.1	5.8	4.4	6.8	18.7	11.6	23.1	17.3	27.2	28.6	7.5	2.7	24.1
	60～69歳	307	9.8	12.7	4.2	5.2	7.2	5.5	11.4	22.1	14.7	23.1	23.8	21.8	30.3	6.2	4.6	21.2
	70～79歳	365	12.1	13.4	3.3	2.7	6.0	5.5	9.3	30.4	14.8	28.8	23.0	26.0	29.9	4.7	2.7	19.7
	80歳以上	175	20.6	20.0	1.7	2.3	1.1	3.4	8.6	37.1	9.7	26.9	18.9	19.4	21.7	2.9	8.0	21.7

■ 同居の家族形態別・就業形態別 参加、または、取り組めると思う地域活動

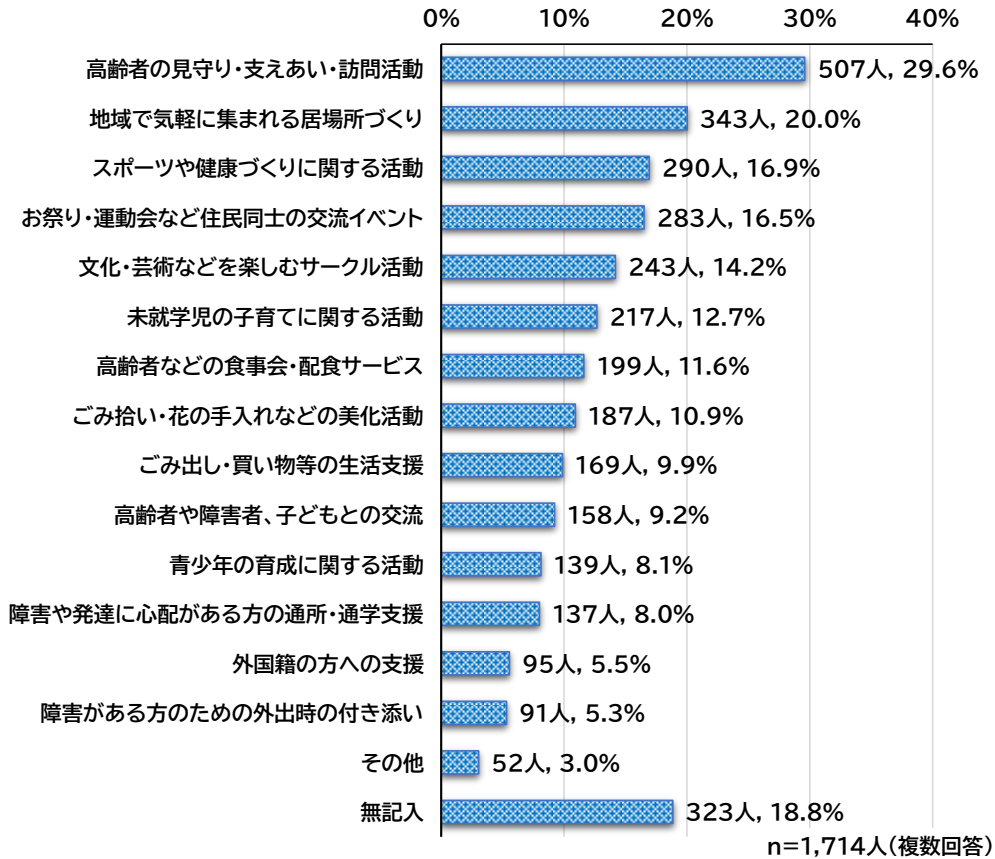
- 同居の家族形態別でみると、“単身(一人暮らし)”では「文化・芸術などを楽しむサークル活動」、「夫婦もしくはパートナーと二人暮らし」では「地域で気軽に集まれる居場所づくり」、「2世代(親と子)」、「3世代(親と子と孫)」では「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」、「その他」では「スポーツや健康づくりに関する活動」が最も多い。
- 就業形態別でみると、“自営業”、“会社員”、“学生”では「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」、「無職」、「主婦・主夫」では「地域で気軽に集まれる居場所づくり」、「その他」では「文化・芸術などを楽しむサークル活動」、「ごみ拾い・花の手入れなどの美化活動」が最も多い。また、“学生”では「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」の数値が全体値より高くなっている。

		合計	問9 参加、または、取り組めると思う活動															
			配食サービス 高齢者などの食事会・ あい・訪問活動	高齢者の見守り 支援	障害や発達に心配が ある方の通所・通学支 援	障害や発達に心配が ある方のための 外出時の付き添い	障害がある方の子育 てに関する活動	未就学児の子育 てに関する活動	青少年の育 成に関する活動	高齢者や障 害者、子 どもの交 流	地域で気 軽に集ま れる居場 所づくり	生活支 援	ごみ出し 買物等の 生活支 援	スポーツ や健康づ くりに関 する活 動	文化・芸 術など を楽しむ サークル 活動	お祭り・ 運動会 など住 民同 士の交 流イ ベン ト	ごみ拾 い・花 の手入 れなど の美化 活動	外国籍 の方 への支 援
同居の家族形態	全体	1,714	9.2	10.7	4.6	3.6	8.3	6.4	8.5	21.2	11.3	25.0	21.4	28.9	24.7	7.1	4.1	23.2
	単身(一人暮らし)	262	10.7	13.0	4.6	4.2	3.4	5.0	6.5	21.4	11.5	24.0	25.6	23.3	21.8	8.0	5.0	27.9
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	522	11.3	12.5	3.8	3.8	5.9	4.4	8.6	26.6	13.6	26.4	23.2	24.9	26.1	5.4	4.4	20.5
	2世代(親と子)	735	7.8	9.0	5.0	3.5	12.1	9.0	9.4	17.7	9.7	24.6	20.0	34.1	25.4	8.6	3.4	22.2
	3世代(親と子と孫)	116	8.6	8.6	5.2	2.6	10.3	4.3	8.6	19.0	10.3	25.9	15.5	36.2	27.6	6.0	4.3	20.7
	その他	35	0.0	11.4	2.9	2.9	2.9	2.9	5.7	17.1	14.3	25.7	17.1	14.3	20.0	5.7	2.9	37.1
就業形態	自営業	90	11.1	11.1	4.4	3.3	15.6	7.8	11.1	18.9	13.3	30.0	23.3	32.2	25.6	4.4	5.6	17.8
	会社員	853	6.9	9.6	6.0	4.6	9.4	7.9	7.2	17.1	9.7	24.9	21.8	32.0	24.3	9.4	3.6	23.2
	無職	374	11.5	12.3	2.7	3.2	2.9	3.7	7.5	26.2	12.8	25.4	21.1	19.3	24.1	4.3	5.3	26.5
	学生	45	2.2	6.7	0.0	0.0	8.9	13.3	15.6	8.9	15.6	24.4	17.8	55.6	20.0	15.6	6.7	20.0
	主婦・主夫	277	13.0	11.9	2.9	2.2	11.2	4.0	11.2	28.5	12.3	23.5	21.3	27.8	26.7	4.3	4.3	18.4
	その他	38	7.9	10.5	5.3	2.6	5.3	2.6	10.5	23.7	10.5	26.3	28.9	23.7	28.9	2.6	0.0	31.6

今後地域の中で充実してほしい活動(問 10)

問 10 問9の1～15 の項目のうち、今後地域の中で充実してほしい活動はどれですか。
(最大3つまで)

- ・「高齢者の見守り・支えあい・訪問活動」が最も多く 29.6%で、これは前問の「参加できる活動」としては7番目に高い数値となっていた項目である。次いで「地域で気軽に集まれる居場所づくり」が 20.0%である。以下「スポーツや健康づくりに関する活動」(16.9%)、「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」(16.5%)と続く。



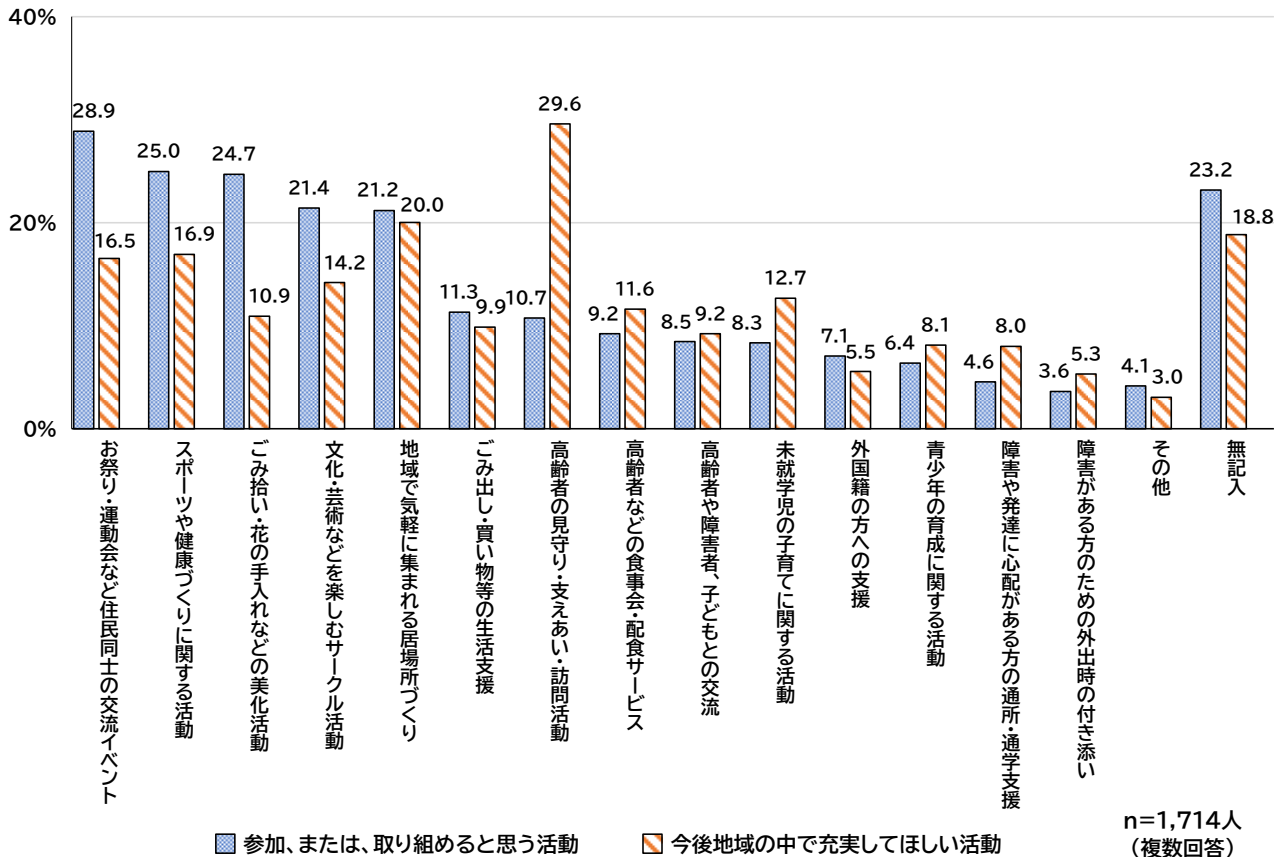
■ 性・年代別 今後地域の中で充実してほしい活動

- ・年代別でみると、40代以下の年代では「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」、50代以上の年代では「高齢者の見守り・支えあい・訪問活動」が最も多く、50代を境に傾向が分かれた。

		問10 今後地域の中で充実してほしい活動																			
		合計	配食サービス	高齢者などの食事会・ あい・訪問活動	高齢者の見守り・支え あいの活動	障害や発達に心配があ る方の通所・通学支援	障害や発達に心配があ る方のための 外出時の付き添い	障害がある方の子育てに 関する活動	未就学児の子育てに 関する活動	青少年の育成に 関する活動	高齢者や障害者、子 どもとの交流	地域で気軽に集まれる 居場所づくり	生活支援	ごみ出し・買い物等 の生活支援	スポーツや健康づく りに関する活動	文化・芸術などを楽し むサークル活動	お祭り・運動会など住 民同士の交流イベント	ごみ拾い・花の手入れ などの美化活動	外国籍の方への支援	その他	無記入
全体		1,714	11.6	29.6	8.0	5.3	12.7	8.1	9.2	20.0	9.9	16.9	14.2	16.5	10.9	5.5	3.0	18.8			
性別	男性	669	11.5	26.3	7.9	5.2	9.7	10.0	9.0	18.4	9.4	20.9	14.2	19.6	12.1	5.5	4.0	17.5			
	女性	986	12.2	31.9	8.2	5.5	14.9	7.3	9.3	20.6	10.0	15.1	15.0	14.7	10.2	5.8	2.4	18.6			
年代別	18～29歳	139	4.3	9.4	10.8	4.3	18.0	8.6	7.2	12.9	11.5	18.7	13.7	34.5	13.7	10.1	3.6	17.3			
	30～39歳	170	2.4	11.2	8.2	1.2	32.9	16.5	5.3	14.1	8.2	15.3	19.4	35.9	11.2	7.6	4.7	10.6			
	40～49歳	234	9.0	20.9	8.5	3.8	14.5	12.8	9.0	15.8	8.1	21.8	17.1	26.9	12.4	6.4	6.8	9.8			
	50～59歳	294	16.3	36.7	13.3	8.2	10.5	7.5	7.8	23.1	11.9	16.7	10.9	11.6	9.5	5.4	3.1	13.9			
	60～69歳	307	13.7	38.1	4.9	5.2	11.7	7.5	13.0	22.1	11.4	19.2	13.7	8.8	11.4	6.2	2.9	15.6			
	70～79歳	365	13.2	35.9	7.1	5.5	7.4	4.9	10.7	23.6	9.9	16.2	15.1	9.9	12.1	3.8	0.5	23.8			
	80歳以上	175	16.6	34.3	3.4	8.0	4.6	3.4	8.0	19.4	7.4	11.4	12.6	7.4	5.7	2.3	1.1	38.9			

<『参加、または、取り組めると思う地域活動』と『今後地域の中で充実してほしい活動』の比較>

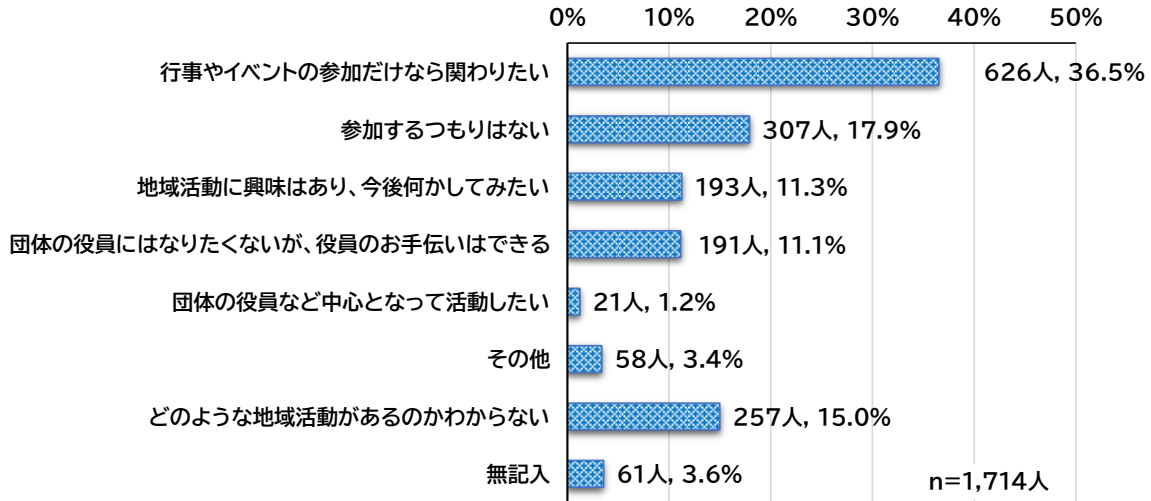
・『参加、または、取り組めると思う地域活動』と『今後地域の中で充実してほしい活動』を比較してみると、「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」、「ごみ拾い・花の手入れなどの美化活動」では『参加、または、取り組めると思う活動』の割合の方が高く、「高齢者の見守り・支えあい・訪問活動」では『今後地域の中で充実してほしい活動』の割合の方が10ポイント以上高くなっている。



今後の地域活動についての考え(問 11)

問 11 今後の地域活動に関して、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つだけ)

- ・「行事やイベントの参加だけなら関わりたい」が 36.5%で最も多い。次いで「参加するつもりはない」が 17.9%である。また、「どのような地域活動があるのかわからない」は 15.0%となっている。



■ 性・年代別・自治会町内会への加入状況別 今後の地域活動についての考え

- ・年代別で見ると、“18～29 歳”では「参加するつもりはない」が最も多い。また、30 代以上の年代では「行事やイベントの参加だけなら関わりたい」が最も多い。
- ・自治会町内会への加入状況別で見ると、“加入している”と“以前は加入していたが、現在は加入していない”では「行事やイベントの参加だけなら関わりたい」が最も多く、“加入したことがない”では「どのような地域活動があるのかわからない」が最も多い。

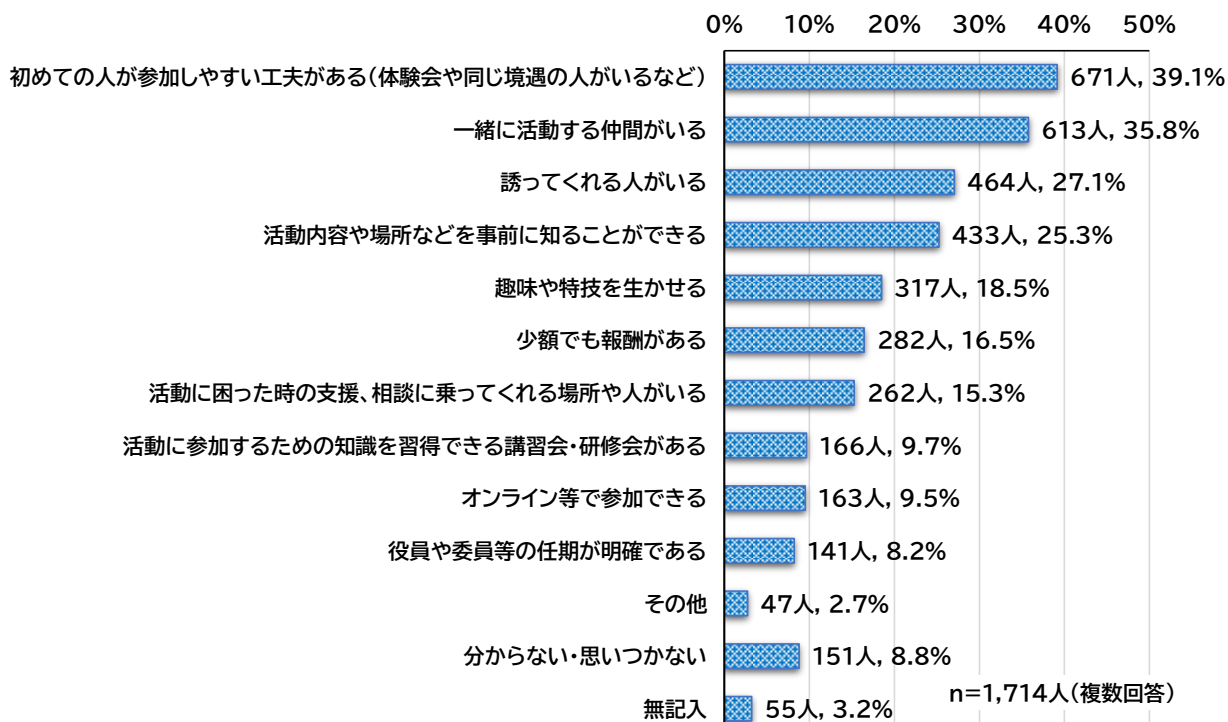
		合計	問11 今後の地域活動についての考え							
			活動したい 団体の役員など中心 となって	が、役員のお手 伝いはできる	団体の役員には なりたくない が、役員のお手 伝いはできる	何かしてみたい 地域活動に興味 はあり、今後	行事やイベント の参加だけな ら関わりたい	参加するつもり はない	その他	どのような地域 活動があるの かわからない
全体		1714	1.2	11.1	11.3	36.5	17.9	3.4	15.0	3.6
性別	男性	669	1.5	10.8	13.5	37.2	19.7	2.8	12.6	1.9
	女性	986	1.0	11.5	9.8	37.0	16.4	3.9	16.4	4.0
年代別	18～29歳	139	0.0	2.9	13.7	30.9	32.4	0.0	19.4	0.7
	30～39歳	170	0.0	5.3	10.6	44.7	19.4	2.4	17.1	0.6
	40～49歳	234	1.3	6.4	10.3	38.9	18.4	1.7	21.4	1.7
	50～59歳	294	0.0	11.6	12.6	37.1	17.7	5.4	15.6	0.0
	60～69歳	307	2.3	14.7	12.1	36.2	16.6	3.6	13.0	1.6
	70～79歳	365	2.2	15.6	11.2	37.0	11.8	3.3	12.9	6.0
	80歳以上	175	1.7	12.6	7.4	31.4	21.1	5.7	8.6	11.4
自治会町内会への加入状況	加入している	1329	1.6	13.1	11.7	38.5	16.1	3.8	11.4	3.7
	以前は加入していたが、現在は加入していない	95	0.0	5.3	7.4	29.5	24.2	4.2	26.3	3.2
	加入したことがない	255	0.0	3.5	10.6	29.8	23.9	1.2	30.6	0.4

地域活動の参加者を増やすために必要なこと(問 12)

問 12 より多くの方が地域活動に参加できるようにするためには、何が必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

- ・「初めての人が参加しやすい工夫がある(体験会や同じ境遇の人がいるなど)」が 39.1%で最も多い。次いで「一緒に活動する仲間がいる」が 35.8%と続く。以下「誘ってくれる人がいる」(27.1%)、「活動内容や場所などを事前に知ることができる」(25.3%)を2割以上の人が挙げている。



■ 性・年代別 地域活動の参加者を増やすために必要なこと

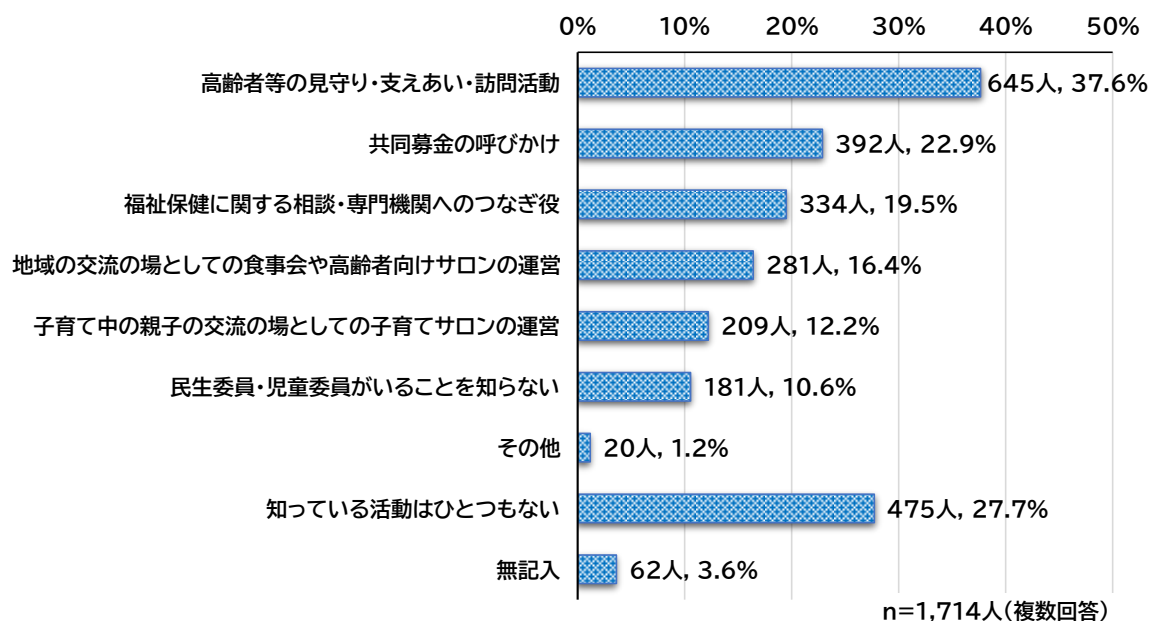
- ・年代別で見ると、“18～29 歳”では「少額でも報酬がある」、30～49 歳、60～79 歳では「初めての人が参加しやすい工夫がある(体験会や同じ境遇の人がいるなど)」、「50～59 歳」、「80 歳以上」では「一緒に活動する仲間がいる」が最も多い。

	合計	問12 より多くの方が地域活動に参加できるようにするために必要なこと													
		誘ってくれる人がいる	趣味や特技を生かせる	一緒に活動する仲間がいる	オンライン等で参加できる	少額でも報酬がある	初めての人が参加しやすい工夫がある(体験会や同じ境遇の人がいるなど)	前に知ることができ	活動内容や場所などを事前に知ることができる	活動に参加するための知識を習得できる講習会・研修会がある	相談に乗ってくれる場所や人がいる	活動に困った時の支援、確である	役員や委員等の任期が明確である	その他	分からない・思いつかない
全体	1,714	27.1	18.5	35.8	9.5	16.5	39.1	25.3	9.7	15.3	8.2	2.7	8.8	3.2	
性別															
男性	669	23.6	22.7	34.7	10.5	17.3	38.9	23.0	10.3	13.3	8.7	3.4	9.9	2.7	
女性	986	29.5	16.1	37.4	8.8	15.8	40.3	27.4	9.4	16.9	7.6	2.1	8.3	2.8	
年代															
18～29歳	139	33.1	13.7	32.4	10.1	41.0	36.7	24.5	2.2	5.0	8.6	2.2	10.1	0.7	
30～39歳	170	24.7	18.2	36.5	16.5	23.5	55.3	34.7	2.9	11.2	7.1	4.1	7.1	0.6	
40～49歳	234	21.4	22.2	35.9	14.1	23.5	42.3	28.2	5.6	12.4	8.1	7.3	7.7	0.4	
50～59歳	294	21.4	18.7	38.1	11.9	16.0	34.7	26.2	9.5	16.7	9.2	3.7	11.6	1.0	
60～69歳	307	23.8	17.6	37.5	10.4	15.0	41.0	23.1	15.3	18.9	9.4	1.6	8.1	1.6	
70～79歳	365	33.7	18.6	33.4	3.8	6.8	39.5	26.3	13.4	16.4	7.4	0.5	7.7	6.3	
80歳以上	175	34.3	20.0	37.7	3.4	6.3	28.0	15.4	10.3	20.6	6.3	1.1	9.7	7.4	

民生委員・児童委員が行っている活動の認知度(問 13)

問 13 あなたが住んでいる地域の民生委員・児童委員※1 が行っている活動の中で、知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

- ・「高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動」が最も多く、37.6%である。次いで「共同募金の呼びかけ」が22.9%、以下「福祉保健に関する相談・専門機関へのつなぎ役」(19.5%)、「地域の交流の場としての食事会や高齢者向けサロンの運営」(16.4%)などとなっている。



※1 民生委員・児童委員とは：厚生労働大臣から委嘱を受けて、住民から様々な生活上の困りごとや心配事に関する相談に応じ、地域ケアプラザなどの専門機関につなぐ「つなぎ役」としての役割を担っています。

■ 性・年代別 民生委員・児童委員が行っている活動の認知度

- ・ 性別で見ると、“男性”は「知っている活動はひとつもない」が最も多く、“女性”は「高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動」が最も多い。
- ・ 年代別で見ると、40代以下の年代では「知っている活動はひとつもない」、50代以上の年代では「高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動」が最も多く、50代を境に傾向が分かれた。

		問13 地域の民生委員・児童委員が行っている活動の中で、知っているもの									
		合計	高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動	子育て中の親子の交流の場としてのサロン	地域の交流の場としての食事会や高齢者向けサロンの運営	共同募金の呼びかけ	福祉保健に関する相談・専門機関へのつながり	民生委員・児童委員※1がいることを知らない	その他	知っている活動はひとつもない	無記入
	全体	1,714	37.6	12.2	16.4	22.9	19.5	10.6	1.2	27.7	3.6
性別	男性	669	32.3	6.9	13.5	21.1	17.9	11.1	0.7	33.9	2.8
	女性	986	41.7	15.9	18.2	24.2	20.9	10.3	1.5	23.5	3.3
年代	18～29歳	139	8.6	10.8	7.2	8.6	3.6	18.0	0.0	59.0	0.7
	30～39歳	170	13.5	18.2	6.5	12.4	8.8	20.0	0.0	44.1	0.6
	40～49歳	234	24.8	17.9	9.4	16.7	13.7	13.7	1.7	39.7	0.9
	50～59歳	294	43.5	11.9	11.2	21.8	21.1	9.2	1.0	25.2	0.7
	60～69歳	307	45.6	9.4	19.5	30.0	23.8	8.5	1.0	22.5	1.6
	70～79歳	365	50.4	10.4	25.2	29.0	27.4	6.0	1.4	15.3	6.6
	80歳以上	175	51.4	9.1	28.0	30.3	22.9	6.9	2.3	12.0	10.3

■ 居住期間別・自治会町内会への加入状況別 民生委員・児童委員が行っている活動の認知度

- ・ 居住期間別で見ると、10年未満は「知っている活動はひとつもない」が最も多い。また、10年以上では「高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動」が最も多く、“30年～40年未満”、“40年以上”は数値が全体値を大きく上回っている。
- ・ 自治会町内会への加入状況別で見ると、“加入している”と“以前は加入していたが、現在は加入していない”では「高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動」が最も多く、“加入したことがない”では「知っている活動はひとつもない」が最も多い。

		問13 地域の民生委員・児童委員が行っている活動の中で、知っているもの									
		合計	高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動	子育て中の親子の交流の場としてのサロン	地域の交流の場としての食事会や高齢者向けサロンの運営	共同募金の呼びかけ	福祉保健に関する相談・専門機関へのつながり	民生委員・児童委員※1がいることを知らない	その他	知っている活動はひとつもない	無記入
	全体	1,714	37.6	12.2	16.4	22.9	19.5	10.6	1.2	27.7	3.6
保土ケ谷区の居住期間	5年未満	214	13.6	12.1	9.3	10.3	7.0	16.8	0.5	50.5	2.3
	5年～10年未満	147	25.2	10.9	7.5	16.3	14.3	14.3	0.7	41.5	1.4
	10年～15年未満	129	34.9	18.6	14.7	18.6	21.7	16.3	0.0	24.0	3.1
	15年～20年未満	143	34.3	15.4	12.6	16.8	17.5	11.9	0.0	32.2	2.8
	20年～30年未満	326	33.4	11.0	12.6	22.1	18.7	12.0	0.9	31.9	2.5
	30年～40年未満	245	49.8	9.4	19.2	29.0	25.3	4.1	1.6	18.8	2.0
	40年以上	496	50.2	12.3	24.6	30.8	24.2	6.9	2.2	15.7	6.0
自治会町内会への加入状況	加入している	1,329	42.9	13.1	19.4	26.1	22.3	9.0	1.3	22.8	2.9
	以前は加入していたが、現在は加入していない	95	36.8	16.8	11.6	20.0	20.0	15.8	1.1	25.3	4.2
	加入したことがない	255	12.5	7.1	3.5	8.2	6.3	17.6	0.8	56.1	0.8

5 自治会町内会について

結果のポイント

◆自治会町内会の加入率（※1）

- ・自治会町内会に「加入している」は約8割。
- ・若年層の3～4割は未加入 加入しない理由:加入するメリットが分からない。

※1 保土ヶ谷区の自治会町内会加入率:69.9%(令和5年4月1日時点)

◆自治会町内会に加入すると大変だと思うこと

- ・「総会・役員会等の会議への出席」が約6割で最も多い。

自治会町内会が行っている活動の『認知度』、『期待する活動』(問 14)

問 14 ア 自治会町内会が行っている活動で知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

イ 自治会町内会に期待するものはどれですか。(〇はいくつでも)

<認知度>

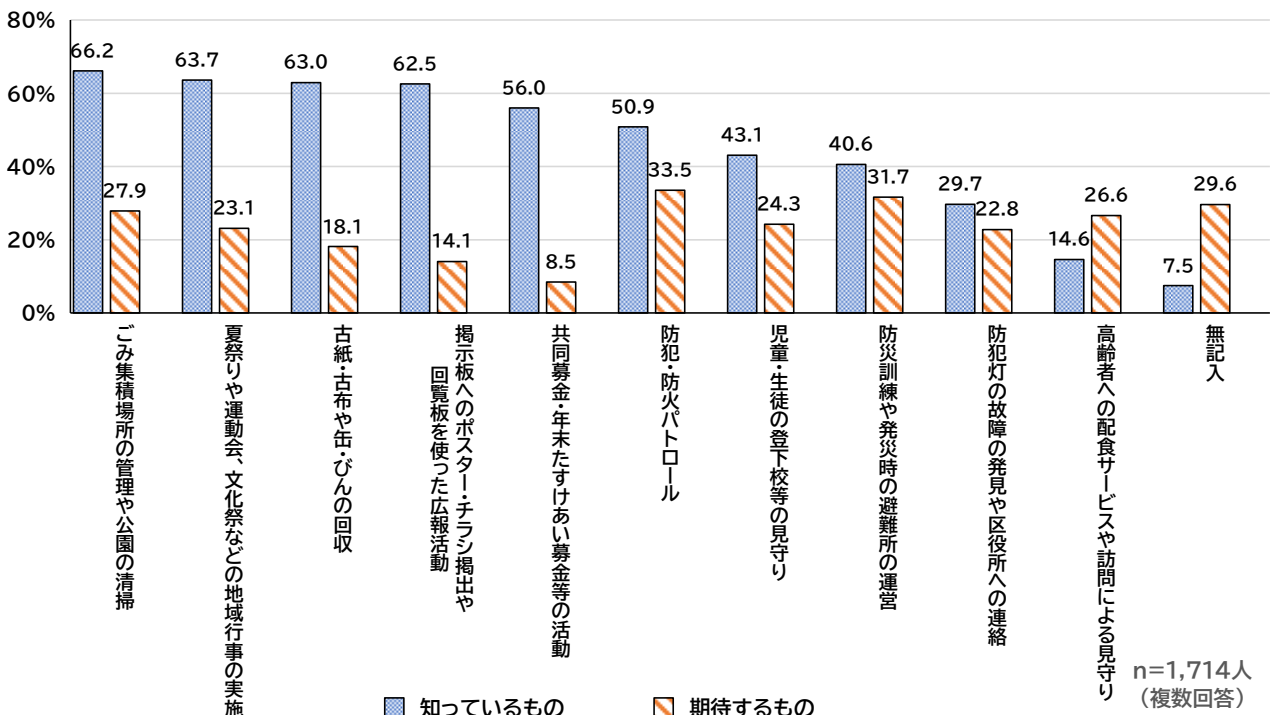
- ・「ごみ集積場所の管理や公園の清掃」が 66.2%で最も認知度が高い。次いで「夏祭りや運動会、文化祭などの地域行事の実施」(63.7%)、「古紙・古布や缶・びんの回収」(63.0%)、「掲示板へのポスター・チラシ掲出や回覧板を使った広報活動」(62.5%)を6割以上の人が挙げている。

<期待する活動>

- ・「防犯・防火パトロール」が33.5%で最も多く、次いで「防災訓練や発災時の避難所の運営」が31.7%と、安全・安心に関わる活動が上位2項目となっている。以下「ごみ集積場所の管理や公園の清掃」(27.9%)、「高齢者への配食サービスや訪問による見守り」(26.6%)などと続く。

<『認知度が高い活動』と『期待値が高い活動』の比較>

- ・『認知度』と『期待値』の数値の差が最も大きいのは「掲示板へのポスター・チラシ掲出や回覧板を使った広報活動」で、『期待』の数値より『認知度』の数値が大きく上回っている。また、「高齢者への配食サービスや訪問による見守り」では、『認知度』の数値より『期待』の数値が高くなっている。



■ 性・年代別 自治会町内会が行っている活動の『認知度』、『期待する活動』

<知っている活動>

- ・ 性別で見ると、“男性”は「ごみ集積場所の管理や公園の清掃」、「女性”は「夏祭りや運動会、文化祭などの地域行事の実施」が最も多い。また、“女性”は全ての項目で“男性”の数値を上回っている。
- ・ 年代別で見ると、高齢者層で活動の認知度が高い傾向にある。

		合計	問14 ア 知っているもの										
			園の清掃 ごみ集積場所の管理や公	回収 古紙・古布や缶・びんの	見守り 児童・生徒の登下校等の	や訪問による見守り 高齢者への配食サービス	所の運営 防災訓練や発災時の避難	防犯・防火パトロール	役所への連絡 防犯灯の故障の発見や区	出や回覧板を使った広報活動 掲示板へのポスター・チラシ掲	い募金等の活動 共同募金・年末たすけあ	夏祭りや運動会、文化祭 などの地域行事の実施	無記入
	全体	1,714	66.2	63.0	43.1	14.6	40.6	50.9	29.7	62.5	56.0	63.7	7.5
性別	男性	669	63.2	56.4	42.8	12.4	35.0	46.8	24.5	55.8	47.8	57.8	8.5
	女性	986	68.2	67.4	43.4	15.9	44.8	54.3	33.3	68.0	62.0	68.8	6.0
年代	18～29歳	139	54.0	37.4	37.4	4.3	18.7	48.9	5.8	33.1	19.4	48.9	12.9
	30～39歳	170	64.1	47.1	41.8	4.1	19.4	38.8	11.8	52.4	25.9	57.1	6.5
	40～49歳	234	58.5	47.9	44.0	5.6	32.1	51.3	20.5	58.5	42.7	57.7	11.5
	50～59歳	294	66.7	65.6	44.6	13.6	45.9	56.5	29.3	67.0	58.5	69.7	4.8
	60～69歳	307	65.8	66.8	44.3	18.2	48.9	54.7	35.5	65.8	67.1	71.0	5.2
	70～79歳	365	73.7	79.7	46.3	20.5	51.8	52.1	43.6	73.4	75.6	67.9	5.8
	80歳以上	175	71.4	72.0	38.3	26.9	42.3	46.3	38.9	66.9	68.6	60.0	7.4

<期待する活動>

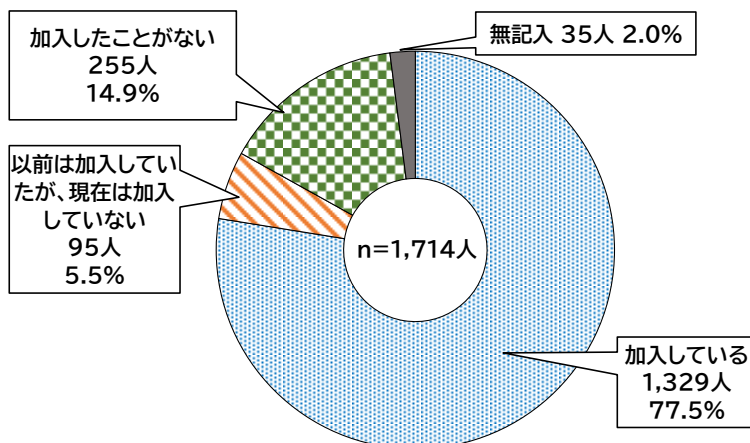
- ・ 年代別で見ると、40代以下の年代と“70～79歳”では「防犯・防火パトロール」が最も多い。“50～59歳”と“80歳以上”では「防災訓練や発災時の避難所の運営」、「60～69歳”では「高齢者への配食サービスや訪問による見守り」が最も多い。また、18～39歳で「夏祭りや運動会、文化祭などの地域行事の実施」、”30～39歳”で「児童・生徒の登下校等の見守り」の数値が全体値より高い。

		合計	問14 イ 期待するもの										
			園の清掃 ごみ集積場所の管理や公	回収 古紙・古布や缶・びんの	見守り 児童・生徒の登下校等の	や訪問による見守り 高齢者への配食サービス	所の運営 防災訓練や発災時の避難	防犯・防火パトロール	役所への連絡 防犯灯の故障の発見や区	出や回覧板を使った広報活動 掲示板へのポスター・チラシ掲	い募金等の活動 共同募金・年末たすけあ	夏祭りや運動会、文化祭 などの地域行事の実施	無記入
	全体	1,714	27.9	18.1	24.3	26.6	31.7	33.5	22.8	14.1	8.5	23.1	29.6
性別	男性	669	29.0	19.1	23.3	26.9	30.3	34.7	23.2	14.6	9.6	25.4	25.6
	女性	986	27.4	17.8	25.2	26.8	33.0	33.4	22.9	13.9	7.9	21.7	31.1
年代	18～29歳	139	30.9	18.7	29.5	12.2	29.5	38.1	17.3	8.6	7.9	35.3	18.7
	30～39歳	170	35.9	19.4	38.2	18.2	31.2	40.6	23.5	15.3	5.9	36.5	20.0
	40～49歳	234	31.2	20.9	26.5	22.6	32.9	37.6	23.1	11.5	7.7	30.3	23.1
	50～59歳	294	27.6	20.1	24.1	29.3	38.4	33.0	27.2	17.0	9.5	22.4	26.2
	60～69歳	307	27.4	17.6	21.8	35.2	34.5	33.9	23.8	15.0	8.5	18.9	27.0
	70～79歳	365	23.6	14.0	18.9	29.9	26.6	30.7	21.4	12.6	7.1	16.4	38.4
	80歳以上	175	25.7	20.6	20.0	25.7	27.4	26.9	21.7	17.7	14.3	14.9	44.6

自治会町内会への加入状況(問 15)

問 15 あなたの世帯は、自治会町内会に加入していますか。

- ・「加入している」が 77.5%で最も多く、加入率は全体の4分の3を超えている。「加入したことがない」は 14.9%である。



■ 性・年代別 自治会町内会の加入状況

- ・年代別で見ると、いずれの年代でも「加入している」が最も多く、年齢が高いほど加入率も高くなっており、70代以上の年代では「加入している」の数値が9割前後に達している。一方、40代以下の年代では「加入したことがない」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問15 世帯の自治会町内会への加入状況			
			加入している	以前は加入していたが、現在は加入していない	加入したことがない	無記入
全体		1,714	77.5	5.5	14.9	2.0
性別	男性	669	75.6	5.2	17.0	2.1
	女性	986	79.1	5.6	13.8	1.5
年代別	18～29歳	139	63.3	3.6	32.4	0.7
	30～39歳	170	55.3	5.3	38.8	0.6
	40～49歳	234	65.0	6.4	27.8	0.9
	50～59歳	294	79.9	7.1	12.2	0.7
	60～69歳	307	82.7	7.5	8.1	1.6
	70～79歳	365	89.0	4.7	2.5	3.8
	80歳以上	175	90.3	2.3	5.1	2.3

■ 同居の家族形態別・住居形態別・居住期間別 自治会町内会加入の有無

- ・ 同居の家族形態別でみると、いずれの家族形態でも「加入している」が最も多い。また、“3世代(親と子と孫)”では「加入している」が、“単身(一人暮らし)”では「加入したことがない」の数値が全体値より高くなっている。
- ・ 住居形態別でみると、“借家(マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など)”では「加入したことがない」が最も多く、それ以外の住居形態では「加入している」が最も多い。また、“持家(一戸建て)”では「加入している」が、“借家(マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など)”では「加入したことがない」の数値が全体値より高くなっている。
- ・ 保土ケ谷区への居住期間別でみると、“5年未満”では「加入したことがない」が最も多く、5年以上では「加入している」が最も多い。また、10年未満では「加入したことがない」が、40年以上では「加入している」の数値が全体値より高くなっており、居住期間が長いほど加入率は高くなる傾向がみられる。

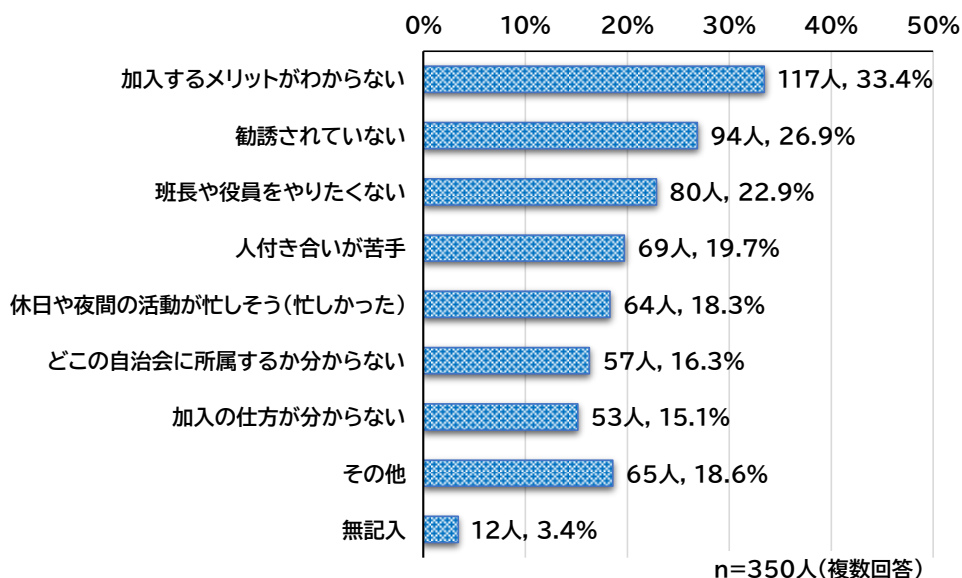
	合計	問15 世帯の自治会町内会への加入状況				
		加入している	以前は加入していたが、現在は加入していない	加入したことがない	無記入	
全体	1,714	77.5	5.5	14.9	2.0	
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	262	57.3	5.7	33.6	3.4
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	522	79.5	6.5	12.3	1.7
	2世代(親と子)	735	81.6	5.3	12.1	1.0
	3世代(親と子と孫)	116	91.4	3.4	3.4	1.7
	その他	35	71.4	2.9	22.9	2.9
住居形態	持家(一戸建て)	850	93.8	2.5	2.1	1.6
	持家(マンション・共同住宅)	446	76.5	7.0	15.5	1.1
	借家(一戸建て)	24	70.8	4.2	20.8	4.2
	借家(マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など)	362	42.5	10.8	43.9	2.8
	その他	16	56.3	12.5	18.8	12.5
保土ケ谷区 の居住 期間	5年未満	214	43.5	7.5	47.7	1.4
	5年～10年未満	147	54.4	6.8	37.4	1.4
	10年～15年未満	129	76.0	4.7	16.3	3.1
	15年～20年未満	143	72.0	8.4	18.2	1.4
	20年～30年未満	326	86.2	5.5	7.7	0.6
	30年～40年未満	245	84.1	6.5	6.9	2.4
	40年以上	496	92.5	3.2	1.6	2.6

加入していない理由(問 15-1)

問 15-1 加入していない理由は何ですか。

(問 15 で「加入している」以外に○をつけた方、○は3つまで)

- ・「加入するメリットがわからない」が 33.4%で最も多い。次いで「勧誘されていない」が 26.9%、「班長や役員をやりたいくない」が 22.9%などとなっている。



■ 性・年代別 加入していない理由

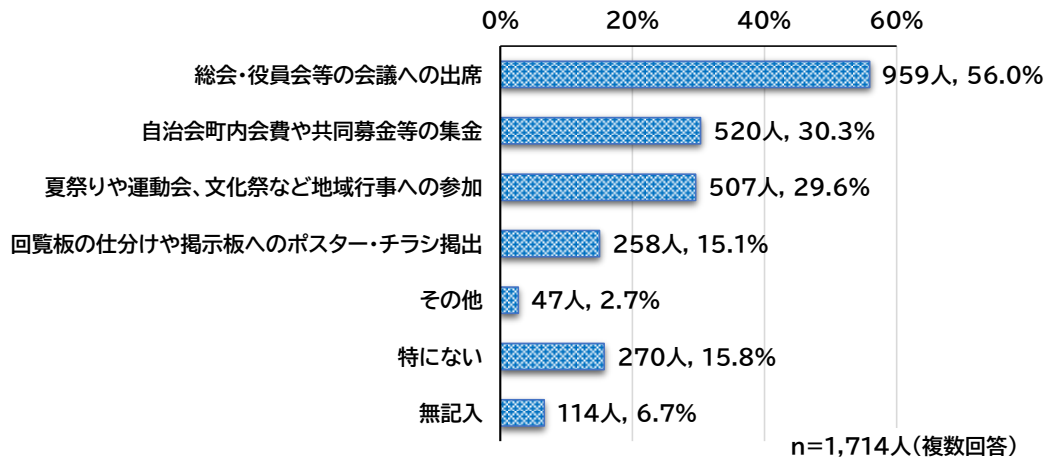
- ・性別で見ると、男女とも「加入するメリットがわからない」が最も多く、“男性”は“女性”より高くなっている。また、“男性”は「休日や夜間の活動が忙しそう(忙しかった)」や「勧誘されていない」が“女性”より高くなっている。
- ・年代別で見ると、50 代以下の世代を中心に、「加入するメリットがわからない」の数値が最も高くなっている。また、“18～29 歳”で「勧誘されていない」、「加入するメリットがわからない」の数値が全体値より高く、“70～79 歳”では「班長や役員をやりたいくない」が5割となり、全体値を大きく上回っている。

		合計	問15-1 加入していない理由								
			加入の仕方が分からない	かこの自治会に所属する	勧誘されていない	加入するメリットがわからない	班長や役員をやりたいくない	休日や夜間の活動が忙しそう(忙しかった)	人付き合いが苦手	その他	無記入
	全体	350	15.1	16.3	26.9	33.4	22.9	18.3	19.7	18.6	3.4
性別	男性	149	15.4	18.8	30.9	37.6	21.5	23.5	19.5	14.1	2.7
	女性	191	15.2	15.2	25.1	28.8	24.1	15.2	18.8	22.5	3.1
年代	18～29歳	50	24.0	10.0	38.0	46.0	26.0	18.0	24.0	6.0	2.0
	30～39歳	75	21.3	20.0	28.0	37.3	21.3	24.0	18.7	14.7	0.0
	40～49歳	80	10.0	13.8	27.5	33.8	15.0	20.0	25.0	20.0	3.8
	50～59歳	57	19.3	17.5	31.6	31.6	21.1	8.8	15.8	22.8	1.8
	60～69歳	48	2.1	16.7	10.4	18.8	22.9	22.9	16.7	31.3	8.3
	70～79歳	26	11.5	23.1	26.9	30.8	50.0	15.4	19.2	11.5	0.0
	80歳以上	13	15.4	15.4	15.4	30.8	23.1	7.7	7.7	30.8	15.4

自治会町内会に加入すると大変だと思うこと(問 16)

問 16 自治会町内会に加入すると大変だと思う業務はありますか。(○は2つまで)

- ・「総会・役員会等の会議への出席」が56.0%で最も多く、5割以上の人が挙げている。次に「自治会町内会費や共同募金等の集金」(30.3%)、「夏祭りや運動会、文化祭など地域行事への参加」(29.6%)が続き、「特にない」は15.8%となっている。



■ 性・年代別 自治会町内会に加入すると大変だと思うこと

- ・ 性別でみると、男女とも「総会・役員会等の会議への出席」が最も多く、“男性”は“女性”より「回覧板の仕分けや掲示板へのポスター・チラシ掲出」の数値が高くなっている。
- ・ 年代別でみると、いずれの年代でも「総会・役員会等の会議への出席」が最も多く、特に“30～39 歳”、“50～59 歳”の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問16 自治会町内会に加入すると大変だと思う業務						
			総会・役員会等の会議への出席	夏祭りや運動会、文化祭など地域行事への参加	ポスター・チラシ掲出	回覧板の仕分けや掲示板への掲示	自治会町内会費や共同募金の集金	その他	特にない
全体		1,714	56.0	29.6	15.1	30.3	2.7	15.8	6.7
性別	男性	669	54.4	28.7	18.5	27.8	2.5	16.7	5.8
	女性	986	57.4	30.5	13.1	32.2	2.7	15.4	6.2
年代別	18～29歳	139	64.0	31.7	20.1	25.2	2.2	15.8	2.2
	30～39歳	170	70.0	27.1	18.2	34.1	3.5	10.0	2.4
	40～49歳	234	65.0	38.5	17.9	35.5	3.4	10.7	2.1
	50～59歳	294	67.7	31.6	11.9	25.5	3.4	11.9	3.1
	60～69歳	307	56.0	31.9	16.3	35.8	2.6	16.0	3.9
	70～79歳	365	40.5	27.1	14.0	25.5	2.5	23.8	9.9
	80歳以上	175	40.6	17.1	10.3	33.1	1.7	17.7	20.0

■ 同居の家族形態別・就業形態別 自治会町内会に加入すると大変だと思うこと

- ・ 同居の家族形態別でみると、いずれの家族形態でも「総会・役員会等の会議への出席」が最も多く、大きな差はみられない。
- ・ 就業形態別でみると、いずれの就業形態でも「総会・役員会等の会議への出席」が最も多く、“学生”では「夏祭りや運動会、文化祭など地域行事への参加」の数値が全体値より高くなっている。

		合計	問16 自治会町内会に加入すると大変だと思う業務						
			総会・役員会等の会議への出席	夏祭りや運動会、文化祭など地域行事への参加	ポスター・チラシ掲出	回覧板の仕分けや掲示板への掲示	自治会町内会費や共同募金の集金	その他	特にない
全体		1,714	56.0	29.6	15.1	30.3	2.7	15.8	6.7
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	262	53.1	29.8	12.6	32.1	1.1	16.8	7.6
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	522	52.5	31.8	13.4	28.0	4.2	15.9	8.0
	2世代(親と子)	735	62.0	29.1	16.6	31.4	1.9	15.2	3.7
	3世代(親と子と孫)	116	50.0	25.9	15.5	29.3	4.3	14.7	9.5
	その他	35	45.7	28.6	31.4	37.1	5.7	20.0	2.9
就業形態	自営業	90	60.0	28.9	14.4	27.8	3.3	17.8	3.3
	会社員	853	63.4	29.5	16.9	32.6	2.7	13.2	3.2
	無職	374	45.7	29.1	13.4	28.9	1.3	19.0	12.6
	学生	45	57.8	40.0	20.0	24.4	4.4	13.3	0.0
	主婦・主夫	277	46.9	31.0	12.3	28.9	3.6	18.8	8.7
	その他	38	55.3	26.3	13.2	28.9	10.5	18.4	5.3

6 福祉・健康づくりについて

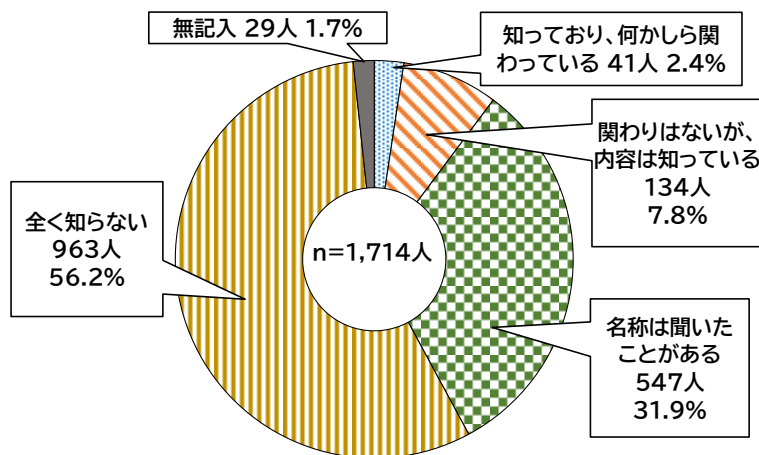
結果のポイント

- ◆「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」の認知度
 - ・「知っており関わっている」、「関わりはないが、内容は知っている」、「名称は聞いたことがある」を合わせた約4割が知っている。
- ◆「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域
 - ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた約5割が「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域であると感じている。
- ◆健康づくりについて知りたい情報
 - ・「運動ができる施設や場所」が約4割で最も多い。

「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」の認知度(問 17)

問 17 あなたは「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」を知っていますか。
(○は1つだけ)

- ・「全く知らない」が 56.2%で最も多く、全体の過半数を占めている。次いで「名称は聞いたことがある」が 31.9%、「関わりはないが、内容は知っている」が 7.8%、「知っており、何かしら関わっている」が 2.4%になっている。
- ・「知っており、何かしら関わっている」、「関わりはないが、内容は知っている」、「名称は聞いたことがある」を合わせた認知度は 42.1%となっている。



■ 性・年代別「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」の認知度

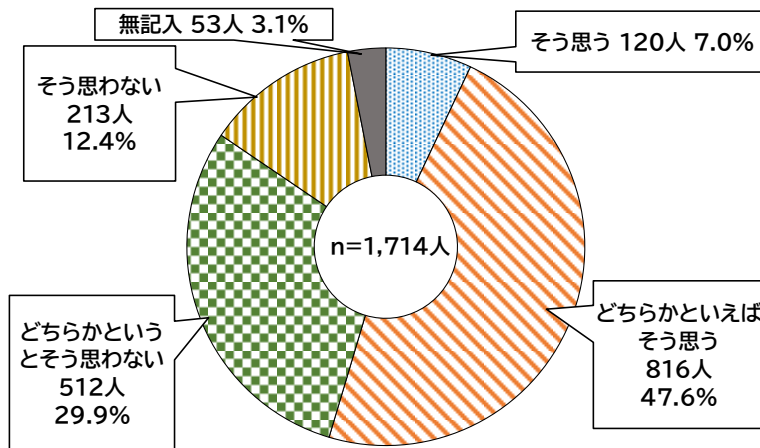
- ・ 性別で見ると、男女とも「全く知らない」が最も多く、特に“男性”は“女性”より数値が高い。また“女性”は“男性”より「名称は聞いたことがある」の数値が高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、若い世代での認知度が低く、年齢が上がるにつれて認知度が上がっている。

		合計	問17「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」の認知度				
			知っている、何かしら関わっている	関わりはないが、内容は知っている	名称は聞いたことがある	全く知らない	無記入
全体		1,714	2.4	7.8	31.9	56.2	1.7
性別	男性	669	2.7	6.4	26.6	63.1	1.2
	女性	986	2.0	8.7	35.6	52.2	1.4
年代	18～29歳	139	1.4	1.4	24.5	71.9	0.7
	30～39歳	170	0.0	2.9	26.5	70.6	0.0
	40～49歳	234	0.9	3.4	23.1	72.2	0.4
	50～59歳	294	0.7	4.1	34.4	60.5	0.3
	60～69歳	307	2.6	6.8	35.2	54.7	0.7
	70～79歳	365	3.0	15.3	36.4	42.5	2.7
	80歳以上	175	7.4	14.3	37.1	37.1	4.0

「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域(問 18)

問 18 あなたの住んでいる地域は、高齢者や障害者、子どもなどが「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域だと思いますか。(○は1つだけ)

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が最も多く 47.6%で、全体の半数近くを占める。次いで「どちらかというと思わない」が 29.9%で、全体の約3割である。「そう思う」は 7.0%、「そう思わない」は 12.4%である。
- ・ 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた 54.6%が「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域であると感じている。



■ 性・年代別 「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域

- ・ 性・年代別でみると、性別、年代問わず「どちらかといえばそう思う」が最も多く、「そう思う」の割合は“80歳以上”で全体値より高い。

		合計	問18「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域だと思うか				
			そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい うとそう思わ ない	そう思わない	無記入
全体		1,714	7.0	47.6	29.9	12.4	3.1
性別	男性	669	7.5	48.1	29.7	12.3	2.4
	女性	986	6.1	48.3	30.3	12.4	2.9
年代別	18～29歳	139	10.8	49.6	23.7	15.1	0.7
	30～39歳	170	3.5	55.9	25.3	14.1	1.2
	40～49歳	234	6.4	43.2	30.8	17.1	2.6
	50～59歳	294	4.1	51.0	31.3	11.9	1.7
	60～69歳	307	3.6	46.9	36.2	11.7	1.6
	70～79歳	365	7.7	44.1	31.8	11.2	5.2
	80歳以上	175	15.4	48.6	22.9	8.0	5.1

■ 同居の家族形態別・日頃の付き合い方別 「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域

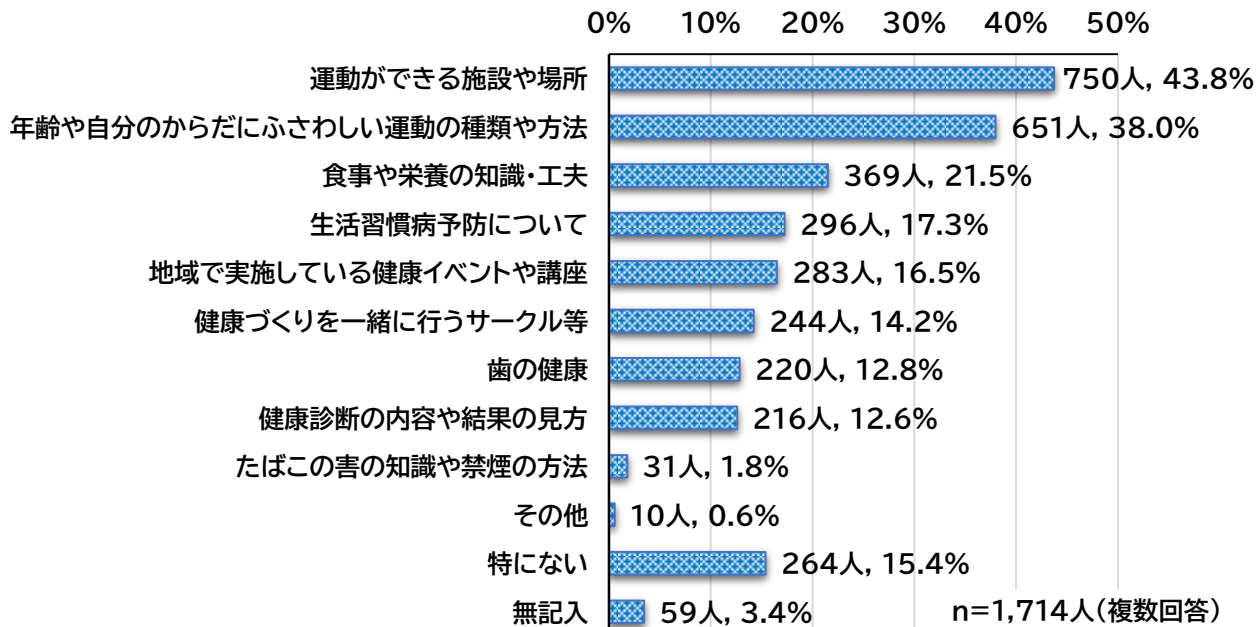
- ・ 同居の家族形態別でみると、いずれの家族形態でも「どちらかといえばそう思う」が最も多く、家族の人数が多くなるほどその割合は高くなる傾向がみられる。
- ・ 日頃の付き合い方別でみると、“困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする”では「そう思う」が、“挨拶はしないが、顔は知っている”では「どちらかというところ思わない」が、“顔もよく知らず、つながりもない”では「そう思わない」の値が全体値より高くなっており、日頃の付き合いが深くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向がみられる。

		合計	問18「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域だと思うか				
			そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい うとそう思わ ない	そう思わない	無記入
全体		1,714	7.0	47.6	29.9	12.4	3.1
同居の家 族形態	単身(一人暮らし)	262	9.5	45.0	25.6	16.0	3.8
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	522	5.7	46.9	33.0	10.5	3.8
	2世代(親と子)	735	6.5	48.8	30.2	13.1	1.4
	3世代(親と子と孫)	116	5.2	53.4	27.6	10.3	3.4
	その他	35	11.4	45.7	25.7	14.3	2.9
	日頃の付 き合い方	困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする	118	22.0	50.8	18.6	5.9
気のあった人と親しくしている		288	9.4	52.8	27.4	8.7	1.7
見かけたら世間話や立ち話をする		402	7.2	51.0	29.4	9.5	3.0
挨拶だけする程度		723	3.7	46.7	32.5	14.1	2.9
挨拶はしないが、顔は知っている		38	2.6	34.2	42.1	21.1	0.0
顔もよく知らず、つながりもない		123	4.1	35.8	30.1	26.0	4.1

健康づくりについて知りたい情報(問 19)

問 19 健康づくりに関する情報のうち、知りたいと思う情報はどれですか。(〇は3つまで)

- ・「運動ができる施設や場所」が 43.8%で最も多い。次いで「年齢や自分のからだにふさわしい運動の種類や方法」が 38.0%、「食事や栄養の知識・工夫」が 21.5%となっている。



■ 性・年代別 健康づくりに関する情報

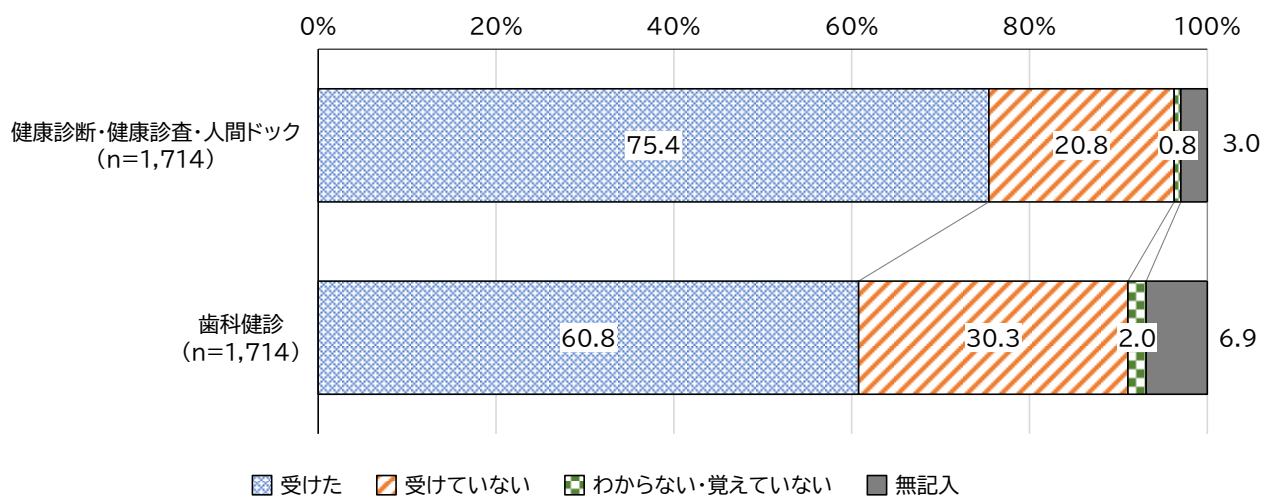
・性・年代別でみると、男性 70 歳未満、女性 50 歳未満で「運動ができる施設や場所」が最も多く、男性 70 歳以上、女性 50 歳以上で「年齢や自分のからだにふさわしい運動の種類や方法」が最も多くなっている。また、女性 80 歳以上で「年齢や自分のからだにふさわしい運動の種類や方法」、男女とも 30 代、40 代で「運動ができる施設や場所」、女性 30 代で「食事や栄養の知識・工夫」、「健康診断の内容や結果の見方」、女性 60 代で「健康づくりを一緒に行うサークル等」の数値が全体値より高くなっている。

		合計	問19 健康づくりに関する情報のうち、知りたいと思う情報											
			年齢や自分のからだにふさわしい運動の種類や方法	運動ができる施設や場所	食事や栄養の知識・工夫	歯の健康	たばこの害の知識や禁煙の方法	生活習慣病予防について	健康診断の内容や結果の見方	講座	地域で実施している健康イベントや健康づくりを一緒に行うサークル等	その他	特にない	無記入
	全体	1,714	38.0	43.8	21.5	12.8	1.8	17.3	12.6	16.5	14.2	0.6	15.4	3.4
性年代別	男性-18~29歳	56	19.6	51.8	30.4	17.9	7.1	17.9	14.3	10.7	7.1	0.0	19.6	1.8
	男性-30~39歳	61	27.9	57.4	29.5	18.0	1.6	18.0	14.8	4.9	8.2	0.0	19.7	1.6
	男性-40~49歳	92	25.0	56.5	21.7	17.4	3.3	25.0	12.0	4.3	15.2	0.0	18.5	1.1
	男性-50~59歳	114	27.2	53.5	24.6	10.5	4.4	24.6	10.5	21.1	14.9	0.9	16.7	0.0
	男性-60~69歳	132	38.6	47.0	15.2	16.7	1.5	23.5	8.3	24.2	9.8	0.0	18.2	1.5
	男性-70~79歳	144	47.2	37.5	16.0	9.7	3.5	20.1	10.4	18.1	13.2	0.0	13.9	3.5
	男性-80歳以上	70	37.1	32.9	18.6	4.3	1.4	22.9	14.3	1.4	11.4	2.9	15.7	14.3
	女性-18~29歳	78	37.2	50.0	23.1	21.8	6.4	14.1	16.7	7.7	7.7	0.0	16.7	0.0
	女性-30~39歳	107	34.6	58.9	35.5	22.4	0.0	9.3	23.4	13.1	15.9	1.9	9.3	0.0
	女性-40~49歳	138	26.1	55.8	26.1	16.7	1.4	15.2	16.7	18.8	13.8	0.0	10.9	2.2
	女性-50~59歳	171	43.9	40.4	19.3	9.4	0.6	15.8	9.9	21.6	14.0	0.0	17.5	1.2
	女性-60~69歳	172	47.1	47.1	18.6	13.4	0.0	12.2	7.0	23.3	25.0	1.2	11.0	2.9
女性-70~79歳	216	44.4	29.6	20.8	7.9	0.5	15.7	13.0	19.0	17.1	0.0	15.3	5.1	
女性-80歳以上	101	50.5	22.8	13.9	5.9	0.0	15.8	15.8	15.8	13.9	1.0	19.8	7.9	

健診の受診状況(問 20)

問 20 過去1年間で、次の健診を受けましたか。(各項目それぞれ○は1つだけ)

- ・『健康診断・健康診査・人間ドック』については、「受けた」が 75.4%で、全体の4分の3が健診を受けている。「受けていない」は 20.8%で全体の約2割である。
- ・『歯科健診』については、「受けた」が 60.8%で、全体の約6割、「受けていない」は 30.3%で全体の約3割となっている。



■ 性・年代別 健診の受診状況

<健康診断・健康診査・人間ドック>

- ・ 性・年代別でみると、男女とも「受けた」が最も多く、特に男性 60 歳未満では「受けた」の数値が全体値より 10 ポイント以上高くなっている。また、男女とも他の年代と比べて「受けた」の割合は、40 代、50 歳代では高く、70 代、80 歳以上では低い傾向がみられる。

<歯科健診>

- ・ 性・年代別でみると、男女共に「受けた」が最も多く、特に女性は男性より数値が高い傾向がみられる。一方、「男性 18～29 歳」、「男性 50～59 歳」では、「受けていない」の数値が全体値より高くなっている。

		合計	問20 ア 健康診断・健康診査・人間ドック				問20 イ 歯科健診			
			受けた	受けていない	わからない・覚えていない	無記入	受けた	受けていない	わからない・覚えていない	無記入
性年代別	全体	1,714	75.4	20.8	0.8	3.0	60.8	30.3	2.0	6.9
	男性-18～29歳	56	87.5	8.9	3.6	0.0	46.4	44.6	5.4	3.6
	男性-30～39歳	61	86.9	11.5	0.0	1.6	63.9	29.5	3.3	3.3
	男性-40～49歳	92	90.2	9.8	0.0	0.0	56.5	39.1	2.2	2.2
	男性-50～59歳	114	92.1	7.9	0.0	0.0	49.1	44.7	1.8	4.4
	男性-60～69歳	132	84.1	14.4	0.0	1.5	55.3	39.4	0.8	4.5
	男性-70～79歳	144	67.4	27.1	1.4	4.2	54.9	32.6	4.2	8.3
	男性-80歳以上	70	74.3	20.0	1.4	4.3	58.6	20.0	2.9	18.6
	女性-18～29歳	78	73.1	25.6	0.0	1.3	60.3	35.9	2.6	1.3
	女性-30～39歳	107	71.0	28.0	0.9	0.0	63.6	32.7	3.7	0.0
	女性-40～49歳	138	79.7	19.6	0.0	0.7	61.6	33.3	1.4	3.6
	女性-50～59歳	171	79.5	19.3	0.6	0.6	67.3	29.2	2.3	1.2
	女性-60～69歳	172	66.9	29.7	0.6	2.9	70.3	19.8	0.0	9.9
	女性-70～79歳	216	65.3	26.4	1.4	6.9	70.4	20.4	1.9	7.4
	女性-80歳以上	101	64.4	25.7	1.0	8.9	57.4	21.8	0.0	20.8

■ 就業形態別 健診の受診状況

<健康診断・健康診査・人間ドック>

- ・ 就業形態別でみると、いずれも「受けた」が最も多く、特に、「会社員」では「受けた」の数値が全体より高くなっている。一方、「自営業」、「主婦・主夫」では「受けていない」の数値が全体より高くなっている。

<歯科健診>

- ・ 就業形態別でみると、いずれも「受けた」が最も多い。一方、「学生」では「受けていない」の数値が全体より高くなっている。

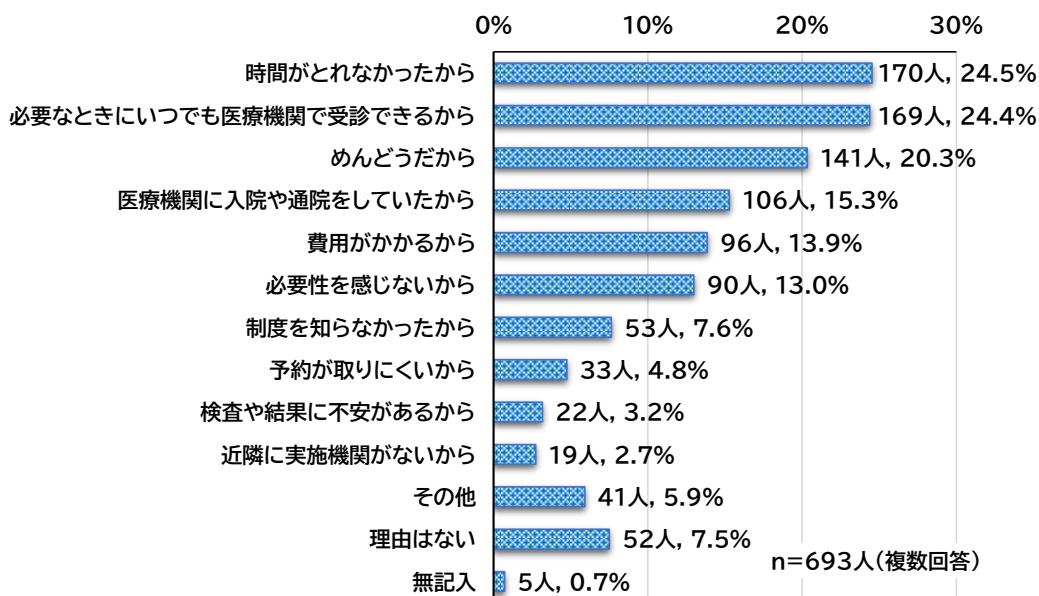
		合計	問20 ア 健康診断・健康診査・人間ドック				問20 イ 歯科健診			
			受けた	受けていない	わからない・覚えていない	無記入	受けた	受けていない	わからない・覚えていない	無記入
就業形態	全体	1,714	75.4	20.8	0.8	3.0	60.8	30.3	2.0	6.9
	自営業	90	63.3	33.3	1.1	2.2	54.4	35.6	1.1	8.9
	会社員	853	87.6	11.7	0.2	0.5	62.5	32.8	1.8	2.9
	無職	374	61.8	29.9	1.1	7.2	58.3	26.5	2.1	13.1
	学生	45	80.0	15.6	4.4	0.0	48.9	44.4	6.7	0.0
	主婦・主夫	277	63.2	32.5	1.4	2.9	65.7	25.6	2.2	6.5
	その他	38	71.1	28.9	0.0	0.0	63.2	21.1	2.6	13.2

健診を受診していない理由(問 20-1)

問 20-1 受診していない理由は何ですか。

(問 20 で1つでも「受けていない」に○をつけた方、○は3つまで)

- ・「時間がとれなかったから」が 24.5%、「必要なときにいつでも医療機関で受診できるから」が 24.4%でほぼ並んでいる。次いで「めんどうだから」が 20.3%で、これらは2割以上の人が挙げている。



■ 性・年代別 受診していない理由

- ・ 性別でみると、“男性”は「必要なときにいつでも医療機関で受診できるから」、「女性」は「時間がとれなかったから」が最も多い。
- ・ 年代別でみると、“18～29 歳”は「めんどうだから」、30 代から 60 代までの年代では「時間がとれなかったから」、70 代以上の年代では「必要なときにいつでも医療機関で受診できるから」が最も多い。

		合計	問20-1 受診していない理由												
			医療機関に入院や通院をしてきたから	必要なときにいつでも医療機関で受診できるから	費用がかかるから	予約が取りにくいから	近隣に実施機関がないから	時間がとれなかったから	制度を知らなかったから	めんどうだから	必要性を感じないから	検査や結果に不安があるから	その他	理由はない	無記入
全体		693	15.3	24.4	13.9	4.8	2.7	24.5	7.6	20.3	13.0	3.2	5.9	7.5	0.7
性別	男性	283	14.5	23.7	13.4	3.9	2.5	23.0	8.5	22.3	15.5	2.1	3.9	7.8	1.4
	女性	391	15.6	24.8	14.1	5.4	3.1	26.3	6.6	19.2	11.5	3.8	7.4	6.9	0.3
年代別	18～29歳	68	2.9	8.8	25.0	2.9	1.5	26.5	7.4	32.4	14.7	4.4	2.9	11.8	0.0
	30～39歳	74	5.4	12.2	36.5	18.9	1.4	39.2	13.5	25.7	10.8	2.7	12.2	6.8	0.0
	40～49歳	99	2.0	18.2	15.2	5.1	4.0	33.3	6.1	25.3	13.1	4.0	4.0	7.1	1.0
	50～59歳	123	8.9	22.8	12.2	4.1	2.4	34.1	11.4	17.9	6.5	3.3	6.5	8.9	0.0
	60～69歳	122	18.0	22.1	10.7	4.1	4.1	29.5	7.4	18.0	10.7	2.5	8.2	4.9	0.8
	70～79歳	141	31.9	35.5	4.3	1.4	2.1	7.1	2.8	16.3	18.4	2.8	4.3	6.4	2.1
	80歳以上	58	32.8	48.3	5.2	0.0	3.4	1.7	5.2	13.8	19.0	1.7	1.7	8.6	0.0

■ 就業形態別 受診していない理由

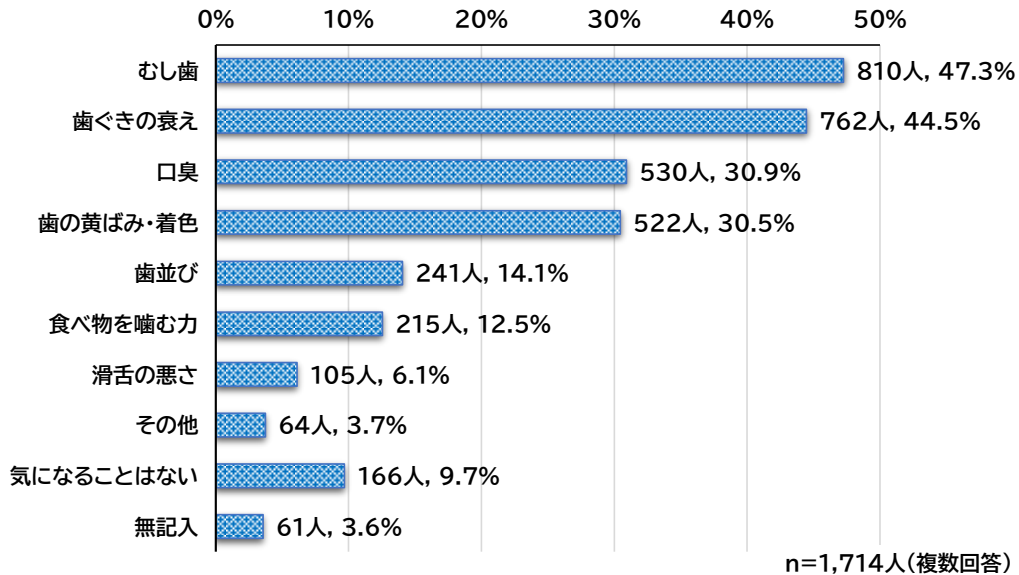
- ・ 就業形態別でみると、“自営業”、“会社員”では「時間がとれなかったから」、「学生」では「めんどうだから」、それ以外の就業形態では「必要なときにいつでも医療機関で受診できるから」が最も多い。

		合計	問20-1 受診していない理由												
			医療機関に入院や通院をしてきたから	必要なときにいつでも医療機関で受診できるから	費用がかかるから	予約が取りにくいから	近隣に実施機関がないから	時間がとれなかったから	制度を知らなかったから	めんどうだから	必要性を感じないから	検査や結果に不安があるから	その他	理由はない	無記入
全体		693	15.3	24.4	13.9	4.8	2.7	24.5	7.6	20.3	13.0	3.2	5.9	7.5	0.7
就業形態	自営業	45	13.3	28.9	11.1	6.7	2.2	37.8	4.4	17.8	13.3	0.0	2.2	2.2	2.2
	会社員	324	7.7	18.5	17.3	6.8	3.1	33.6	9.3	21.3	11.4	3.7	7.1	7.4	0.9
	無職	155	25.8	31.6	8.4	0.0	3.2	7.1	6.5	18.7	13.5	3.2	4.5	11.6	0.0
	学生	23	0.0	4.3	21.7	0.0	0.0	30.4	13.0	34.8	17.4	0.0	0.0	8.7	0.0
	主婦・主夫	120	25.0	31.7	9.2	5.8	2.5	17.5	6.7	17.5	16.7	3.3	6.7	5.0	0.0
	その他	15	13.3	40.0	33.3	0.0	0.0	13.3	0.0	20.0	13.3	0.0	13.3	0.0	6.7

口の健康について気にしていること(問 21)

問 21 口の健康に関することのうち、気にしていることはありますか。(○は3つまで)

- ・「むし歯」が47.3%で最も多く、「歯ぐきの衰え」が44.5%でこれに続いている。次いで「口臭」が30.9%、「歯の黄ばみ・着色」が30.5%となっている。「気になることはない」(9.7%)は約1割である。



■ 性・年代別 口の健康について

- ・ 性別でみると、“男性”は「むし歯」が、“女性”は「歯ぐきの衰え」が最も多い。
- ・ 年代別でみると、50代以下の年代では「むし歯」、60代以上の年代では「歯ぐきの衰え」が最も多く、若年層で全体値を上回る数値の高い項目数が多くなっている。

		合計	問21 口の健康に関することのうち、気にしていること									
			むし歯	口臭	歯ぐきの衰え	食べ物を噛む力	滑舌の悪さ	歯の黄ばみ・着色	歯並び	その他	気になることはない	無記入
全体		1,714	47.3	30.9	44.5	12.5	6.1	30.5	14.1	3.7	9.7	3.6
性別	男性	669	52.6	33.3	41.4	12.0	6.4	26.0	11.8	2.8	11.2	2.4
	女性	986	44.2	29.5	47.5	13.1	6.1	33.7	15.3	4.6	8.7	3.5
年代	18～29歳	139	59.0	49.6	11.5	0.7	7.2	48.2	33.1	0.0	8.6	0.7
	30～39歳	170	61.2	40.6	25.9	2.4	3.5	51.2	27.1	1.2	8.2	1.2
	40～49歳	234	59.8	41.9	38.9	3.0	4.7	35.9	16.2	3.4	7.7	2.6
	50～59歳	294	55.4	32.7	49.7	6.1	1.7	31.3	12.6	4.4	8.2	1.4
	60～69歳	307	44.3	26.4	56.7	13.4	7.5	23.1	10.1	4.6	10.7	2.6
	70～79歳	365	35.6	23.6	52.9	23.8	7.9	22.5	6.8	4.1	12.6	3.8
	80歳以上	175	28.6	14.3	49.1	30.9	11.4	18.3	9.1	6.3	10.9	9.1

■ 歯科検診受診の状況別 口の健康について

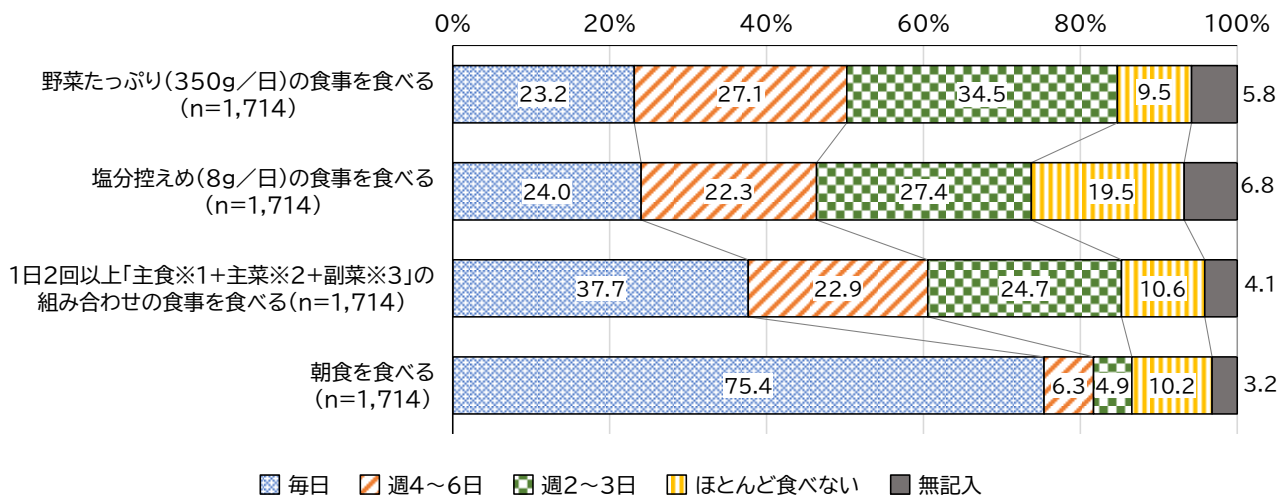
- ・ 歯科検診受診の状況別でみると、いずれも「むし歯」が最も多く、大きな違いはみられない。

		合計	問21 口の健康に関することのうち、気にしていること									
			むし歯	口臭	歯ぐきの衰え	食べ物を噛む力	滑舌の悪さ	歯の黄ばみ・着色	歯並び	その他	気になることはない	無記入
全体		1,714	47.3	30.9	44.5	12.5	6.1	30.5	14.1	3.7	9.7	3.6
問20 イ 歯科 健診	受けた	1,042	48.6	30.7	48.2	13.1	4.7	32.0	14.9	3.6	9.3	2.1
	受けていない	519	48.6	33.1	40.7	10.8	7.9	30.1	14.1	4.0	10.6	1.3
	わからない・覚えていない	35	54.3	34.3	37.1	8.6	2.9	37.1	17.1	2.9	5.7	8.6
	無記入	118	28.0	22.0	30.5	16.1	11.9	16.9	5.9	4.2	10.2	24.6

普段の食生活について(問 22)

問 22 普段の食生活について、あてはまるものはどれですか。(各項目それぞれ○は1つだけ)

- ・『野菜たっぷり(350g/日)の食事を食べる』については、「週2～3日」が34.5%で最も多い。
- ・『塩分控えめ(8g/日)の食事を食べる』については、「週2～3日」が27.4%で最も多い。
- ・『1日2回以上「主食※1+主菜※2+副菜※3」の組み合わせの食事を食べる』については、「毎日」が37.7%で最も多い。
- ・『朝食を食べる』については、「毎日」が最も多い 75.4%で、全体の4分の3が毎日朝食を食べると回答している。



※1 主食例:ごはん、パン、めんなど

※2 主菜例:肉、魚、卵、大豆製品などメインとなるおかず

※3 副菜例:野菜、きのこ、いも、海藻などを中心としたサラダ、小鉢、汁物など

■ 性・年代別 就業形態別 普段の食生活について

<野菜たっぷり(350g/日)の食事を食べる>

- ・ 性別で見ると、男女とも「週2～3日」が最も多いが、“男性”は「週2～3日」、「ほとんど食べない」の数値が“女性”より高く、“女性”は「毎日」、「週4～6日」の数値が“男性”より高いことから、“女性”の方が“男性”より野菜を食べる頻度が高い傾向がある。
- ・ 年代別で見ると、“70～79歳”では「毎日」が最も多く、それ以外の年代では「週2～3日」が最も多い。
- ・ 就労形態別で見ると、“自営業”、“会社員”、“無職”では「週2～3日」、「学生」、「主婦・主夫」では「週4～6日」が最も多い。特に“学生”では「週4～6日」の値が全体値より高くなっている。

		合計	問22 ア 野菜たっぷり(350g/日)の食事を食べる				
			毎日	週4～6日	週2～3日	ほとんど食べない	無記入
全体		1,714	23.2	27.1	34.5	9.5	5.8
性別	男性	669	20.8	22.6	38.6	12.7	5.4
	女性	986	24.3	30.3	32.6	7.4	5.4
年代別	18～29歳	139	18.0	29.5	39.6	12.9	0.0
	30～39歳	170	11.2	27.1	42.9	17.6	1.2
	40～49歳	234	20.9	21.8	40.6	15.4	1.3
	50～59歳	294	18.7	33.0	36.7	8.8	2.7
	60～69歳	307	25.1	28.0	32.9	9.4	4.6
	70～79歳	365	32.6	27.1	28.5	4.4	7.4
	80歳以上	175	26.3	21.7	28.6	2.9	20.6
就業形態	自営業	90	25.6	26.7	35.6	6.7	5.6
	会社員	853	19.7	26.0	40.4	12.4	1.4
	無職	374	25.9	23.5	30.2	7.2	13.1
	学生	45	20.0	42.2	26.7	11.1	0.0
	主婦・主夫	277	28.9	34.3	26.7	4.3	5.8
	その他	38	31.6	34.2	18.4	7.9	7.9

<塩分控えめ(8g/日)の食事を食べる>

- ・ 性別で見ると、“男性”は「週2～3日」が最も多く、“女性”より高い。“女性”は「毎日」が最も多く、“男性”より数値が高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、“50～59歳”は「ほとんど食べない」、70代以上の年代は「毎日」、それ以外の年代は「週2～3日」が最も多い。

		合計	問22 イ 塩分控えめ(8g/日)の食事を食べる				
			毎日	週4～6日	週2～3日	ほとんど食べない	無記入
全体		1,714	24.0	22.3	27.4	19.5	6.8
性別	男性	669	19.7	20.9	31.2	22.0	6.1
	女性	986	26.5	23.7	25.3	18.4	6.2
年代	18～29歳	139	15.8	27.3	30.9	25.2	0.7
	30～39歳	170	11.2	18.8	35.3	33.5	1.2
	40～49歳	234	16.2	17.1	35.5	29.5	1.7
	50～59歳	294	19.4	24.8	26.2	26.9	2.7
	60～69歳	307	24.1	23.5	27.0	18.6	6.8
	70～79歳	365	34.5	26.0	23.6	6.3	9.6
	80歳以上	175	38.3	16.0	20.0	5.7	20.0

<1日2回以上「主食※1+主菜※2+副菜※3」の組み合わせの食事を食べる>

- ・ 性別で見ると、男女とも「毎日」が最も多く、特に“女性”は“男性”より数値が高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、30～49歳では「週2～3日」、それ以外の年代では「毎日」が最も多い。

		合計	問22 ウ 1日2回以上「主食※1+主菜※2+副菜※3」の組み合わせの食事を食べる				
			毎日	週4～6日	週2～3日	ほとんど食べない	無記入
全体		1,714	37.7	22.9	24.7	10.6	4.1
性別	男性	669	33.3	20.6	30.0	12.6	3.4
	女性	986	40.9	24.5	21.4	9.5	3.7
年代	18～29歳	139	30.9	23.7	27.3	18.0	0.0
	30～39歳	170	20.0	24.7	28.8	25.3	1.2
	40～49歳	234	28.2	19.2	32.5	18.8	1.3
	50～59歳	294	34.7	28.6	26.9	9.5	0.3
	60～69歳	307	39.1	23.5	24.8	8.8	3.9
	70～79歳	365	50.7	21.1	20.0	3.0	5.2
	80歳以上	175	49.1	18.9	16.6	1.1	14.3

<朝食を食べる>

- ・ 性別、年代問わず「毎日」が最も多く、70代以上の年代では全体値を大きく上回っている。

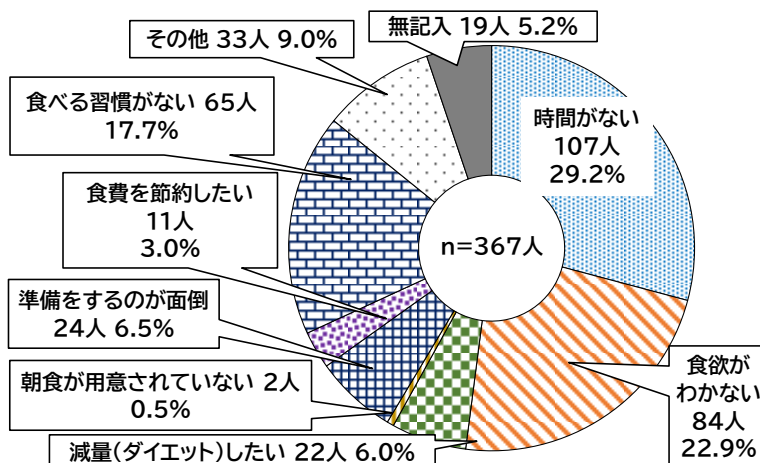
		合計	問22 エ 朝食を食べる				
			毎日	週4～6日	週2～3日	ほとんど食べない	無記入
全体		1,714	75.4	6.3	4.9	10.2	3.2
性別	男性	669	74.1	6.0	5.5	11.4	3.0
	女性	986	77.1	6.2	4.5	9.6	2.6
年代	18～29歳	139	54.0	15.8	9.4	20.1	0.7
	30～39歳	170	60.0	14.1	8.8	15.9	1.2
	40～49歳	234	68.8	7.3	8.5	13.7	1.7
	50～59歳	294	72.8	6.8	4.8	14.3	1.4
	60～69歳	307	80.1	3.3	3.9	9.4	3.3
	70～79歳	365	88.8	3.0	1.6	3.0	3.6
	80歳以上	175	85.7	1.1	2.3	3.4	7.4

朝食を食べない最も大きな理由(問 22-1)

問 22-1 朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。

(問 22 で朝食を「毎日」食べる以外のいずれかに○をつけた方、○は1つだけ)

- ・「時間がない」が最も多い 29.2%で全体の3割弱である。次いで「食欲がわからない」が 22.9%となっている。「食べる習慣がない」は 17.7%である。



■ 性・年代別 朝食を食べない最も大きな理由

- ・性別で見ると、男女とも「時間がない」が最も多い。
- ・年代別で見ると、30代以下の年代では「時間がない」、「80歳以上」では「準備をするのが面倒」の数値が全体値を大きく上回っている。

	合計	問22-1 朝食を食べない最も大きな理由								
		時間がない	食欲がわからない	減量(ダイエット)した	朝食が用意されていない	準備をするのが面倒	食費を節約したい	食べる習慣がない	その他	無記入
全体	367	29.2	22.9	6.0	0.5	6.5	3.0	17.7	9.0	5.2
性別										
男性	153	31.4	20.9	3.9	1.3	7.8	2.6	21.6	7.2	3.3
女性	200	27.5	24.5	7.5	0.0	6.0	2.5	16.0	11.0	5.0
年代										
18~29歳	63	46.0	22.2	1.6	0.0	4.8	3.2	15.9	6.3	0.0
30~39歳	66	40.9	21.2	6.1	0.0	13.6	1.5	12.1	1.5	3.0
40~49歳	69	29.0	21.7	8.7	0.0	10.1	4.3	14.5	10.1	1.4
50~59歳	76	28.9	25.0	2.6	1.3	1.3	2.6	19.7	14.5	3.9
60~69歳	51	11.8	27.5	11.8	0.0	0.0	3.9	25.5	11.8	7.8
70~79歳	28	10.7	21.4	7.1	0.0	7.1	3.6	21.4	7.1	21.4
80歳以上	12	0.0	16.7	8.3	8.3	16.7	0.0	25.0	16.7	8.3

■ 同居の家族形態別・就業形態別 朝食を食べない最も大きな理由

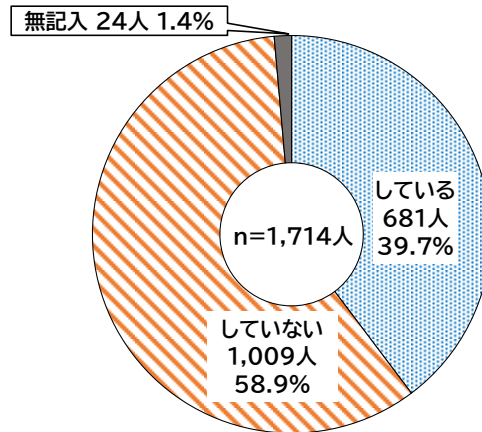
- ・ 同居の家族形態別でみると、“単身(一人暮らし)”、“夫婦もしくはパートナーと二人暮らし”、“2世代(親と子)”では「時間がない」、「3世代(親と子と孫)」では「食べる習慣がない」が最も多い。
- ・ 就業形態別でみると、“自営業”、“無職”では「食べる習慣がない」、「会社員」、「学生」では「時間がない」、「主婦・主夫」では「食欲がわからない」が最も多い。

		合計	問22-1 朝食を食べない最も大きな理由								
			時間がない	食欲がわからない	減量(ダイエット)したい	朝食が用意されていない	倒準備をするのが面倒	食費を節約したい	食べる習慣がない	その他	無記入
全体		367	29.2	22.9	6.0	0.5	6.5	3.0	17.7	9.0	5.2
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	72	31.9	19.4	5.6	1.4	11.1	2.8	16.7	11.1	0.0
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	93	32.3	23.7	7.5	0.0	5.4	1.1	18.3	6.5	5.4
	2世代(親と子)	173	27.7	26.0	6.4	0.0	6.4	3.5	15.6	9.2	5.2
	3世代(親と子と孫)	20	25.0	10.0	0.0	5.0	0.0	5.0	30.0	10.0	15.0
	その他	7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0
就業形態	自営業	17	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	5.9	11.8
	会社員	241	34.9	23.7	5.4	0.4	7.5	2.1	15.8	7.1	3.3
	無職	41	4.9	19.5	4.9	2.4	7.3	7.3	26.8	14.6	12.2
	学生	20	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	10.0	0.0
	主婦・主夫	33	15.2	30.3	18.2	0.0	9.1	0.0	6.1	15.2	6.1
	その他	8	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5

運動の習慣(問 23)

問 23 この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を1回 30 分以上、週に2回以上していますか。(○は1つだけ)

- ・ 「していない」が 58.9%で全体の6割近くを占め、「している」は 39.7%である。



■ 性・年代別 運動の習慣

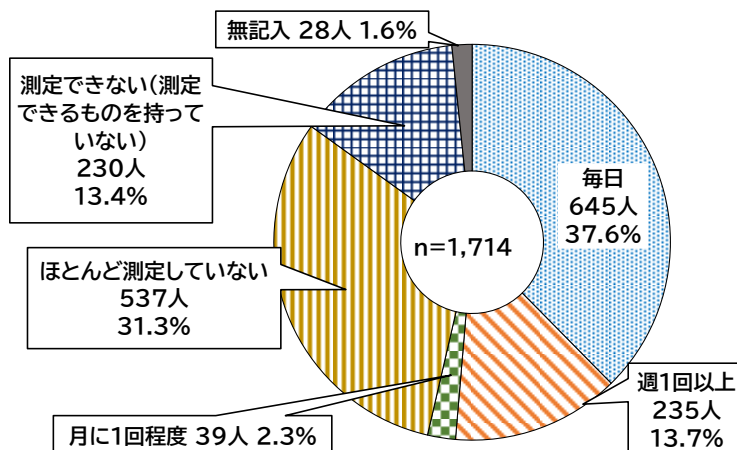
- ・ 性別で見ると、男女とも「していない」の方が多く、“女性”は“男性”より数値が高い。
- ・ 年代別で見ると、いずれの年代でも「していない」の方が多い。「している」の数値が最も高いのは“70～79 歳”である。

		合計	問23 この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を1回30分以上、週に2回以上しているか		
			している	していない	無記入
	全体	1,714	39.7	58.9	1.4
性別	男性	669	44.1	55.5	0.4
	女性	986	37.0	61.6	1.4
年代	18～29歳	139	36.0	64.0	0.0
	30～39歳	170	33.5	65.9	0.6
	40～49歳	234	38.5	61.1	0.4
	50～59歳	294	35.7	64.3	0.0
	60～69歳	307	40.4	58.0	1.6
	70～79歳	365	46.0	52.6	1.4
	80歳以上	175	44.0	53.1	2.9

歩数の測定頻度(問 24)

問 24 この1年間、どのくらいの頻度で歩数を測定していますか。(〇は1つだけ)

- ・「毎日」が37.6%で最も多い。次いで「ほとんど測定していない」が31.3%である。
- ・「毎日」、「週1回以上」、「月に1回程度」を合わせると53.6%で、頻度の差はあるものの全体の過半数が歩数計側の習慣を持っている。



■ 性・年代別 歩数の測定頻度

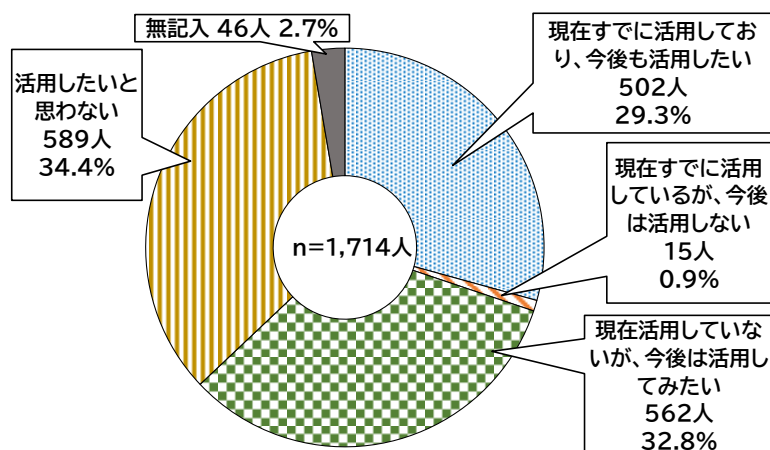
- ・年代別で見ると、30代以下の年代と“80歳以上”では「ほとんど測定していない」が最も多く、“18～29歳”では数値が全体値を大きく上回っている。40代以上の年代では「毎日」が最も多い。

	合計	問24 この1年間に、歩数を測定している頻度					
		毎日	週1回以上	月に1回程度	ほとんど測定していない	測定できない(測定できるものを持っていない)	無記入
全体	1,714	37.6	13.7	2.3	31.3	13.4	1.6
性別							
男性	669	36.6	14.8	2.5	33.0	12.1	0.9
女性	986	38.4	13.2	2.1	30.6	14.2	1.4
年代							
18～29歳	139	35.3	8.6	2.9	41.7	11.5	0.0
30～39歳	170	34.1	11.8	0.6	35.3	17.6	0.6
40～49歳	234	39.3	10.3	1.3	29.5	19.2	0.4
50～59歳	294	41.2	10.2	3.1	29.6	15.6	0.3
60～69歳	307	38.4	13.4	2.9	31.9	12.7	0.7
70～79歳	365	40.3	18.9	2.5	28.2	8.2	1.9
80歳以上	175	30.9	20.6	1.7	32.0	10.9	4.0

健康管理アプリやウェアラブルデバイスの活用意向(問 25)

問 25 ご自身の健康を管理するために、スマートフォンやタブレットのアプリケーションやウェアラブルデバイス※1 を活用したいと思いますか。(○は1つだけ)

- ・「活用したいと思わない」が 34.4%で最も多いが、「現在活用していないが、今後は活用してみたい」が 32.8%と僅差で続いている。「現在すでに活用しており、今後も活用したい」は 29.3%である。
- ・「現在すでに活用しており、今後も活用したい」、「現在活用していないが、今後は活用してみたい」を合わせた 62.1%、全体の6割以上がウェアラブルデバイスを活用したいとしている。



※1 ウェアラブルデバイスとは：腕や頭部など、体に装着して健康を管理する機器のことです。

■ 性・年代別 健康管理アプリやデバイスの活用意向

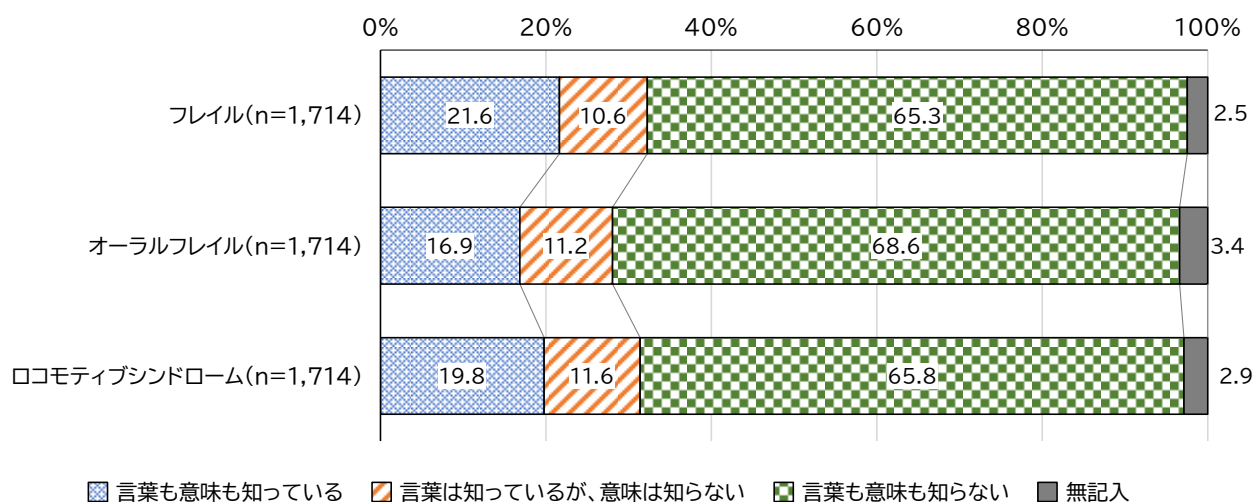
- ・性別で見ると、“男性”は「活用したいと思わない」、「女性”は「現在活用していないが、今後は活用してみたい」が最も多く、男女で傾向が分かれた。
- ・年代別で見ると、30代以下の年代と“60～69歳”では「現在活用していないが、今後は活用してみたい」が最も多く、“40～49歳”、“50～59歳”では「現在すでに活用しており、今後も活用したい」、70代以上の年代では「活用したいと思わない」が最も多い。

		合計	問25 健康を管理するために、スマートフォンやタブレットのアプリケーションやウェアラブルデバイスを活用したいか				
			現在すでに活用しており、今後も活用したい	現在すでに活用しているが、今後は活用しない	現在活用していないが、今後は活用してみたい	活用したいと思わない	無記入
全体		1,714	29.3	0.9	32.8	34.4	2.7
性別	男性	669	33.0	0.9	28.3	36.6	1.2
	女性	986	27.2	0.7	37.3	32.3	2.5
年代別	18～29歳	139	28.8	0.0	36.7	33.8	0.7
	30～39歳	170	31.2	0.6	40.0	27.6	0.6
	40～49歳	234	38.9	1.3	29.9	29.1	0.9
	50～59歳	294	35.7	0.7	34.4	29.3	0.0
	60～69歳	307	30.0	2.0	37.1	29.6	1.3
	70～79歳	365	22.2	0.8	33.7	40.3	3.0
	80歳以上	175	21.7	0.0	18.9	51.4	8.0

健康に関する言葉の認知度(問 26)

問 26 次の健康に関する言葉とその意味を知っていますか。(各項目それぞれ○は1つだけ)

- ・『フレイル^{※1}』、『オーラルフレイル^{※2}』、『ロコモティブシンドローム^{※3}』のいずれも「言葉も意味も知らない」が最も多く、『フレイル』では 65.3%、『オーラルフレイル』では 68.6%、『ロコモティブシンドローム』では 65.8%が「言葉も意味も知らない」としている。
- ・「言葉も意味も知っている」は『フレイル』で 21.6%、『オーラルフレイル』で 16.9%、『ロコモティブシンドローム』で 19.8%、最も認知度が高い『フレイル』でも2割強となっている。



※1 フレイルとは：高齢期に体力や気力、認知機能など、からだところの機能(はたらき)が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態のことです。

※2 オーラルフレイルとは：食べ物を嚥んだり飲み込む機能が低下するなど、口に関連する機能が低下しつつある状態のことです。

※3 ロコモティブシンドロームとは：筋肉や骨、関節などの衰えによって移動に支障が出ている状態のことです。

■ 性・年代別 健康に関する言葉の認知度

- ・ 性・年代別で見ると、いずれの言葉も、性別、年代問わず「言葉も意味も知らない」が最も多いが、“男性”より“女性”、若年層より高齢者層の方が認知度は高い傾向がみられる。

<フレイル>

- ・ 男女とも「言葉も意味も知らない」が最も多いが、“男性”に比べて“女性”の認知度が高くなっている。
- ・ いずれの年代でも「言葉も意味も知らない」が最も多く、40代以下の年代では数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問26 ア フレイル			
			言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない	無記入
	全体	1,714	21.6	10.6	65.3	2.5
性別	男性	669	15.1	8.2	74.9	1.8
	女性	986	26.0	12.5	59.5	2.0
年代	18～29歳	139	13.7	2.9	82.7	0.7
	30～39歳	170	11.2	8.8	79.4	0.6
	40～49歳	234	12.0	6.8	80.3	0.9
	50～59歳	294	20.1	9.5	70.1	0.3
	60～69歳	307	27.7	12.1	58.3	2.0
	70～79歳	365	29.6	15.1	53.2	2.2
	80歳以上	175	24.6	14.3	52.6	8.6

<オーラルフレイル>

- ・ 男女とも「言葉も意味も知らない」が最も多いが、“男性”に比べて“女性”の認知度が高くなっている。
- ・ いずれの年代でも「言葉も意味も知らない」が最も多く、40代以下の年代では数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問26 イ オーラルフレイル			
			言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない	無記入
性別	全体	1,714	16.9	11.2	68.6	3.4
	男性	669	10.9	9.6	77.3	2.2
	女性	986	20.7	12.4	63.8	3.1
年代	18～29歳	139	11.5	4.3	83.5	0.7
	30～39歳	170	9.4	5.9	83.5	1.2
	40～49歳	234	9.8	7.3	81.6	1.3
	50～59歳	294	17.3	7.8	74.1	0.7
	60～69歳	307	21.5	13.0	62.9	2.6
	70～79歳	365	21.9	18.4	57.3	2.5
	80歳以上	175	17.1	14.3	54.9	13.7

<ロコモティブシンドローム>

- ・ 男女とも「言葉も意味も知らない」が最も多いが、“男性”に比べて“女性”の認知度が高くなっている。
- ・ いずれの年代でも「言葉も意味も知らない」が最も多く、30代以下の年代では数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問26 ウ ロコモティブシンドローム			
			言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない	無記入
性別	全体	1,714	19.8	11.6	65.8	2.9
	男性	669	13.3	9.7	75.2	1.8
	女性	986	24.2	13.0	60.1	2.6
年代	18～29歳	139	12.9	5.0	81.3	0.7
	30～39歳	170	10.0	9.4	79.4	1.2
	40～49歳	234	12.4	12.4	73.9	1.3
	50～59歳	294	20.7	10.2	68.7	0.3
	60～69歳	307	23.1	12.1	62.9	2.0
	70～79歳	365	25.2	15.3	57.0	2.5
	80歳以上	175	25.7	11.4	52.6	10.3

7 子ども・子育て支援について

結果のポイント

◆「保土ケ谷区は「安心して子育てできるまち」だと思う割合

- ・「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた7割以上が「安心して子育てできるまち」だと感じている。

◆子育てをする上で、特に必要なこと

- ・「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が約4割で最も多い。

n=1,714(複数回答)

1	親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	38.9%
2	必要な時に子どもを預かってくれる場があること	35.8%
3	隣近所が子育てに好意的で理解があること	35.2%
4	家の近くに遊び場があること	34.1%
5	親族以外にも身近な相談相手がいること	33.6%

◆子育てをしている家庭にできる協力

- ・「道でみかけたら挨拶をする」が約6割で最も多い。

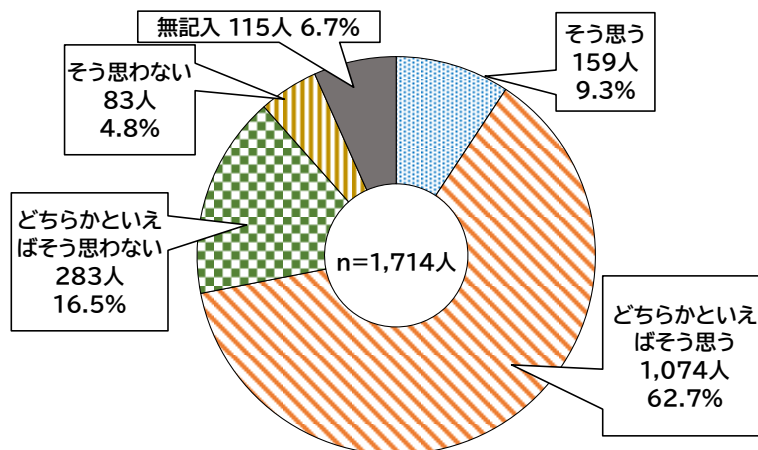
n=1,714(複数回答)

1	道でみかけたら挨拶をする	56.9%
2	子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する	51.7%
3	公共交通機関(バスや電車)であたたかく接する	39.5%
4	荷物やベビーカーと一緒に運ぶ	17.7%
5	子どもをあやしたり、話しかけたりする	16.3%

「安心して子育てできるまち」(問 27)

問 27 保土ケ谷区は、「安心して子育てできるまち」だと思いますか。(○は1つだけ)

- ・「どちらかといえばそう思う」が 62.7%で最も多く、全体の6割以上を占める。次いで「どちらかといえばそう思わない」が 16.5%、「そう思う」が 9.3%、「そう思わない」が 4.8%となっている。
- ・「どちらかといえばそう思う」、「そう思う」を合わせると 72.0%で、全体の7割以上の人が安心して子育てできると感じている。



■ 性・年代別「安心して子育てできるまち」

- ・ 性・年代別で見ると、性別、年齢問わず「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。

		合計	問27 保土ヶ谷区は、「安心して子育てできるまち」だと思うか				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無記入
全体		1,714	9.3	62.7	16.5	4.8	6.7
性別	男性	669	9.6	63.7	17.0	5.5	4.2
	女性	986	8.8	63.1	16.0	4.4	7.7
年代	18～29歳	139	10.1	59.0	19.4	9.4	2.2
	30～39歳	170	9.4	60.6	20.0	7.6	2.4
	40～49歳	234	7.3	61.1	19.2	8.1	4.3
	50～59歳	294	8.5	69.0	16.0	3.1	3.4
	60～69歳	307	5.2	68.7	17.9	3.6	4.6
	70～79歳	365	9.9	61.1	15.3	3.0	10.7
	80歳以上	175	17.7	53.7	10.3	2.9	15.4

■ 子育てステージ別「安心して子育てできるまち」

- ・ 子育てステージ別で見ると、いずれのライフステージでも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

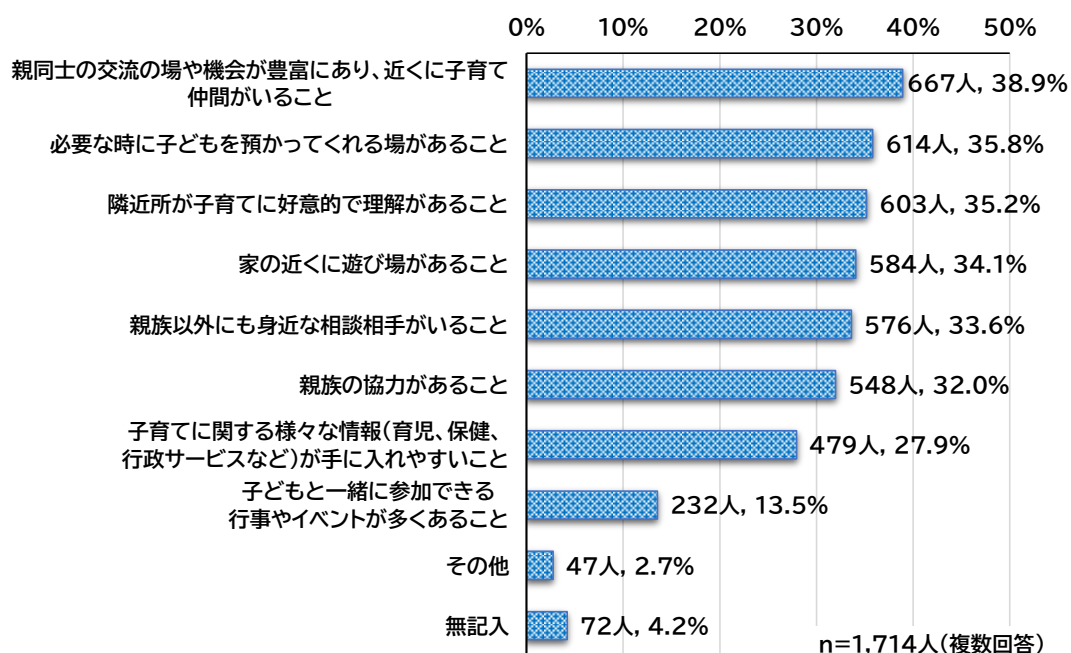
		合計	問27 保土ヶ谷区は、「安心して子育てできるまち」だと思うか				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無記入
全体		1714	9.3	62.7	16.5	4.8	6.7
子育てステージ1	家族形成期(末子-未就学児)	105	6.7	61.9	23.8	6.7	1.0
	家族成長前期(末子-小学生・中学生)	125	11.2	69.6	12.8	4.8	1.6
	家族成長後期(末子-高校生・大学生)	116	6.0	69.0	21.6	3.4	0.0
	家族成熟期(子育て終了)	745	9.0	65.5	14.9	3.0	7.7
	こどもなし	494	9.1	60.1	17.8	7.9	5.1

※子育てステージ1区分は、報告書P5参照

子育てをする上で、特に必要なこと(問 28)

問 28 子育てをする上で、特に必要なことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

- ・「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が 38.9%で最も多く、次いで「必要な時に子どもを預かってくれる場があること」が 35.8%となっている。また、「隣近所が子育てに好意的で理解があること」(35.2%)、「家の近くに遊び場があること」(34.1%)、「親族以外にも身近な相談相手がいること」(33.6%)、「親族の協力があること」(32.0%)を3割以上の人が挙げており、選択は多岐にわたっている。



■ 性・年代別 子育てをする上で、特に必要なこと

- ・ 性別で見ると、“男性”は「家の近くに遊び場があること」が最も多く、“女性”は「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が最も多く、男女で傾向が分かれた。
- ・ 年代別で見ると、“18～29歳”と“80歳以上”では「親族の協力があること」、「30～39歳”では「必要な時に子どもを預かってくれる場があること」、「40～49歳”では「家の近くに遊び場があること」、50～79歳までの年代では「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が最も多く、年代で傾向が分かれた。

		合計	問28 子育てをする上で、特に必要なこと									
			親族の協力があること	機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	親族以外にも身近な相談相手がいること	隣近所が子育てに好意的で理解があること	必要な時に子どもを預かってくれる場があること	家の近くに遊び場があること	子どもと一緒に参加できる行事やイベントが多くあること	子育てに関する様々な情報(育児、保健、行政サービスなど)が手に入れやすいこと	その他
性別	全体	1,714	32.0	38.9	33.6	35.2	35.8	34.1	13.5	27.9	2.7	4.2
	男性	669	37.4	32.9	30.9	31.4	34.5	38.1	15.5	26.8	3.9	2.4
	女性	986	28.9	43.4	35.8	38.4	37.5	31.5	12.7	28.9	1.9	4.5
年代別	18～29歳	139	42.4	27.3	24.5	31.7	40.3	38.1	18.7	28.1	5.8	2.9
	30～39歳	170	38.8	32.9	30.6	40.6	45.9	38.2	14.7	30.0	3.5	0.6
	40～49歳	234	32.1	35.5	30.3	33.8	42.7	43.2	15.4	25.2	3.8	1.3
	50～59歳	294	30.3	46.9	42.2	35.0	37.1	28.9	12.9	33.0	2.4	1.7
	60～69歳	307	27.7	42.3	38.1	35.5	39.4	30.3	11.4	31.6	2.3	2.0
	70～79歳	365	27.9	41.9	31.2	38.6	29.9	34.0	15.6	25.2	1.1	6.3
	80歳以上	175	38.3	34.9	34.3	30.3	21.7	30.9	7.4	21.1	1.7	12.6

■ 共働き別・就労形態別 子育てをする上で、特に必要なこと

- ・ 共働き別で見ると、“フルタイム共働き”では「必要な時に子どもを預かってくれる場があること」、「パートタイム共働き」、共働きを“していない”世帯では「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が最も多く挙げられている。特に“パートタイム共働き”では「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」の数値が全体値より高くなっている。
- ・ 就業形態別で見ると、“自営業”、“無職”では「親族以外にも身近な相談相手がいること」、「会社員”では「必要な時に子どもを預かってくれる場があること」、「学生”では「家の近くに遊び場があること」が子育てで必要なこととして最も多く挙げられている。

		合計	問28 子育てをする上で、特に必要なこと									
			親族の協力があること	機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	親族以外にも身近な相談相手がいること	隣近所が子育てに好意的で理解があること	必要な時に子どもを預かってくれる場があること	家の近くに遊び場があること	子どもと一緒に参加できる行事やイベントが多くあること	子育てに関する様々な情報(育児、保健、行政サービスなど)が手に入れやすいこと	その他
共働き	全体	1,714	32.0	38.9	33.6	35.2	35.8	34.1	13.5	27.9	2.7	4.2
	フルタイム共働き	230	38.7	37.0	28.7	33.5	43.0	40.9	12.6	26.5	4.3	0.0
	パートタイム共働き※1	304	28.0	49.0	38.8	37.2	37.5	30.9	17.1	31.3	2.3	2.0
	していない	481	31.8	41.4	34.3	38.7	31.6	35.6	14.3	25.4	1.7	3.7
就業形態	無回答	17	47.1	47.1	11.8	17.6	41.2	58.8	23.5	23.5	5.9	0.0
	自営業	90	33.3	32.2	38.9	32.2	36.7	37.8	12.2	22.2	5.6	2.2
	会社員	853	35.1	39.3	34.1	35.2	39.9	34.3	14.2	30.1	3.0	1.4
	無職	374	29.9	34.0	35.0	32.9	29.7	32.9	11.5	27.0	1.6	7.2
	学生	45	35.6	35.6	28.9	31.1	44.4	51.1	20.0	31.1	11.1	0.0
	主婦・主夫	277	28.5	48.7	32.1	40.1	31.4	31.8	14.8	26.7	1.1	5.4
	その他	38	18.4	39.5	34.2	36.8	44.7	31.6	10.5	15.8	5.3	7.9

※1(夫婦のお一人、または両方がパートタイム)

■ 子育てステージ別 子育てをする上で、特に必要なこと

- ・ 子育てステージ別でみると、未就学児のいる世帯では「家の近くに遊び場があること」が最も多く、小学生以上の子がいる世帯では「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が最も多い。
- ・ 子どものいない世帯では、「必要な時に子どもを預かってくれる場があること」が最も多い。
- ・ 未就学児のいる世帯では、「家の近くに遊び場があること」、「親族の協力があること」、「子どもと一緒に参加できる行事やイベントが多くあること」が全体値より10ポイント以上高く、小・中学生のいる世帯では「家の近くに遊び場があること」、高校生・大学生のいる世帯では「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が全体値より10ポイント以上高い。

	合計	問28 子育てをする上で、特に必要なこと										
		親族の協力があること	親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	親族以外にも身近な相談相手がいること	隣近所が子育てに好意的で理解があること	必要な時に子どもを預かってくれる場があること	家の近くに遊び場があること	子どもと一緒に参加できる行事やイベントが多くあること	子育てに関する様々な情報(育児、保健、行政サービスなど)が手に入れやすいこと	その他	無記入	
全体	1714	32.0	38.9	33.6	35.2	35.8	34.1	13.5	27.9	2.7	4.2	
子育てステージ1												
家族形成期(未子-未就学児)	105	42.9	32.4	21.9	43.8	44.8	49.5	24.8	22.9	3.8	0.0	
家族成長前期(未子-小学生・中学生)	125	34.4	45.6	30.4	32.0	36.8	44.8	19.2	29.6	4.0	0.0	
家族成長後期(未子-高校生・大学生)	116	29.3	50.9	43.1	35.3	40.5	29.3	15.5	26.7	2.6	0.0	
家族成熟期(子育て終了)	745	30.1	44.3	35.4	36.9	32.5	32.5	13.2	28.9	1.1	3.9	
こどもなし	494	32.0	29.8	35.0	32.6	42.9	32.6	11.3	31.4	4.5	3.4	

※子育てステージ1区分は、報告書P5参照

■ 保土ヶ谷区は「安心して子育てできるまち」だと思うか別 子育てをする上で、特に必要なこと

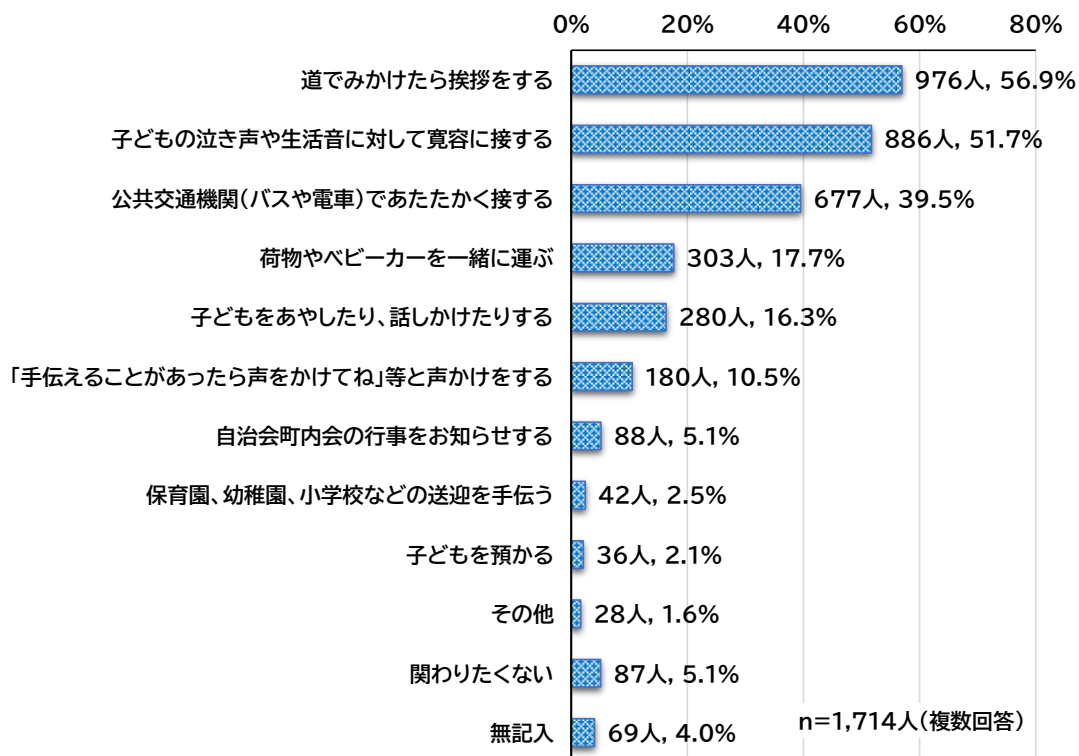
- ・ 「安心して子育てできるまち」だと思うか別でみると、“そう思う”では「親族の協力があること」、「どちらかといえばそう思う”では「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が最も多く、特に、“そう思う”では「親族の協力があること」の数値が全体値より高くなっている。“そう思わない”、“どちらかといえばそう思わない”では、「必要な時に子どもを預かってくれる場があること」が最も多く挙げられている。

	合計	問28 子育てをする上で、特に必要なこと										
		親族の協力があること	親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	親族以外にも身近な相談相手がいること	隣近所が子育てに好意的で理解があること	必要な時に子どもを預かってくれる場があること	家の近くに遊び場があること	子どもと一緒に参加できる行事やイベントが多くあること	子育てに関する様々な情報(育児、保健、行政サービスなど)が手に入れやすいこと	その他	無記入	
全体	1,714	32.0	38.9	33.6	35.2	35.8	34.1	13.5	27.9	2.7	4.2	
「安心して子育てできるまち」だと思うか												
そう思う	159	42.8	37.1	25.2	34.0	29.6	39.0	17.6	20.8	3.1	6.3	
どちらかといえばそう思う	1,074	33.1	44.3	38.0	36.9	36.2	34.4	14.6	29.9	1.4	0.8	
どちらかといえばそう思わない	283	29.3	30.4	30.0	37.8	43.5	37.5	12.4	30.0	5.3	0.7	
そう思わない	83	24.1	16.9	27.7	27.7	39.8	37.3	13.3	31.3	10.8	2.4	
無記入	115	19.1	27.8	17.4	20.0	19.1	13.9	0.9	12.2	2.6	42.6	

子育てをしている家庭にできる協力(問 29)

問 29 近所の子育てをしている家庭に、あなたはどのような協力(行動、声掛け)ができますか。

- ・「道でみかけたら挨拶をする」が最も多い 56.9%、次いで「子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する」が 51.7%、「公共交通機関(バスや電車)であたたかく接する」が 39.5%となっている。挨拶や接する態度についての選択肢は順位が高く、何かしらのアクションを伴う項目は数値が低くなっている。



■ 性・年代別 子育てをしている家庭にできる協力

- ・ 性別で見ると、男女とも「道でみかけたら挨拶をする」が最も多く、“女性”は“男性”より高くなっている。また、“男性”は“女性”より「荷物やベビーカーと一緒に運ぶ」の数値が高く、“女性”は「子どもをあやしたり、話しかけたりする」が“男性”より高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、30 代以下の年代では「子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する」、40 代以上の年代では「道でみかけたら挨拶をする」が最も多い。また、“30～39 歳”で「公共交通機関(バスや電車)であたたかく接する」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問29 近所の子育てをしている家庭に、できる協力(行動、声掛け)											
			道でみかけたら挨拶をする	から声をかけてねー等と声を伝えることがあった	自治会町内会の行事をお知らせする	子どもをあやしたり、話しかけたりする	荷物やベビーカーと一緒に運ぶ	保育園、幼稚園、小学校などの送迎を手伝う	子どもを預かる	公共交通機関(バスや電車)であたたかく接する	子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する	その他	関わりたくない	無記入
	全体	1,714	56.9	10.5	5.1	16.3	17.7	2.5	2.1	39.5	51.7	1.6	5.1	4.0
性別	男性	669	54.0	8.4	5.8	11.5	14.8	3.0	1.9	38.3	51.3	1.5	6.9	2.7
	女性	986	59.5	12.1	4.3	20.2	19.9	2.0	2.2	41.1	53.0	1.6	3.5	4.0
年代	18～29歳	139	41.7	7.2	0.7	7.9	17.3	3.6	2.2	46.0	54.7	0.7	12.9	2.2
	30～39歳	170	48.8	7.6	0.6	18.2	24.1	1.2	3.5	52.9	59.4	1.8	6.5	0.6
	40～49歳	234	56.0	11.5	1.3	16.7	26.5	3.0	3.8	37.6	55.1	0.9	6.0	0.9
	50～59歳	294	58.8	11.2	5.4	11.6	24.5	1.4	2.4	46.6	53.4	1.4	4.8	1.0
	60～69歳	307	58.0	7.5	5.5	14.7	20.8	3.6	0.7	38.1	53.1	2.6	4.9	2.9
	70～79歳	365	62.5	13.4	7.4	23.6	8.8	2.7	1.6	34.0	50.7	1.6	2.5	6.0
	80歳以上	175	63.4	13.1	10.3	18.3	2.9	0.6	1.7	30.3	37.1	1.7	1.7	11.4

■ 子育てステージ別 子育てをしている家庭にできる協力

【家族形成期(末子-未就学児)】

- ・ 未就学児のいる世帯では、「子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する」が最も多く、全体値を大きく上回っている。また、「公共交通機関(バスや電車)であたたく接する」、「子どもをあやしんだり、話しかけたりする」も全体値を大きく上回っている。

【家族成長前期(末子-小学生・中学生)】

- ・ 小学生・中学生のいる世帯では、「道でみかけたら挨拶をする」が最も多く、「荷物やベビーカーと一緒に運ぶ」では全体値を大きく上回っている。

【家族成長後期(末子-高校生・大学生)】

- ・ 高校生・大学生のいる世帯では、「道でみかけたら挨拶をする」、「子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する」が同率で最も多い。

【家族成熟期(子育て終了)】

- ・ 子育てを終えた世帯では「道でみかけたら挨拶をする」が最も多い。

【こどもなし】

- ・ 子どものいない世帯では「子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する」が最も多い。

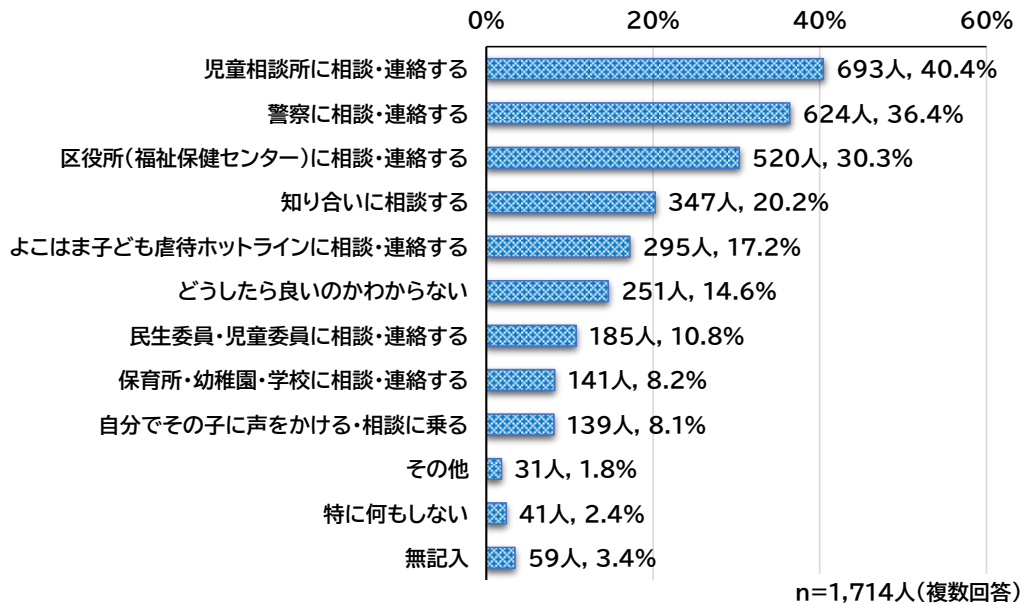
	合計	問29 近所の子育てをしている家庭に、できる協力(行動、声掛け)												
		道でみかけたら挨拶をする	「手伝えることがあったら声をかけてね」と声をかける	自治会町内会の行事をお知らせする	子どもをあやしんだり、話しかけたりする	荷物やベビーカーと一緒に運ぶ	保育園・幼稚園・小学校などの送迎を手伝う	子どもを預かる	公共交通機関(バスや電車)であたたく接する	子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する	その他	関わりたくない	無記入	
全体	1714	56.9	10.5	5.1	16.3	17.7	2.5	2.1	39.5	51.7	1.6	5.1	4.0	
子育てステージ1	家族形成期(末子-未就学児)	105	61.0	11.4	0.0	28.6	23.8	3.8	4.8	57.1	65.7	1.0	1.0	0.0
	家族成長前期(末子-小学生・中学生)	125	64.0	16.8	2.4	13.6	31.2	4.0	6.4	42.4	52.8	0.0	0.8	1.6
	家族成長後期(末子-高校生・大学生)	116	56.0	13.8	6.0	17.2	23.3	0.9	2.6	44.8	56.0	0.0	1.7	0.0
	家族成熟期(子育て終了)	745	62.4	12.2	7.1	19.1	13.4	2.6	1.6	36.2	52.6	1.9	2.4	4.4
	こどもなし	494	47.8	5.5	2.6	9.5	20.4	2.0	1.4	42.3	50.4	2.2	11.9	2.6

※子育てステージ1区分は、報告書P5参照

児童虐待が疑われる場面を見聞きしたときの対応(問 30)

問 30 児童虐待が疑われる場面を見聞きしたとき、どのような対応を取りますか。(〇はいくつでも)

- ・「児童相談所に相談・連絡する」が 40.4%で最も多い。次いで「警察に相談・連絡する」が 36.4%、「区役所(福祉保健センター)に相談・連絡する」が 30.3%となっている。また、「どうしたら良いのかわからない」は 14.6%、「特に何もしない」は 2.4%とわずかである。



■ 性・年代別 児童虐待が疑われる場面を見聞きしたときの対応

- ・ 性別でみると、“男性”は「警察に相談・連絡する」が最も多く、“女性”は「児童相談所に相談・連絡する」が最も多い。また、“男性”は女性より「児童相談所に相談・連絡する」の数値が高く、“女性”は「知り合いに相談する」が“男性”より高くなっている。
- ・ 年代別でみると、特に40代以下の年代で「児童相談所に相談・連絡する」が最も多く、70代以上は「区役所(福祉保健センター)に相談・連絡する」が最も多くなっている。特に、“80歳以上”では「民生委員・児童委員に相談・連絡する」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問30 児童虐待が疑われる場面を見聞きしたとき取る対応											
			児童相談所に相談・連絡する	区役所(福祉保健センター)に相談・連絡する	警察に相談・連絡する	保育所・幼稚園・学校に相談・連絡する	民生委員・児童委員に相談・連絡する	よこはま子ども虐待ホットライン※1に相談・連絡する	知り合いに相談する	自分でその子に声をかける・相談に乗る	どうしたら良いのかわからない	その他	特に何もしない	無記入
	全体	1,714	40.4	30.3	36.4	8.2	10.8	17.2	20.2	8.1	14.6	1.8	2.4	3.4
性別	男性	669	46.0	32.0	46.3	8.1	9.6	16.4	13.3	8.2	14.9	2.1	2.7	1.8
	女性	986	37.4	30.1	30.1	8.5	11.7	17.8	24.9	8.2	14.5	1.7	2.1	3.3
年代	18～29歳	139	43.9	18.7	38.8	8.6	2.2	10.1	23.0	11.5	20.9	0.0	5.8	2.2
	30～39歳	170	49.4	27.6	32.4	11.8	1.8	18.8	25.9	7.6	16.5	0.6	2.9	0.0
	40～49歳	234	49.6	23.9	34.6	8.1	3.4	16.2	18.8	9.0	17.5	2.6	2.1	0.0
	50～59歳	294	38.1	25.9	40.5	6.8	8.2	22.1	23.8	6.1	17.7	1.7	1.0	0.3
	60～69歳	307	39.7	36.5	37.1	6.2	11.1	20.2	18.2	7.2	12.4	1.3	2.0	2.3
	70～79歳	365	36.4	38.1	37.8	9.3	17.8	14.5	17.3	7.9	11.8	1.9	2.2	4.9
	80歳以上	175	33.7	33.7	32.6	9.1	25.1	16.0	19.4	10.3	10.3	4.6	2.3	10.9

■ 子育てステージ別 児童虐待が疑われる場面を見聞きしたときの対応

- ・ 子育てステージ別でみると、いずれのステージも「児童相談所に相談・連絡する」が最も多く、未就学児のいる世帯では「児童相談所に相談・連絡する」の割合が全体値を上回っており、小学生・中学生のいる世帯では「保育所・幼稚園・学校に相談・連絡する」の割合が全体値を大きく上回っている。

		合計	問30 児童虐待が疑われる場面を見聞きしたとき取る対応											
			児童相談所に相談・連絡する	区役所(福祉保健センター)に相談・連絡する	警察に相談・連絡する	保育所・幼稚園・学校に相談・連絡する	民生委員・児童委員に相談・連絡する	よこはま子ども虐待ホットライン※1に相談・連絡する	知り合いに相談する	自分でその子に声をかける・相談に乗る	どうしたら良いのかわからない	その他	特に何もしない	無記入
	全体	1714	40.4	30.3	36.4	8.2	10.8	17.2	20.2	8.1	14.6	1.8	2.4	3.4
子育てステージ1	家族形成期(未就学児)	105	51.4	33.3	26.7	17.1	1.9	21.9	25.7	6.7	12.4	1.0	2.9	0.0
	家族成長前期(未就学児・小学生・中学生)	125	50.4	27.2	36.0	21.6	4.0	16.0	22.4	4.8	10.4	0.8	1.6	0.0
	家族成長後期(未就学児・高校生・大学生)	116	38.8	27.6	31.0	6.9	6.0	25.0	25.9	5.2	19.0	1.7	0.9	0.0
	家族成熟期(子育て終了)	745	38.1	36.6	35.8	7.9	16.8	17.4	19.2	8.1	12.2	2.1	1.6	4.0
	こどもなし	494	42.3	23.9	40.5	4.7	5.9	15.0	20.6	9.3	18.6	2.0	3.6	1.8

※子育てステージ1区分は、報告書P5参照

8 防災・減災対策について

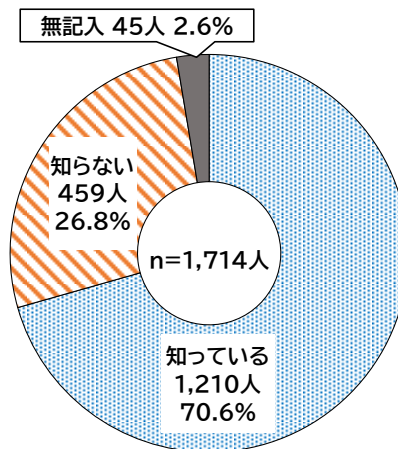
結果のポイント

- ◆地域防災拠点の認知度
 - ・「知っている」が約7割。
- ◆災害に備えるために知りたい情報
 - ・「地震発生時の避難行動・避難場所」が約5割で最も多い。
- ◆災害に備えた食料と飲料水の備蓄の状況
 - ・年齢、性別を問わず、「1日～3日未満」備蓄している割合は4割以上で最も多い。
 - ・備蓄の目安である「3日以上～1週間未満」、「1週間以上」の備蓄をしている割合は約4割。
- ◆家庭における災害発生時の対策
 - ・「家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)」が約5割で最も多い。
 - ・単身(一人暮らし)を中心に「何もしていない」割合も高い。

地域防災拠点の場所の認知度(問 31)

問 31 ご自身の住む地区の地域防災拠点※1の場所を知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「知っている」が70.6%と、認知度は7割に達し、「知らない」の26.8%を大きく上回っている。



※1 地域防災拠点とは:自宅が倒壊した場合などに、避難生活を行う場所のことです。地域への物資供給や情報の発信を行います。

■ 性・年代別 地域防災拠点の認知度

- ・ 性・年代別でみると、年齢、性別を問わず「知っている」の方が多いが、30代以下の年代では「知らない」の数値が全体値を上回っている。

		合計	問31 地区の地域防災拠点の場所の認知度		
			知っている	知らない	無記入
全体		1,714	70.6	26.8	2.6
性別	男性	669	71.0	27.5	1.5
	女性	986	71.7	25.7	2.6
年代別	18～29歳	139	59.7	38.8	1.4
	30～39歳	170	57.1	42.9	0.0
	40～49歳	234	68.4	31.2	0.4
	50～59歳	294	74.8	24.5	0.7
	60～69歳	307	77.2	20.5	2.3
	70～79歳	365	74.0	21.9	4.1
	80歳以上	175	74.3	20.6	5.1

■ 自治会町内会への加入状況別 地域防災拠点の認知度

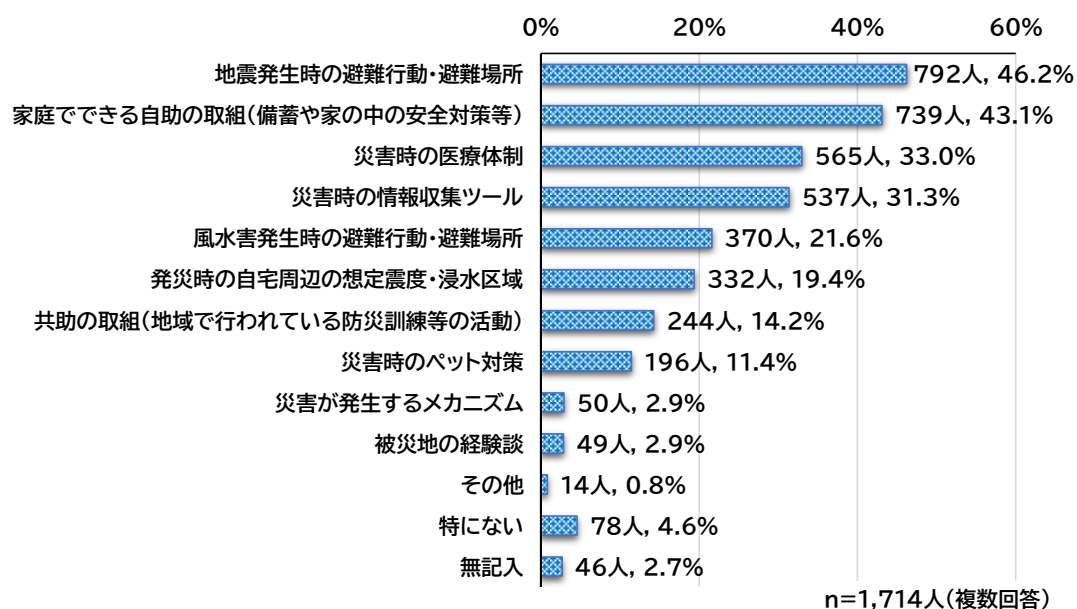
- ・ 自治会町内会加入率別でみると、“加入している”、“以前は加入していたが、現在は加入していない”では「知っている」、「加入したことがない」では「知らない」が多く、特に、“加入したことがない”では「知らない」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問31 地区の地域防災拠点の場所の認知度		
			知っている	知らない	無記入
全体		1,714	70.6	26.8	2.6
自治会町内会への加入状況	加入している	1,329	75.4	22.1	2.5
	以前は加入していたが、現在は加入していない	95	70.5	27.4	2.1
	加入したことがない	255	47.5	51.8	0.8

災害に備えるために知りたい情報(問 32)

問 32 日ごろから災害に備えるために、知りたい情報はどれですか。(〇は3つまで)

- ・「地震発生時の避難行動・避難場所」が 46.2%で最も多い。次いで「家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)」が 43.1%である。以下「災害時の医療体制」(33.0%)、「災害時の情報収集ツール」(31.3%)、「風水害発生時の避難行動・避難場所」(21.6%)などと続く。



■ 性・年代別 災害に備えるために知りたい情報

- ・ 性別でみると、男女とも「地震発生時の避難行動・避難場所」が最も多い。“女性”は“男性”より「発災時の自宅周辺の想定震度・浸水区域」の数値が高くなっている。
- ・ 年代別でみると、“30～39 歳”、“80 歳以上”で「家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)」が最も多く、40～79 歳の年代では「地震発生時の避難行動・避難場所」が最も多い。

		問32 日ごろから災害に備えるために、知りたい情報														
		合計	家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)	共助の取組(地域で行われている防災訓練等の活動)	地震発生時の避難行動・避難場所	風水害発生時の避難行動・避難場所	ツール	災害時の情報収集	発災時の自宅周辺の想定震度・浸水区域	災害時の医療体制	災害時のペット対策	災害が発生するメカニズム	被災地の経験談	その他	特にない	無記入
全体		1,714	43.1	14.2	46.2	21.6	31.3	19.4	33.0	11.4	2.9	2.9	0.8	4.6	2.7	
性別	男性	669	44.2	13.8	47.5	22.4	30.3	15.1	34.8	9.4	4.0	2.5	0.9	5.1	1.2	
	女性	986	43.0	14.7	46.1	21.5	32.3	22.4	32.0	13.0	2.1	3.1	0.8	4.2	2.7	
年代別	18～29歳	139	41.0	12.9	52.5	31.7	28.1	17.3	24.5	13.7	3.6	5.0	0.7	4.3	1.4	
	30～39歳	170	54.7	17.6	50.6	24.7	32.9	26.5	18.8	10.6	2.4	2.9	0.6	5.9	0.0	
	40～49歳	234	40.6	12.4	47.0	24.8	37.6	20.5	30.3	13.2	3.4	3.4	1.3	5.6	0.4	
	50～59歳	294	39.5	11.2	42.5	25.9	35.7	16.3	34.0	18.4	2.4	4.8	1.0	3.1	0.7	
	60～69歳	307	40.7	10.7	43.3	18.9	34.9	17.3	38.1	12.7	3.6	1.6	0.3	4.2	2.0	
	70～79歳	365	41.6	15.6	45.2	18.1	28.8	22.7	39.2	7.7	2.5	1.9	0.8	4.4	4.4	
	80歳以上	175	53.7	23.4	52.6	12.6	16.0	15.4	35.4	2.9	2.9	1.1	1.1	5.1	6.3	

■ 同居の家族形態別・地域別 災害に備えるために知りたい情報

- ・ 同居の家族形態別でみると、“2世代(親と子)”では「家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)」、それ以外の同居の家族形態では「地震発生時の避難行動・避難場所」が最も多い。
- ・ 地域別でみると、地域5では「家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)」、それ以外の地域では「地震発生時の避難行動・避難場所」が最も多い。

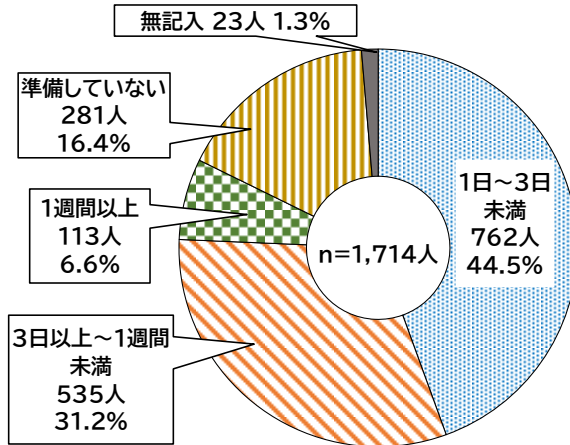
		合計	合計	問32 日ごろから災害に備えるために、知りたい情報													
				家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)	共助の取組(地域で行われている防災訓練等の活動)	地震発生時の避難行動・避難場所	風水害発生時の避難行動・避難場所	ツール	災害時の情報収集	発災時の自宅周辺の想定震度・浸水区域	災害時の医療体制	災害時のペット対策	災害が発生するメカニズム	被災地の経験談	その他	特にない	無記入
全体		1,714	1,714	43.1	14.2	46.2	21.6	31.3	19.4	33.0	11.4	2.9	2.9	0.8	4.6	2.7	
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	262	262	33.6	11.8	48.5	29.0	29.8	20.6	32.1	5.3	4.2	2.7	0.0	8.0	3.4	
	夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	522	522	44.3	15.7	45.4	19.5	29.5	16.9	33.5	12.6	2.9	1.9	1.3	4.2	2.7	
	2世代(親と子)	735	735	46.9	13.9	45.3	21.1	34.8	20.5	32.5	12.8	2.9	3.7	1.0	3.7	1.4	
	3世代(親と子と孫)	116	116	44.0	15.5	51.7	19.0	26.7	24.1	40.5	12.9	0.9	1.7	0.0	2.6	2.6	
居住地域	地域1	270	270	44.8	18.9	50.0	20.4	28.9	18.5	27.4	8.5	4.8	3.0	1.9	3.0	1.9	
	地域2	370	370	42.2	11.9	49.2	25.1	38.6	19.7	35.9	8.4	2.2	3.2	1.4	1.9	1.9	
	地域3	274	274	44.2	11.7	47.1	18.6	33.2	16.4	35.4	11.7	1.5	1.8	0.4	5.1	2.9	
	地域4	223	223	43.9	15.2	48.4	23.8	35.0	23.3	30.0	9.0	2.2	1.8	0.0	5.8	1.3	
	地域5	383	383	42.3	13.8	39.2	20.4	23.5	17.2	33.9	15.4	3.1	2.9	0.8	7.0	4.4	
	地域6	184	184	40.8	14.7	45.1	20.7	29.9	24.5	33.2	16.8	3.8	4.9	0.0	4.3	3.3	

※居住地域区分は、報告書P9参照

食料・飲料水の備蓄状況(問 33)

問 33 あなたのご家庭では、災害に備えて何日分の食料と飲料水を準備していますか。(○は1つだけ)

- ・「1日～3日未満」が 44.5%で最も多い。次いで「3日以上～1週間未満」が 31.2%、「1週間以上」は 6.6%である。一方「準備していない」も 16.4%である。



■ 性・年代別 食料・飲料水の備蓄状況

- ・ 性・年代別でみると、性別、年齢問わず「1日～3日未満」が最も多い。18～49歳の年代で「準備していない」の割合が高い傾向にある。

		合計	問33 家庭で災害に備えて準備している食料と飲料水				
			1日～3日未満	3日以上～1週間未満	1週間以上	準備していない	無記入
全体		1,714	44.5	31.2	6.6	16.4	1.3
性別	男性	669	43.6	30.8	7.0	18.2	0.3
	女性	986	45.8	31.7	6.5	14.6	1.3
年代	18～29歳	139	40.3	25.9	7.2	25.2	1.4
	30～39歳	170	45.3	25.3	4.1	25.3	0.0
	40～49歳	234	42.7	33.3	3.8	20.1	0.0
	50～59歳	294	48.3	29.9	5.4	15.6	0.7
	60～69歳	307	48.9	30.6	5.9	13.4	1.3
	70～79歳	365	41.9	36.4	9.0	11.2	1.4
	80歳以上	175	43.4	30.3	10.9	14.3	1.1

■ 同居の家族形態別 食料・飲料水の備蓄状況

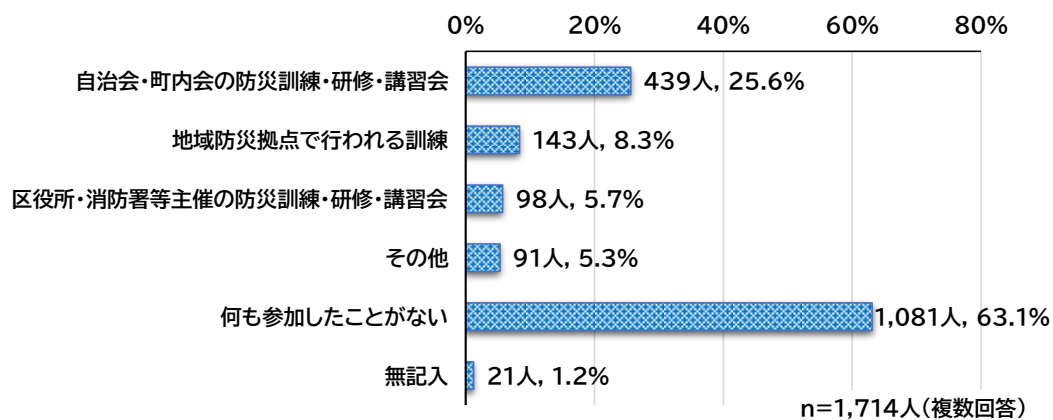
- ・ 同居の家族形態別でみると、いずれも「1日～3日未満」が最も多い。“単身(一人暮らし)”では「準備していない」の割合が2割を超えている。

		合計	問33 家庭で災害に備えて準備している食料と飲料水				
			1日～3日未満	3日以上～1週間未満	1週間以上	準備していない	無記入
全体		1,714	44.5	31.2	6.6	16.4	1.3
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	262	40.8	29.0	5.7	23.3	1.1
	夫婦・パートナーと二人暮らし	522	42.9	37.0	7.5	11.5	1.1
	2世代(親と子)	735	48.3	28.7	5.7	17.0	0.3
	3世代(親と子と孫)	116	42.2	26.7	12.1	16.4	2.6
	その他	35	40.0	25.7	5.7	25.7	2.9

防災に関する訓練や研修会などへの参加状況(問 34)

問 34 過去5年間で、防災に関する訓練や研修会などに参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

- ・「何も参加したことがない」が63.1%と最も多く、6割を超えている。参加したことがある活動では「自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会」が25.6%で最も多い。



■ 性・年代別 防災に関する訓練や研修会などへの参加状況

- ・ 性・年代別でみると、性別、年齢問わず「何も参加したことがない」が最も多い。また、40代以下の年代で「何も参加したことがない」、70代以上の年代で「自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問34 過去5年間に参加したことがある防災に関する訓練や研修会					
			自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会	地域防災拠点で行われる訓練	区役所・消防署等主催の防災訓練・研修・講習会	その他	何も参加したことがない	無記入
全体		1,714	25.6	8.3	5.7	5.3	63.1	1.2
性別	男性	669	23.9	9.0	6.4	6.0	64.6	0.3
	女性	986	27.4	7.9	5.3	5.1	62.0	1.1
年代別	18～29歳	139	5.8	5.0	5.8	8.6	79.9	0.7
	30～39歳	170	5.3	2.4	5.3	6.5	82.9	0.0
	40～49歳	234	13.2	5.6	3.0	8.5	73.1	0.0
	50～59歳	294	24.5	6.1	4.4	5.8	66.0	0.0
	60～69歳	307	29.3	7.5	6.8	6.5	59.0	1.0
	70～79歳	365	40.5	12.6	4.7	1.9	50.4	1.6
	80歳以上	175	41.7	16.0	11.4	2.3	49.1	1.7

■ 住居形態別・居住期間別・就業形態別 防災に関する訓練や研修会などへの参加状況

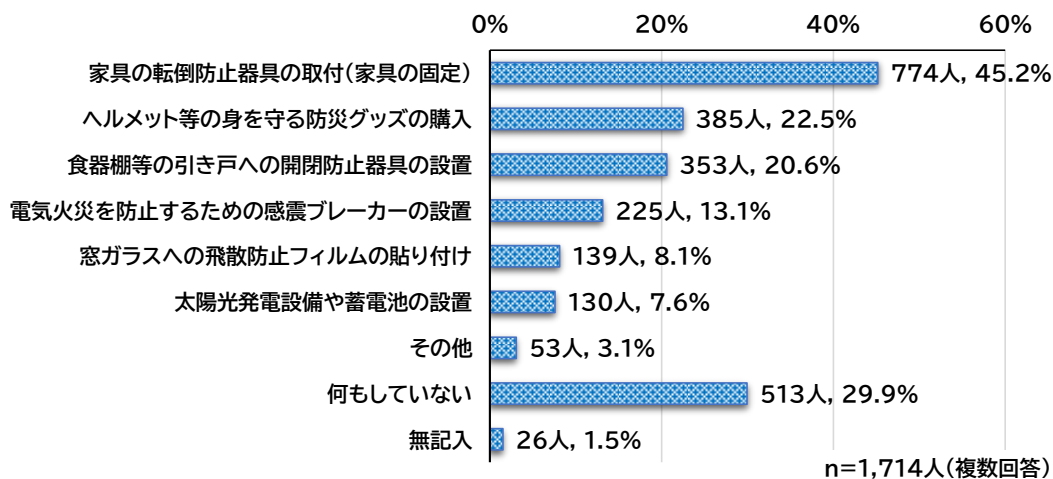
- ・ 住居形態別でみると、「自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会」については、持家が借家と比べて数値が高くなっている。
- ・ 保土ヶ谷区への居住期間別でみると、「自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会」については、居住期間が長くなるほど参加の割合は高くなる傾向にある。また、「5年未満」では「何も参加したことがない」の数値が全体値より高くなっている。
- ・ 就業形態別でみると、「自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会」については、「主婦・主夫」の数値は全体値より高くなっている。また、「学生」では「何も参加したことがない」の数値が全体より高くなっている。

		合計	問34 過去5年間に参加したことがある防災に関する訓練や研修会					
			自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会	地域防災拠点で行われる訓練	区役所・消防署等主催の防災訓練・研修・講習会	その他	何も参加したことがない	無記入
全体		1,714	25.6	8.3	5.7	5.3	63.1	1.2
住居形態	持家(一戸建て)	850	26.6	8.8	4.8	4.5	62.9	1.2
	持家(マンション・共同住宅)	446	34.3	8.3	7.2	6.7	53.8	0.7
	借家(一戸建て)	24	12.5	8.3	12.5	0.0	79.2	0.0
	借家(マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など)	362	14.4	7.2	5.8	5.2	74.3	0.8
	その他	16	12.5	6.3	0.0	18.8	68.8	0.0
保土ヶ谷区 の居住 期間	5年未満	214	6.5	5.1	3.7	6.1	82.2	0.5
	5年～10年未満	147	13.6	6.1	4.8	6.1	72.1	1.4
	10年～15年未満	129	27.9	2.3	7.0	6.2	59.7	1.6
	15年～20年未満	143	19.6	4.9	4.9	10.5	67.1	0.0
	20年～30年未満	326	28.8	7.1	4.3	5.5	62.3	0.9
	30年～40年未満	245	31.8	9.8	4.5	2.9	60.8	0.8
	40年以上	496	33.5	12.9	8.3	4.0	54.2	1.2
就業形態	自営業	90	27.8	4.4	2.2	4.4	66.7	1.1
	会社員	853	19.1	5.7	5.6	7.7	68.2	0.2
	無職	374	31.6	10.2	6.1	1.9	59.6	1.3
	学生	45	8.9	6.7	2.2	11.1	75.6	0.0
	主婦・主夫	277	39.0	13.4	6.5	2.5	51.3	1.8
	その他	38	21.1	15.8	10.5	2.6	65.8	2.6

家庭における災害発生時の対策(問 35)

問 35 あなたのご家庭では、災害発生時に命を守るために、どのような対策をしていますか。
(〇はいくつでも)

- ・「家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)」が 45.2%で最も多い。また「何もしていない」も 29.9%と、3割近くが挙げている。以下「ヘルメット等の身を守る防災グッズの購入」(22.5%)、「食器棚等の引き戸への開閉防止器具の設置」(20.6%)などとなっている。



■ 性・年代別 災害発生時の対策

- ・年代別でみると、“30～39歳”では「何もしていない」が最も多い。“30～39歳”以外の年代では「家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)」が最も多い。“80歳以上”で「電気火災を防止するための感震ブレーカーの設置」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問35 家庭で災害発生時に命を守るためにとっている対策								
			付家具(家具の転倒防止器具の取付(家具の固定))	閉食器棚等の引き戸への開閉防止器具の設置	フ窓イルラスへの貼り付け	防ヘルメットの購入	の電気火災を防止するための感震ブレーカーの設置	の太陽光発電設備や蓄電池の設置	その他	何もしていない	無記入
	全体	1,714	45.2	20.6	8.1	22.5	13.1	7.6	3.1	29.9	1.5
性別	男性	669	47.4	17.8	7.6	23.2	14.1	7.8	2.4	32.0	0.7
	女性	986	44.2	22.5	8.5	22.2	12.3	7.3	3.7	28.7	1.4
年代	18～29歳	139	44.6	20.1	5.8	15.8	9.4	7.9	2.2	35.3	0.7
	30～39歳	170	31.8	12.4	3.5	24.1	3.5	7.6	4.1	40.0	0.0
	40～49歳	234	37.2	20.1	3.8	22.6	5.6	9.4	3.4	35.9	1.3
	50～59歳	294	48.3	22.1	5.4	15.3	8.2	8.8	3.7	29.3	0.0
	60～69歳	307	48.9	21.5	7.8	24.4	13.7	7.8	3.3	25.7	1.6
	70～79歳	365	49.6	20.8	12.6	27.4	19.5	6.8	2.7	26.8	1.9
	80歳以上	175	51.4	26.3	15.4	25.1	28.6	3.4	1.7	24.0	1.7

■ 同居の家族形態別 災害発生時の対策

- ・同居の家族形態別でみると、“単身(一人暮らし)”では「何もしていない」、「単身(一人暮らし)」以外の同居の家族形態では「家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)」が最も多い。また、“単身(一人暮らし)”で「何もしていない」や“3世代(親と子と孫)”で「家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)」、「食器棚等の引き戸への開閉防止器具の設置」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問35 家庭で災害発生時に命を守るためにとっている対策								
			付家具(家具の転倒防止器具の取付(家具の固定))	閉食器棚等の引き戸への開閉防止器具の設置	フ窓イルラスへの貼り付け	防ヘルメットの購入	の電気火災を防止するための感震ブレーカーの設置	の太陽光発電設備や蓄電池の設置	その他	何もしていない	無記入
	全体	1,714	45.2	20.6	8.1	22.5	13.1	7.6	3.1	29.9	1.5
同居の家族形態	単身(一人暮らし)	262	29.4	8.8	5.0	24.8	9.5	3.1	4.2	42.4	1.9
	夫婦・パートナーと二人暮らし	522	51.3	20.9	10.3	26.6	16.7	7.3	3.4	23.9	1.3
	2世代(親と子)	735	45.2	22.9	7.1	18.4	10.2	9.0	2.7	32.1	0.5
	3世代(親と子と孫)	116	56.9	33.6	12.1	21.6	16.4	9.5	2.6	19.8	0.9
	その他	35	45.7	22.9	5.7	31.4	28.6	8.6	2.9	22.9	0.0

9 花と緑・環境に対する意識について

結果のポイント

◆「ほどがや花憲章」の認知度

- ・『名称』を知っているが約2割。

◆「花と緑のあふれる魅力ある街」のイメージ

- ・「駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている」が約5割で最も多い。

◆環境に配慮した行動の取組（「いつもしている」「たまにしている」の計）

- ・「いつもしている」、「たまにしている」の計が最も多いのは、『ごみの分別をする』。

n=1,714(複数回答)

1	ごみの分別をする	98.2%
2	買い物時にマイバッグを持参する	94.2%
3	食べ残し・食材の無駄を減らす	92.5%

◆環境に配慮した行動の取組

- ・「今後してみたい」が最も多いのは、『フードドライブに参加する』。

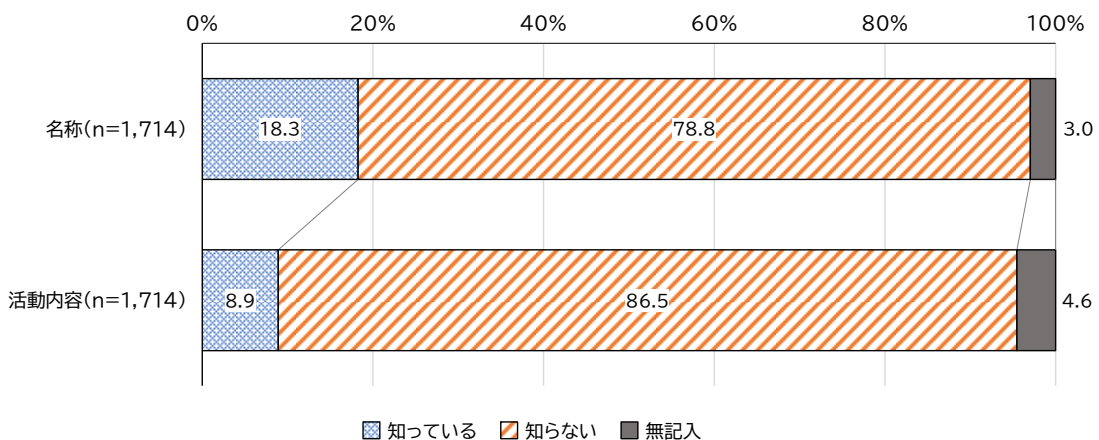
n=1,714(複数回答)

1	フードドライブに参加する	70.1%
2	花や木、緑のカーテンなどの植物を育てる	39.5%
3	横浜産・ほどがや産の野菜・果物・製品を選んで購入する	36.9%

「ほどがや花憲章」の認知度(問 36)

問 36 あなたは、「ほどがや花憲章^{※1}」を知っていますか。(各項目それぞれ〇は1つだけ)

- ・「知らない」が多く、『名称』では 78.8%、『活動内容』では 86.5%が「知らない」としている。
- ・『名称』では2割近くが「知っている」(18.3%)としているものの、『活動内容』では9割近くが「知らない」(86.5%)としており、認知度は低い。



※1 保土ヶ谷区では、平成10年に市内で唯一となる「ほどがや花憲章」を制定して以来、地域・学校・事業者の方々とともに連携しながら「花と緑のあふれる魅力ある街」づくりを進めています。

■ 性・年代別 「ほどがや花憲章」の認知度

- ・ 性・年代別でみると、性別、年齢問わず、『名称』、『活動内容』ともに「知らない」の方が多く、認知度は低い。

<名称>

- ・ 男女とも「知らない」の方が多く、特に“男性”は“女性”より高くなっている。
- ・ いずれの年代でも「知らない」の方が多く、“30～39 歳”では数値が全体値を大きく上回っている。

<活動内容>

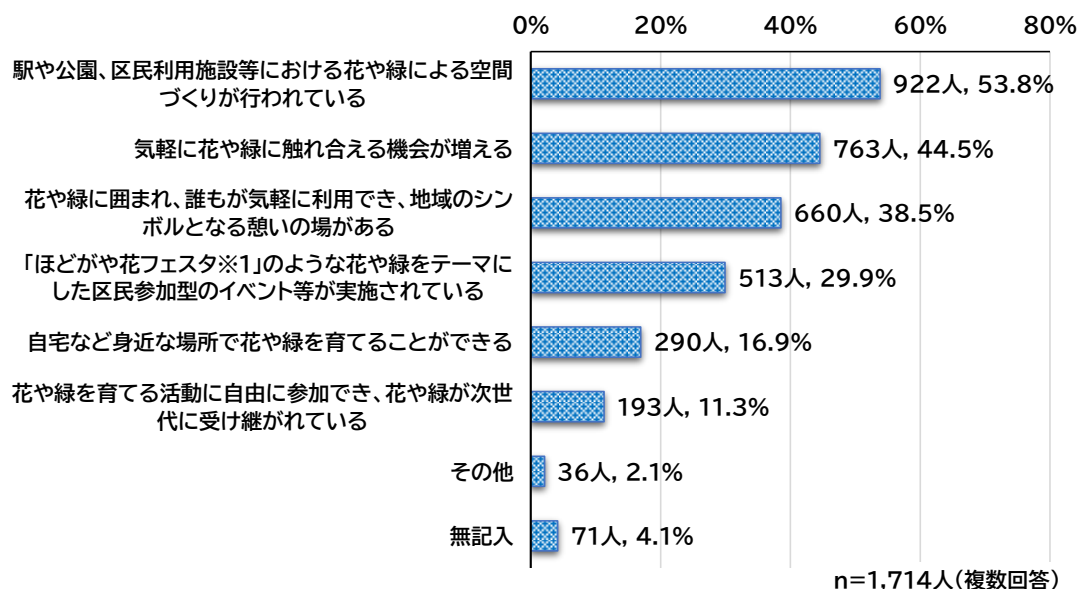
- ・ いずれの年代でも「知らない」の方が多く、50 代以下の年代では8割以上が知らないとしている。

		合計	問36 ア 名称			問36 イ 活動内容		
			知っている	知らない	無記入	知っている	知らない	無記入
全体		1,714	18.3	78.8	3.0	8.9	86.5	4.6
性別	男性	669	13.6	84.3	2.1	6.7	89.7	3.6
	女性	986	21.7	75.7	2.6	10.8	85.0	4.3
年代	18～29歳	139	11.5	87.1	1.4	2.9	95.7	1.4
	30～39歳	170	10.6	89.4	0.0	4.7	94.7	0.6
	40～49歳	234	13.7	84.2	2.1	3.4	94.4	2.1
	50～59歳	294	14.6	84.4	1.0	5.8	93.2	1.0
	60～69歳	307	20.8	77.5	1.6	11.1	86.6	2.3
	70～79歳	365	26.0	69.6	4.4	14.2	79.7	6.0
	80歳以上	175	22.9	70.9	6.3	14.9	69.1	16.0

「花と緑のあふれる魅力ある街」のイメージ(問 37)

問 37 「花と緑のあふれる魅力ある街」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。(○は3つまで)

- ・「駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている」が 53.8%で最も多い。次いで「気軽に花や緑に触れ合える機会が増える」が 44.5%である。以下「花や緑に囲まれ、誰もが気軽に利用でき、地域のシンボルとなる憩いの場がある」(38.5%)、「『ほどがや花フェスタ※¹』のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている」(29.9%)などとなっている。



※1 ほどがや花フェスタとは:「ほどがや花憲章」に基づき、「花と緑のあふれる魅力ある街」づくりを進めるため、毎年5月に星川中央公園で開催している区民参加型のイベントです。

■ 性・年代別「花と緑のあふれる魅力ある街」のイメージ

- 性別でみると、男女とも「駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている」が最も多い。“女性”は『『ほどがや花フェスタ※1』のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている』が“男性”より高くなっている。
- 年代別でみると、“18～29歳”、“80歳以上”では「気軽に花や緑に触れ合える機会が増える」が最も多く、30～79歳の年代では「駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている」が最も多い。また、“80歳以上”では「自宅など身近な場所で花や緑を育てることができる」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問37「花と緑のあふれる魅力ある街」と聞いたイメージ							
			気軽に花や緑に触れ合える機会が増える	駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている	「ほどがや花フェスタ※1」のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている	「ほどがや花フェスタ※1」のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている	花や緑に囲まれ、誰もが気軽に利用できる、地域のシンボルとなる憩いの場がある	花や緑を育てる活動に自由に参加でき、花や緑が次世代に受け継がれている	自宅など身近な場所で花や緑を育てることができる	その他
性別	全体	1,714	44.5	53.8	29.9	38.5	11.3	16.9	2.1	4.1
	男性	669	46.0	51.3	24.4	36.9	10.2	17.0	2.5	3.6
	女性	986	43.7	56.2	34.2	39.8	12.2	15.9	1.8	3.8
年代	18～29歳	139	55.4	49.6	12.9	43.9	12.9	10.8	4.3	1.4
	30～39歳	170	39.4	61.8	25.9	40.0	12.4	11.2	1.8	2.4
	40～49歳	234	43.6	59.4	24.4	34.6	8.1	10.3	0.9	3.4
	50～59歳	294	39.5	57.5	35.0	43.5	12.2	9.5	2.4	1.0
	60～69歳	307	45.6	55.7	33.2	34.9	12.7	16.6	2.6	2.0
	70～79歳	365	42.7	54.0	36.2	38.1	10.4	23.8	1.6	5.5
	80歳以上	175	52.6	36.0	27.4	39.4	11.4	31.4	1.7	12.0

■ 子育てステージ別「花と緑のあふれる魅力ある街」のイメージ

- 子育てステージ別でみると、いずれの世帯も「駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている」が最も多い。

		合計	問37「花と緑のあふれる魅力ある街」と聞いたイメージ							
			気軽に花や緑に触れ合える機会が増える	駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている	「ほどがや花フェスタ※1」のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている	「ほどがや花フェスタ※1」のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている	花や緑に囲まれ、誰もが気軽に利用できる、地域のシンボルとなる憩いの場がある	花や緑を育てる活動に自由に参加でき、花や緑が次世代に受け継がれている	自宅など身近な場所で花や緑を育てることができる	その他
子育てステージ1	全体	1,714	44.5	53.8	29.9	38.5	11.3	16.9	2.1	4.1
	家族形成期(末子-未就学児)	105	41.9	58.1	27.6	40.0	8.6	8.6	0.0	1.0
	家族成長前期(末子-小学生・中学生)	125	39.2	56.8	39.2	28.8	8.0	11.2	2.4	3.2
	家族成長後期(末子-高校生・大学生)	116	44.8	50.9	33.6	38.8	10.3	12.1	0.0	0.0
	家族成熟期(子育て終了)	745	44.2	53.2	35.2	38.5	11.0	21.9	1.6	4.2
	こどもなし	494	47.2	59.5	19.6	42.5	13.6	12.6	3.4	2.2

※子育てステージ1区分は、報告書P5参照

環境に配慮した行動(問 38)

問 38 次のア～サの各項目にあげた環境に配慮した行動について、どの程度取り組んでいますか。
(各項目それぞれ〇は1つだけ)

- ・「いつもしている」、「たまにしている」を合わせると、『ごみの分別をする』(98.2%)、『買い物時にマイバッグを持参する』(94.2%)、『食べ残し・食材の無駄を減らす』(92.5%)、『家電や照明器具の使用時には節電を意識する』(91.4%)の4項目で9割を超える高い数値となっている。

<いつもしている>

- ・『ごみの分別をする』(96.4%)、『買い物時にマイバッグを持参する』(82.4%)などが多い。

<たまにしている>

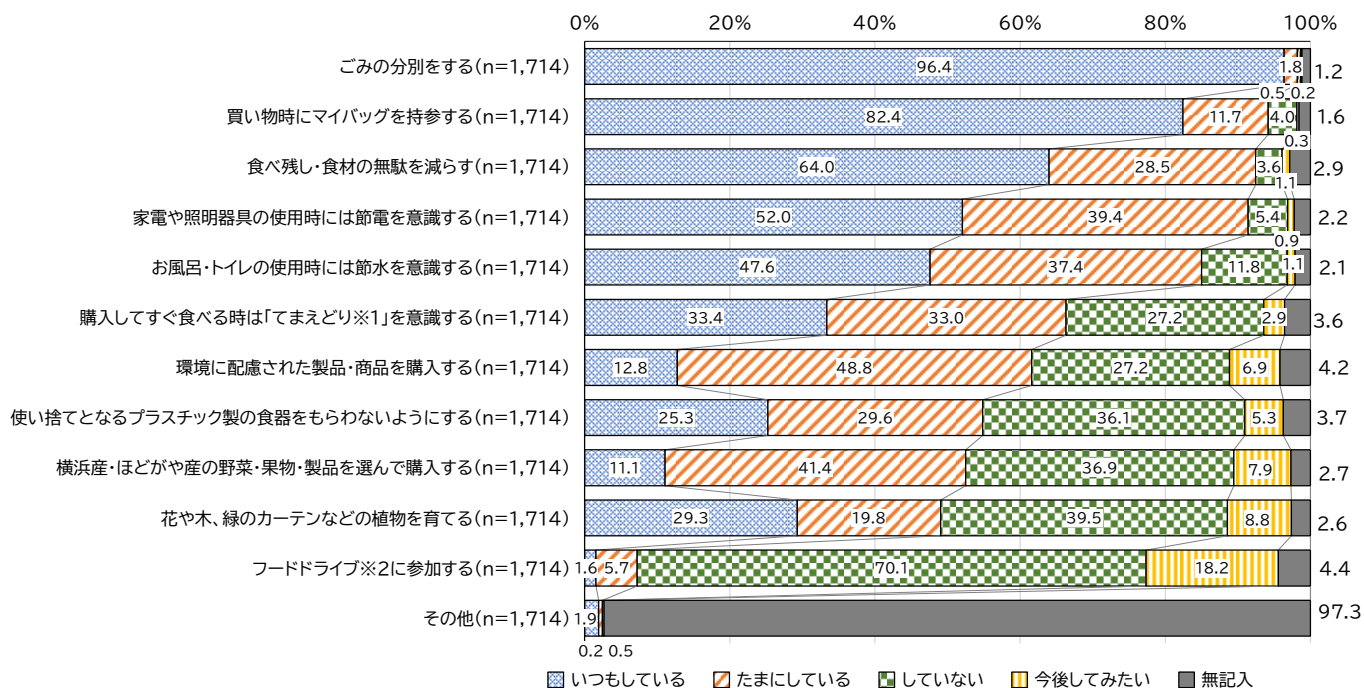
- ・『環境に配慮された製品・商品を購入する』(48.8%)、『横浜産・ほどがや産の野菜・果物・製品を選んで購入する』(41.4%)の2項目が最も多い。

<していない>

- ・『使い捨てとなるプラスチック製の食器をもらわないようにする』(36.1%)、『花や木、緑のカーテンなどの植物を育てる』(39.5%)、『フードドライブ※2に参加する』(70.1%)の3項目が最も多い。

<今後してみたい>

- ・最も多い項目はなかったが、数値が最も高かったのは『フードドライブ※2に参加する』の18.2%である。



※1 てまえどりとは:食品小売店舗などで、購入してすぐに食べるときは陳列棚の手前にある商品を選ぶことです。

※2 フードドライブとは:各家庭で使いきれない未使用食品をフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄附する活動のことです。

■ 性・年代別 環境に配慮した行動

<ごみの分別をする>

- ・ 性別、年齢問わず「いつもしている」が最も多く、属性による大きな差異はみられない。

<買い物時にマイバッグを持参する>

- ・ 性別、年齢問わず「いつもしている」が最も多く、“女性”は“男性”より高くなっている。

		合計	問38 ア ごみの分別をする					問38 イ 買い物時にマイバッグを持参する				
			いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入	いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入
全体		1,714	96.4	1.8	0.5	0.2	1.2	82.4	11.7	4.0	0.3	1.6
性別	男性	669	97.0	1.2	0.9	0.1	0.7	73.7	17.0	7.3	0.4	1.5
	女性	986	96.6	2.2	0.2	0.2	0.8	88.4	8.5	1.9	0.2	0.9
年代	18～29歳	139	90.6	7.9	0.7	0.7	0.0	64.7	28.1	6.5	0.7	0.0
	30～39歳	170	93.5	4.7	0.6	0.6	0.6	79.4	16.5	4.1	0.0	0.0
	40～49歳	234	95.7	3.4	0.4	0.0	0.4	76.9	16.2	6.4	0.0	0.4
	50～59歳	294	98.6	0.7	0.3	0.3	0.0	84.7	10.2	4.8	0.3	0.0
	60～69歳	307	98.7	0.7	0.0	0.0	0.7	89.6	7.5	2.0	0.0	1.0
	70～79歳	365	98.1	0.0	0.5	0.0	1.4	86.8	7.9	3.0	0.3	1.9
	80歳以上	175	96.0	0.0	1.1	0.0	2.9	82.3	7.4	3.4	1.1	5.7

<使い捨てとなるプラスチック製の食器をもらわないようにする>

- ・ 性別、年齢問わず「していない」が最も多い。“女性”は“男性”より「いつもしている」、「たまにしている」の数値が高い。
- ・ “18～29歳”では「していない」の数値が全体値を大きく上回っている。

<食べ残し・食材の無駄を減らす>

- ・ 性別、年齢問わず「いつもしている」が最も多い。

		合計	問38 ウ 使い捨てとなるプラスチック製の食器をもらわないようにする					問38 エ 食べ残し・食材の無駄を減らす				
			いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入	いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入
全体		1,714	25.3	29.6	36.1	5.3	3.7	64.0	28.5	3.6	1.1	2.9
性別	男性	669	22.3	28.0	42.3	4.6	2.8	66.5	25.3	4.8	0.9	2.5
	女性	986	27.8	30.9	32.2	5.6	3.5	62.7	30.7	2.9	1.2	2.4
年代	18～29歳	139	16.5	28.8	48.2	6.5	0.0	71.2	25.9	2.9	0.0	0.0
	30～39歳	170	22.9	29.4	40.6	6.5	0.6	62.9	30.6	4.7	1.2	0.6
	40～49歳	234	23.1	28.6	42.7	5.6	0.0	65.0	26.5	6.8	1.3	0.4
	50～59歳	294	26.5	33.3	34.4	5.1	0.7	65.6	28.9	3.1	2.0	0.3
	60～69歳	307	26.4	31.6	33.6	6.5	2.0	60.9	31.9	3.6	1.3	2.3
	70～79歳	365	27.9	29.3	31.2	4.4	7.1	63.8	28.2	2.5	0.5	4.9
	80歳以上	175	28.6	23.4	33.1	3.4	11.4	63.4	25.1	2.9	0.6	8.0

<購入してすぐ食べる時は「たまえどり※1」を意識する>

- ・ “男性”は「いつもしている」、「女性」は「たまにしている」が最も多い。
- ・ 50 代以下の年代では「いつもしている」、「60～79 歳」では「たまにしている」、「80 歳以上」では「していない」が最も多い。「18～29 歳」では「いつもしている」の数値が全体値を大きく上回っている。

<フードドライブ※2に参加する>

- ・ 性別、年齢を問わず「していない」が最も多い。「女性」は「今後してみたい」が「男性」より高くなっている。

		合計	問38 オ 購入してすぐ食べる時は「たまえどり※1」を意識する					問38 カ フードドライブ※2に参加する				
			いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入	いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入
	全体	1,714	33.4	33.0	27.2	2.9	3.6	1.6	5.7	70.1	18.2	4.4
性別	男性	669	32.4	29.9	30.8	3.6	3.3	1.3	3.7	76.7	15.2	3.0
	女性	986	34.2	35.1	25.5	2.3	2.9	1.7	6.7	66.5	20.6	4.5
年代	18～29歳	139	49.6	25.9	21.6	2.9	0.0	2.2	5.8	63.3	28.1	0.7
	30～39歳	170	38.8	32.4	23.5	4.7	0.6	2.9	5.3	71.2	19.4	1.2
	40～49歳	234	34.2	33.8	28.6	2.6	0.9	1.3	5.6	69.2	23.5	0.4
	50～59歳	294	37.8	31.6	28.6	2.0	0.0	1.0	7.1	68.4	23.5	0.0
	60～69歳	307	31.6	35.2	28.3	3.3	1.6	1.0	5.5	76.9	15.3	1.3
	70～79歳	365	27.1	37.5	28.8	1.6	4.9	1.6	3.6	73.4	13.7	7.7
	80歳以上	175	24.0	26.9	29.1	4.0	16.0	1.7	7.4	62.9	9.7	18.3

<環境に配慮された製品・商品を購入する>

- ・ 性別、年齢を問わず「たまにしている」が最も多く、特に“女性”は“男性”より高くなっている。
- ・ “18～29 歳”では「していない」の数値が全体値を大きく上回っている。

<横浜産・ほどがや産の野菜・果物・製品を選んで購入する>

- ・ “男性”は「していない」が最も多く、“女性”の数値を大きく上回っている。“女性”は「たまにしている」が最も多い。
- ・ 40 代以下の年代では「していない」が最も多く、数値も全体値を大きく上回っている。50 代以上の年代では「たまにしている」が最も多い。
- ・ 「いつもしている」は年齢が高いほど割合が高く、「今後してみたい」は年齢が低いほど割合が高い。

		合計	問38 キ 環境に配慮された製品・商品を購入する					問38 ク 横浜産・ほどがや産の野菜・果物・製品を選んで購入する				
			いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入	いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入
	全体	1,714	12.8	48.8	27.2	6.9	4.2	11.1	41.4	36.9	7.9	2.7
性別	男性	669	11.1	44.5	34.4	7.0	3.0	6.4	31.2	50.5	9.3	2.5
	女性	986	14.0	52.0	23.0	7.0	4.0	14.0	48.4	28.5	7.0	2.1
年代	18～29歳	139	3.6	44.6	42.4	8.6	0.7	2.9	20.1	59.7	16.5	0.7
	30～39歳	170	10.6	48.8	31.2	8.2	1.2	4.1	32.4	50.0	12.9	0.6
	40～49歳	234	6.8	48.3	35.9	9.0	0.0	6.0	39.3	48.3	6.4	0.0
	50～59歳	294	8.2	53.4	32.0	6.1	0.3	7.5	46.3	36.7	9.5	0.0
	60～69歳	307	14.7	53.1	22.5	7.8	2.0	11.1	51.1	30.6	5.9	1.3
	70～79歳	365	18.6	51.2	18.1	5.5	6.6	18.9	45.8	26.0	4.9	4.4
	80歳以上	175	22.3	35.4	21.7	5.1	15.4	19.4	36.0	29.1	5.7	9.7

<家電や照明器具の使用時には節電を意識する>

- ・ 男女とも「いつもしている」が最も多く、“女性”は“男性”より高くなっている。“男性”は「たまにしている」が“女性”より高くなっている。
- ・ 30 代以下の年代では「たまにしている」、40 代以上の年代では「いつもしている」が最も多い。

<お風呂・トイレの使用時には節水を意識する>

- ・ 男女とも「いつもしている」が最も多く、女性は男性より高くなっている。男性は「たまにしている」が女性より高くなっている。
- ・ 40 代以下の年代では「たまにしている」、50 代以上の年代では「いつもしている」が最も多い。

		合計	問38 ケ 家電や照明器具の使用時には節電を意識する					問38 コ お風呂・トイレの使用時には節水を意識する				
			いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入	いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入
性別	全体	1,714	52.0	39.4	5.4	0.9	2.2	47.6	37.4	11.8	1.1	2.1
	男性	669	46.9	43.0	6.4	1.3	2.2	43.8	41.0	12.3	1.3	1.6
	女性	986	55.8	37.1	4.9	0.7	1.5	50.4	35.2	11.7	1.0	1.7
年代	18～29歳	139	39.6	45.3	12.9	2.2	0.0	38.1	43.2	16.5	2.2	0.0
	30～39歳	170	38.2	52.9	8.2	0.0	0.6	31.2	49.4	17.1	1.8	0.6
	40～49歳	234	45.3	43.6	8.5	1.7	0.9	40.2	41.5	16.7	1.3	0.4
	50～59歳	294	56.1	39.1	3.7	1.0	0.0	48.6	37.8	12.2	1.0	0.3
	60～69歳	307	54.7	40.1	3.6	0.3	1.3	50.2	40.1	7.8	1.0	1.0
	70～79歳	365	58.9	34.0	3.3	0.5	3.3	58.4	29.3	8.2	0.8	3.3
	80歳以上	175	59.4	28.0	3.4	1.7	7.4	54.9	28.0	9.7	0.6	6.9

<花や木、緑のカーテンなどの植物を育てる>

- ・ 男女とも「していない」が最も多い。“女性”は「いつもしている」が“男性”より高くなっている。
- ・ 60 代以下の年代では「していない」、70 代以上の年代では「いつもしている」が最も多い。

		合計	問38 サ 花や木、緑のカーテンなどの植物を育てる					問38 シ その他				
			いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入	いつもしている	たまにしている	していない	今後してみたい	無記入
性別	全体	1,714	29.3	19.8	39.5	8.8	2.6	1.9	0.5	0.0	0.2	97.3
	男性	669	25.6	21.4	43.8	7.3	1.9	2.4	1.0	0.0	0.4	96.1
	女性	986	31.3	18.5	37.7	10.0	2.4	1.7	0.1	0.0	0.1	98.1
年代	18～29歳	139	15.1	13.7	56.1	15.1	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	98.6
	30～39歳	170	16.5	15.3	47.6	20.0	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	98.8
	40～49歳	234	22.6	20.5	46.2	9.8	0.9	2.1	1.3	0.0	0.4	96.2
	50～59歳	294	22.4	22.8	45.2	9.2	0.3	4.8	0.7	0.0	0.0	94.6
	60～69歳	307	35.5	18.2	38.4	6.8	1.0	1.3	0.7	0.0	0.3	97.7
	70～79歳	365	40.8	23.0	27.9	4.4	3.8	1.6	0.0	0.0	0.5	97.8
	80歳以上	175	36.0	19.4	30.3	4.6	9.7	1.1	0.0	0.0	0.0	98.9

10 区制 100 周年について

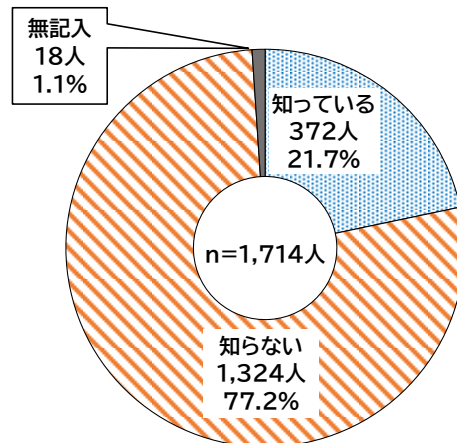
結果のポイント

- ◆区制 100 周年の認知度
 - ・「知っている」が約2割。
- ◆次の 100 年にも残したいと思う保土ヶ谷区の魅力
 - ・「緑豊かな自然を感じられる環境」が約8割と性別、年齢を問わず突出して最も多い。
- ◆区制 100 周年に向けて期待している取組
 - ・「子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施」が約3割で最も多い。

区制 100 周年の認知度(問 39)

問 39 保土ヶ谷区は令和9年(2027 年)^{※1}に区制 100 周年を迎えます。区制 100 周年を迎えることを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「知っている」が 21.7%、「知らない」が 77.2%で、「知らない」が全体の4分の3以上を占めている。



※1 令和9年は、横浜市に区制がしかれたとともに、保土ヶ谷区が誕生して 100 周年となる節目の年です。

■ 性・年代別 区制 100 周年の認知度

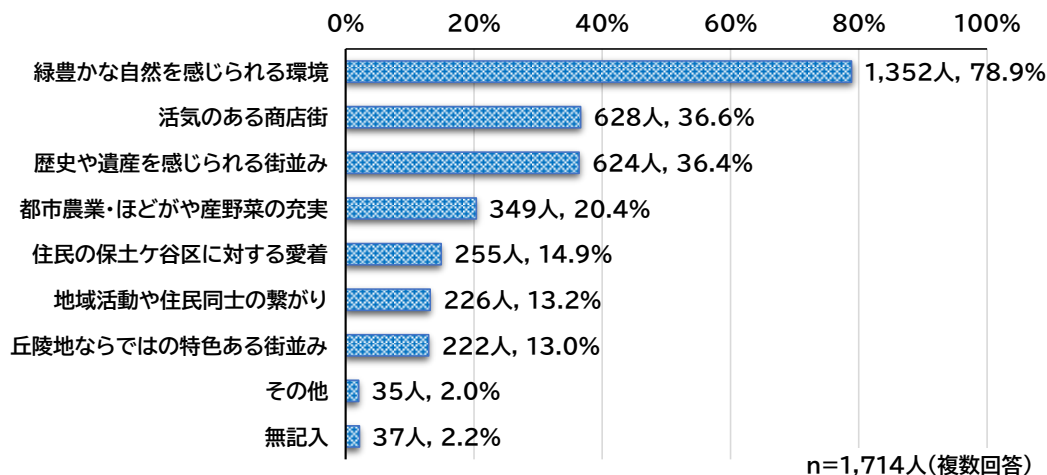
- ・ 性・年代別でみると、性別、年齢問わず「知らない」の方が多く、30 代以下の年代では「知らない」の数値が全体値を大きく上回って9割近くに達しており、特に若年層での認知度が低い。

		合計	問39 保土ヶ谷区が令和9年に区制100周年を迎えることの認知度		
			知っている	知らない	無記入
全体		1,714	21.7	77.2	1.1
性別	男性	669	22.6	77.0	0.4
	女性	986	21.5	77.6	0.9
年代別	18~29歳	139	10.1	89.9	0.0
	30~39歳	170	11.8	88.2	0.0
	40~49歳	234	16.7	83.3	0.0
	50~59歳	294	22.4	77.6	0.0
	60~69歳	307	25.1	73.9	1.0
	70~79歳	365	27.7	71.2	1.1
	80歳以上	175	28.0	69.1	2.9

次の100年にも残したいと思う保土ケ谷区の魅力(問40)

問40 あなたが次の100年にも残したいと思う保土ケ谷区の魅力は何ですか。(〇は3つまで)

- ・「緑豊かな自然を感じられる環境」が78.9%で、突出して多くなっている。次いで「活気のある商店街」が36.6%、「歴史や遺産を感じられる街並み」が36.4%でほぼ並ぶ。



■ 性・年代別 居住地域別 次の100年にも残したい保土ケ谷区の魅力

- ・ 性・年代別でみると、性別、年齢問わず「緑豊かな自然を感じられる環境」が最も多い。また、“女性”は「都市農業・ほどがや産野菜の充実」が“男性”より高くなっている。“30～39歳”では「活気のある商店街」の数値が全体値を大きく上回っている。
- ・ 地域別でみると、いずれの地域も「緑豊かな自然を感じられる環境」が最も多い。また、“狩場・瀬戸ケ谷・岩井地域”では「歴史や遺産を感じられる街並み」の数値が全体値より高くなっている。

		合計	問40 次の100年にも残したいと思う保土ケ谷区の魅力								
			緑豊かな自然を感じられる環境	歴史や遺産を感じられる街並み	活気のある商店街	都市農業・ほどがや産野菜の充実	丘陵地ならではの特色ある街並み	住民の保土ケ谷区に対する愛着	地域活動や住民同士の繋がり	その他	無記入
全体		1714	78.9	36.4	36.6	20.4	13.0	14.9	13.2	2.0	2.2
性別	男性	669	77.9	37.7	39.3	12.7	13.9	17.6	10.8	2.4	1.6
	女性	986	80.3	35.5	35.2	25.1	12.8	13.1	14.9	1.7	2.0
年代別	18～29歳	139	67.6	23.0	39.6	7.2	6.5	22.3	9.4	4.3	1.4
	30～39歳	170	75.9	30.0	48.2	17.1	12.4	12.4	7.6	4.7	1.8
	40～49歳	234	74.4	32.1	40.2	19.7	12.8	9.4	8.5	2.1	1.3
	50～59歳	294	82.7	40.8	31.6	21.4	15.0	10.5	12.2	1.0	1.0
	60～69歳	307	80.8	44.6	31.3	24.8	11.4	14.7	12.4	2.9	1.3
	70～79歳	365	84.1	39.5	36.4	23.3	15.6	15.3	17.5	0.8	2.7
	80歳以上	175	80.0	32.0	37.7	18.3	14.3	24.6	22.3	0.6	3.4
居住地域	地域1	270	78.9	31.1	38.9	21.1	13.3	13.3	13.7	2.2	3.0
	地域2	370	83.2	38.1	41.4	19.7	12.7	17.6	13.5	1.6	1.1
	地域3	274	75.2	45.3	28.5	15.0	16.8	17.2	10.6	1.5	1.8
	地域4	223	78.5	52.0	36.8	15.2	11.7	17.5	7.6	1.3	0.4
	地域5	383	76.0	28.5	35.0	24.0	10.4	11.7	17.8	3.1	4.4
	地域6	184	84.2	26.1	38.0	26.1	14.1	11.4	13.6	1.6	1.1

※居住地域区分は、報告書P9参照

■ 子育てステージ別 次の100年にも残したい保土ヶ谷区の魅力

- ・ 子育てステージ別で見ると、いずれのステージでも「緑豊かな自然を感じられる環境」が最も多く、未就学児のいる世帯では「活気のある商店街」が全体値を大きく上回っている。

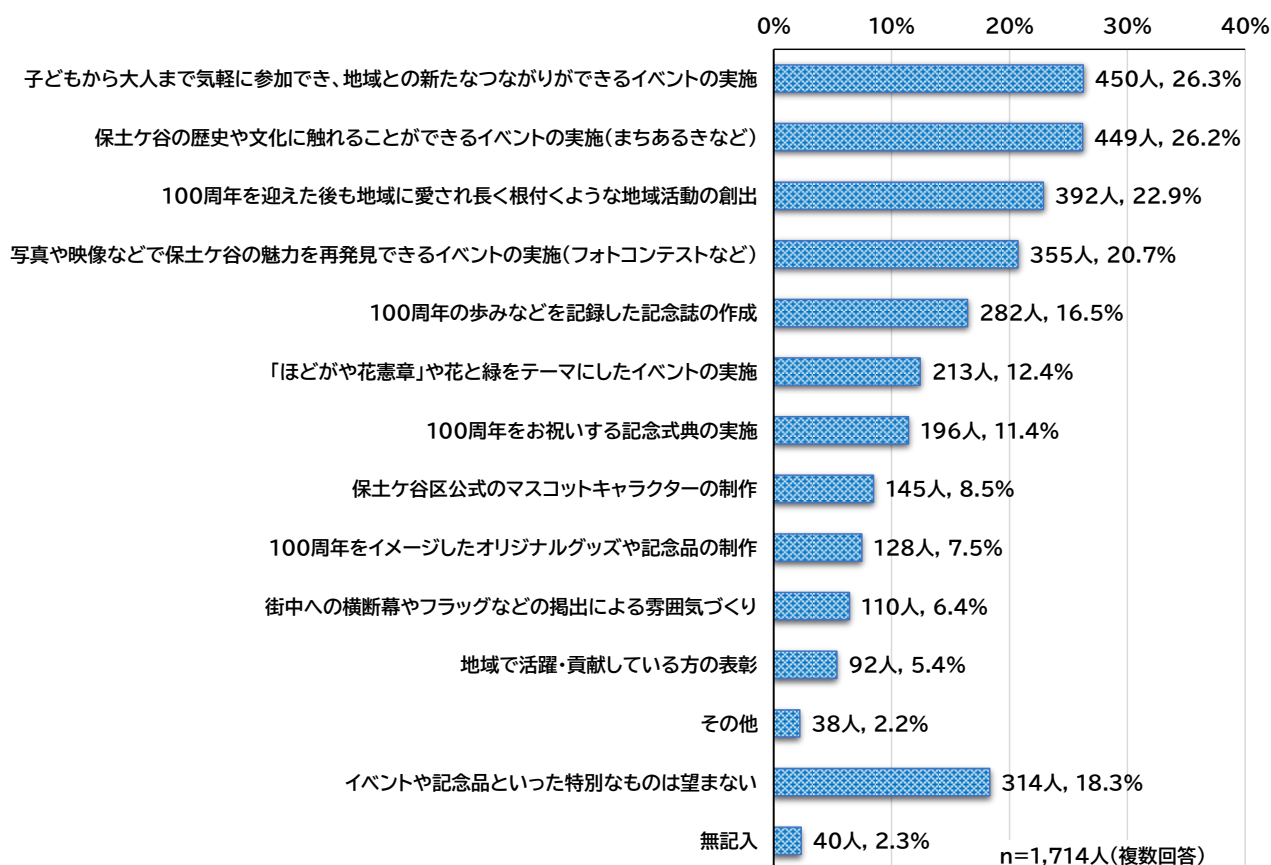
	合計	問40 次の100年にも残したいと思う保土ヶ谷区の魅力									
		緑豊かな自然を感じられる環境	歴史や遺産を感じられる街並み	活気のある商店街	都市農業・ほどがや産野菜の充実	丘陵地ならではの特色ある街並み	住民の保土ヶ谷区に対する愛着	地域活動や住民同士の繋がり	その他	無記入	
全体	1714	78.9	36.4	36.6	20.4	13.0	14.9	13.2	2.0	2.2	
子育てステージ1	家族形成期(未子-未就学児)	105	82.9	25.7	50.5	19.0	6.7	8.6	10.5	1.9	0.0
	家族成長前期(未子-小学生・中学生)	125	79.2	26.4	41.6	18.4	13.6	20.0	13.6	1.6	1.6
	家族成長後期(未子-高校生・大学生)	116	83.6	45.7	31.9	23.3	15.5	12.9	7.8	1.7	0.9
	家族成熟期(子育て終了)	745	82.8	40.7	34.8	22.8	13.7	14.4	17.3	1.1	2.0
	こどもなし	494	72.9	34.4	36.6	17.2	13.2	14.6	8.1	3.8	1.4

※子育てステージ1区分は、報告書P5参照

区制 100 周年に向けて、期待する取組(問 41)

問 41 区制 100 周年に向けた取組として、期待するものは何ですか。(〇は3つまで)

- ・「子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施」が 26.3%で最も多い。次いで「保土ヶ谷の歴史や文化に触れることができるイベントの実施(まちあるきなど)」が 26.2%と僅差で続いており、上位2項目はイベントの実施となっている。以下「100 周年を迎えた後も地域に愛され長く根付くような地域活動の創出」(22.9%)、「写真や映像などで保土ヶ谷の魅力を再発見できるイベントの実施(フォトコンテストなど)」(20.7%)と続く。



■ 性・年代別 区制100周年に向けて、期待する取り組み

- ・性別でみると、“男性”は「保土ヶ谷の歴史や文化に触れることができるイベントの実施(まちあるきなど)」が最も多い。“女性”は「子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施」が最も多い。
- ・年代別でみると、“18～29歳”は「イベントや記念品といった特別なものは望まない」が最も多く、30～59歳までの年代では「子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施」、「80歳以上」では「100周年の歩みなどを記録した記念誌の作成」が最も多く、回答は分散した。

		問41 区制100周年に向けた取組として、期待するもの																	
合計		一〇〇周年を祝いする記念式典の実施	一〇〇周年の歩みなどを記録した記念誌の作成	一〇〇周年をイメージしたオリジナルグッズや記念品の制作	一〇〇周年をイメージしたオリジナルグッズや記念品の制作	保土ヶ谷区公式のキャラクターの制作	保土ヶ谷区公式のキャラクターの制作	写真や映像などで保土ヶ谷の魅力や歴史を再発見できるイベントの実施(フォトコンテストなど)	写真や映像などで保土ヶ谷の魅力や歴史を再発見できるイベントの実施(まちあるきなど)	保土ヶ谷の歴史や文化に触れることができるイベントの実施	加えて、地域との新たなつながりができるイベントの実施	子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施	一〇〇周年を迎えた後も地域に愛され長く根付くような地域活動の創出	一〇〇周年を迎えた後も地域に愛され長く根付くような地域活動の創出	街中への横断幕やフラッグなどの掲出による雰囲気づくり	地域で活躍・貢献している方の表彰	その他	イベントや記念品といった特別なものは望まない	無記入
	全体	1,714	11.4	16.5	7.5	8.5	20.7	26.2	26.3	12.4	22.9	6.4	5.4	2.2	18.3	2.3			
性別	男性	669	14.2	18.5	9.0	9.7	20.8	26.6	20.5	8.4	23.6	6.0	5.5	2.2	20.0	1.2			
	女性	986	9.9	15.0	6.6	7.6	21.0	26.5	30.7	15.2	22.5	6.7	5.2	2.3	16.9	2.3			
年代	18～29歳	139	15.1	7.9	12.9	13.7	18.0	13.7	18.0	10.1	10.8	8.6	8.6	3.6	23.0	1.4			
	30～39歳	170	13.5	12.4	13.5	14.1	14.7	16.5	37.1	10.6	11.8	12.9	2.9	2.4	16.5	0.0			
	40～49歳	234	11.1	6.4	7.3	9.8	16.2	22.2	29.5	8.5	16.7	8.1	6.8	3.4	24.8	0.4			
	50～59歳	294	12.2	11.6	9.5	9.9	19.7	26.2	26.5	11.6	22.1	8.5	5.1	2.4	21.8	0.7			
	60～69歳	307	10.1	13.7	4.6	6.8	23.1	35.8	23.5	15.3	22.1	5.2	3.9	1.3	20.2	2.6			
	70～79歳	365	7.9	26.6	4.4	4.1	28.2	31.5	26.0	15.1	35.3	2.7	5.2	1.6	10.4	2.7			
	80歳以上	175	16.0	30.9	5.7	7.4	17.7	24.6	23.4	13.1	29.1	3.4	6.3	2.3	15.4	5.1			

■ 子育てステージ別 区制100周年に向けて期待する取り組み

- ・子育てステージ別でみると、子育て中の世帯では「子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施」が最も多く、子育てを終えた世帯では「保土ヶ谷の歴史や文化に触れることができるイベントの実施(まちあるきなど)」が、子どものいない世帯では「イベントや記念品といった特別なものは望まない」が最も多い。
- ・未就学児、小学生・中学生のいる世帯では、「子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施」の割合が全体値を大きく上回っている。

		問41 区制100周年に向けた取組として、期待するもの																	
合計		一〇〇周年を祝いする記念式典の実施	一〇〇周年の歩みなどを記録した記念誌の作成	一〇〇周年をイメージしたオリジナルグッズや記念品の制作	一〇〇周年をイメージしたオリジナルグッズや記念品の制作	保土ヶ谷区公式のキャラクターの制作	保土ヶ谷区公式のキャラクターの制作	写真や映像などで保土ヶ谷の魅力や歴史を再発見できるイベントの実施(フォトコンテストなど)	写真や映像などで保土ヶ谷の魅力や歴史を再発見できるイベントの実施(まちあるきなど)	保土ヶ谷の歴史や文化に触れることができるイベントの実施	加えて、地域との新たなつながりができるイベントの実施	子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施	一〇〇周年を迎えた後も地域に愛され長く根付くような地域活動の創出	一〇〇周年を迎えた後も地域に愛され長く根付くような地域活動の創出	街中への横断幕やフラッグなどの掲出による雰囲気づくり	地域で活躍・貢献している方の表彰	その他	イベントや記念品といった特別なものは望まない	無記入
	全体	1714	11.4	16.5	7.5	8.5	20.7	26.2	26.3	12.4	22.9	6.4	5.4	2.2	18.3	2.3			
子育てステージ1	家族形成期(末子・未就学児)	105	11.4	2.9	7.6	10.5	13.3	18.1	52.4	16.2	15.2	10.5	3.8	1.0	17.1	0.0			
	家族成長前期(末子・小学生・中学生)	125	15.2	9.6	12.0	10.4	14.4	16.0	40.8	8.8	13.6	11.2	8.0	4.8	20.0	1.6			
	家族成長後期(末子・高校生・大学生)	116	13.8	10.3	7.8	8.6	21.6	25.9	29.3	11.2	19.8	5.2	1.7	1.7	19.0	1.7			
	家族成熟期(子育て終了)	745	10.1	21.3	4.2	6.4	24.2	32.9	25.5	15.6	29.7	4.8	4.6	1.7	15.3	2.3			
	子どもなし	494	11.1	13.2	10.7	10.5	20.2	22.3	18.4	9.5	17.2	7.9	6.3	3.0	22.9	1.2			

※子育てステージ1区分は、報告書P5を参照

11 スマートフォンの使用状況について

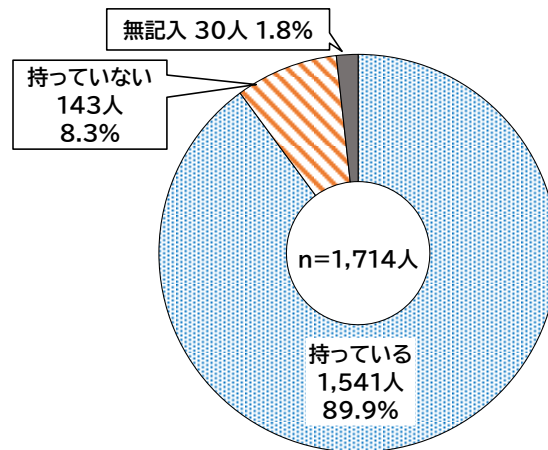
結果のポイント

- ◆スマートフォンの所有率
 - ・「持っている」が約9割。
- ◆スマートフォンの『今後、使用してみたいと思う機能』
 - ・「電子申請による行政手続き等」が3割以上で最も多い。

スマートフォンの所有率(問 42)

問 42 スマートフォンを持っていますか。(○は1つだけ)

- ・「持っている」が89.9%と、約9割を占めている。「持っていない」は8.3%で、1割に満たない。



■ 性・年代別 スマートフォンの所有率

- ・性・年代別で見ると、いずれの性別、年代でも「持っている」の方が多く、60代以下の年代では9割以上、70代でも8割を超えている。また、“80歳以上”では「持っていない」の数値が4割近くに達し、全体値を大きく上回っている。

		合計	問42 スマートフォンを持っているか		
			持っている	持っていない	無記入
	全体	1,714	89.9	10.1	0.0
性別	男性	669	90.6	9.4	0.0
	女性	986	91.6	8.4	0.0
年代別	18～29歳	139	98.6	1.4	0.0
	30～39歳	170	98.2	1.8	0.0
	40～49歳	234	97.0	3.0	0.0
	50～59歳	294	98.6	1.4	0.0
	60～69歳	307	97.4	2.6	0.0
	70～79歳	365	85.8	14.2	0.0
	80歳以上	175	58.9	41.1	0.0

スマートフォンの『現在、使用している機能』、『今後、使用してみたいと思う機能』(問 42-1)

問 42-1 ア 現在、使用している機能は何ですか。(〇はいくつでも)

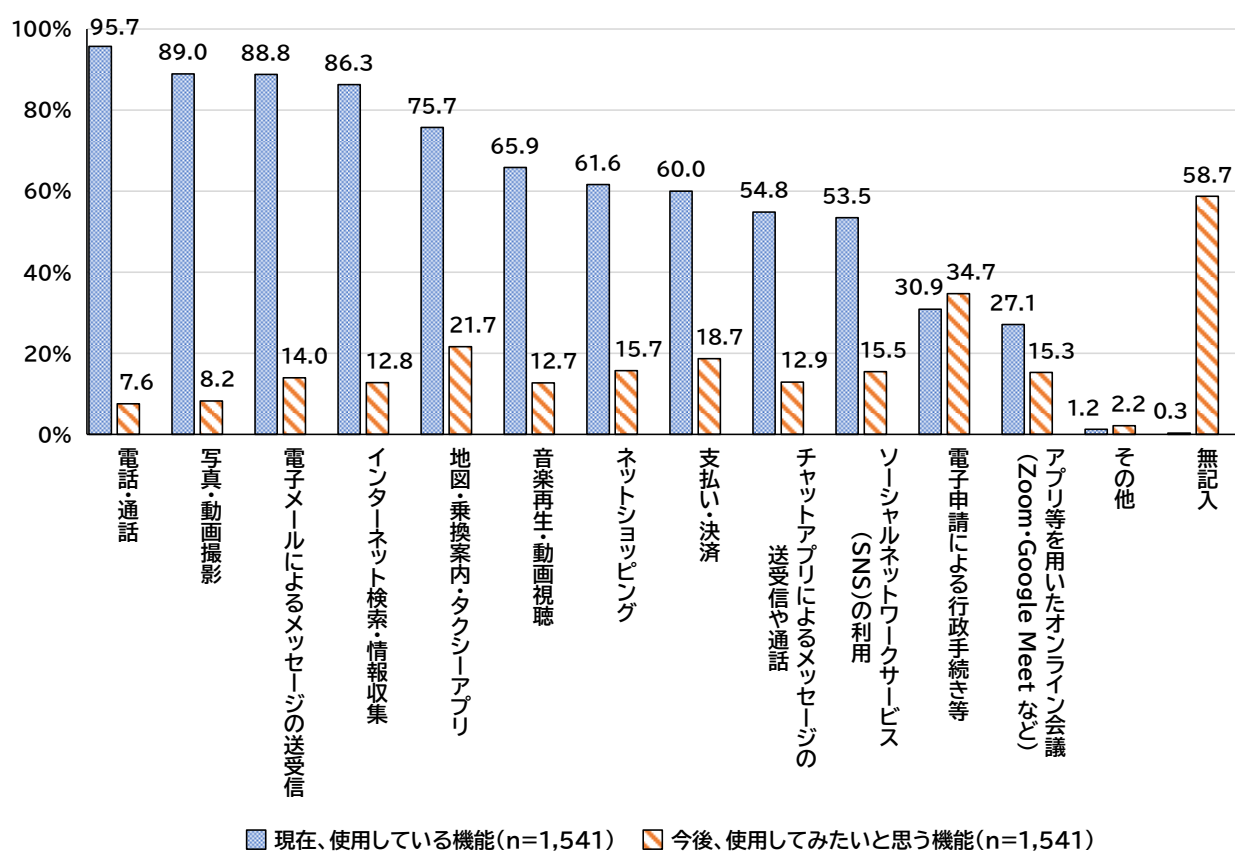
イ 今後、使用してみたいと思う機能は何ですか。(〇はいくつでも)

<現在、使用している機能>

- ・「電話・通話」が95.7%で最も多い。続く「写真・動画撮影」(89.0%)、「電子メールによるメッセージの送受信」(88.8%)、「インターネット検索・情報収集」(86.3%)も9割近い高い数値となっている。最も数値の低い「アプリ等を用いたオンライン会議(Zoom・Google Meet など)」でも27.1%となっており、使用している機能は多岐に渡っている。

<今後、使用してみたいと思う機能>

- ・「電子申請による行政手続き等」が34.7%で最も多い。次いで「地図・乗換案内・タクシーアプリ」(21.7%)、「支払い・決済」(18.7%)と続く。



■ 性・年代別 スマートフォンの機能

<現在、使用している機能>

- ・ 性別でみると、男女とも「電話・通話」が最も多い。また、「女性」は「男性」より「写真・動画撮影」の数値が高くなっている。
- ・ 年代別でみると、「18～29 歳」では「インターネット検索・情報収集」、30 代以上の年代では「電話・通話」が最も多い。また、50 代以下の年代では、多くの項目で全体値を大きく上回っており、スマートフォンの利用目的は多岐に渡っている。

<今後、使用してみたいと思う機能>

- ・ 性別、年齢を問わず「電子申請による行政手続き等」が最も多く、特に「男性」は「女性」より高くなっているほか、若い年代ほど数値が高い。

		問42-1 ア 現在、使用している機能																
		合計	電話・通話	電子メールの送受信	メッセージの送受信や通話	チャットアプリによる通信	ソーシャルネットワークのリンク	インターネット検索・情報収集	ネットショッピング	音楽再生・動画視聴	写真・動画撮影	支払い・決済	地図・乗換案内・タクシーアプリ	電子申請による行政手続き等	会議(Zoom・Google Meet など)	アプリ等を用いたオンライン	その他	無記入
	全体	1,143	97.2	88.9	48.1	46.6	83.6	55.3	61.2	88.8	53.5	73.0	25.3	24.7	1.2	0.4		
性別	男性	423	96.7	87.7	48.7	44.4	85.6	53.7	60.8	83.9	54.8	70.0	26.0	27.0	1.7	0.5		
	女性	697	97.7	89.8	47.6	47.9	82.6	56.2	61.7	92.0	52.7	74.9	24.7	23.5	0.9	0.3		
年代	18～29歳	81	96.3	87.7	86.4	93.8	97.5	90.1	96.3	95.1	90.1	91.4	59.3	63.0	2.5	0.0		
	30～39歳	94	96.8	89.4	80.9	78.7	94.7	90.4	92.6	92.6	85.1	88.3	60.6	57.4	1.1	0.0		
	40～49歳	139	97.1	94.2	71.9	69.1	95.0	84.2	84.9	92.8	77.7	84.9	39.6	42.4	1.4	0.0		
	50～59歳	192	96.4	95.8	58.9	56.3	95.3	76.6	78.1	93.8	66.7	85.4	31.3	26.0	0.5	0.5		
	60～69歳	236	99.2	93.2	42.4	40.7	89.8	49.6	55.1	91.1	51.3	75.8	20.8	17.8	1.3	0.0		
	70～79歳	297	98.0	85.5	24.6	23.6	71.7	25.3	38.4	84.2	28.6	59.9	5.4	7.4	1.7	0.7		
	80歳以上	100	94.0	69.0	16.0	11.0	44.0	15.0	20.0	74.0	14.0	35.0	3.0	3.0	0.0	1.0		

		問42-1 イ 今後、使用してみたいと思う機能																
		合計	電話・通話	電子メールの送受信	メッセージの送受信や通話	チャットアプリによる通信	ソーシャルネットワークのリンク	インターネット検索・情報収集	ネットショッピング	音楽再生・動画視聴	写真・動画撮影	支払い・決済	地図・乗換案内・タクシーアプリ	電子申請による行政手続き等	会議(Zoom・Google Meet など)	アプリ等を用いたオンライン	その他	無記入
	全体	1,541	16.9	17.1	17.1	18.0	17.1	18.4	16.9	16.0	19.5	19.1	32.8	17.4	2.4	46.1		
性別	男性	606	18.6	18.8	21.0	21.0	18.5	21.1	18.6	17.0	21.0	20.5	37.3	18.8	2.8	41.4		
	女性	903	15.6	15.7	14.6	16.1	16.1	16.7	15.8	15.2	18.6	18.2	30.2	16.3	2.0	49.4		
年代	18～29歳	137	21.9	22.6	21.9	20.4	21.9	22.6	22.6	20.4	23.4	24.1	42.3	25.5	5.1	42.3		
	30～39歳	167	25.1	23.4	25.1	26.3	25.1	26.3	22.8	23.4	28.1	26.9	40.7	22.8	4.2	38.9		
	40～49歳	227	19.4	19.8	19.4	22.5	20.3	19.8	18.9	20.3	22.5	20.7	35.2	22.0	4.0	44.1		
	50～59歳	290	19.7	20.0	19.3	21.4	19.0	20.0	19.7	19.7	21.0	22.1	38.3	18.6	1.7	39.0		
	60～69歳	299	14.0	14.4	15.1	13.4	14.4	15.1	15.7	12.7	17.7	17.4	33.8	17.4	2.3	45.2		
	70～79歳	313	10.5	10.9	11.5	12.5	11.2	15.0	11.5	8.0	14.4	14.4	23.0	10.2	0.6	55.6		
	80歳以上	103	10.7	11.7	9.7	11.7	10.7	12.6	7.8	11.7	9.7	7.8	13.6	5.8	0.0	62.1		

12 保土ケ谷区の広報について

結果のポイント

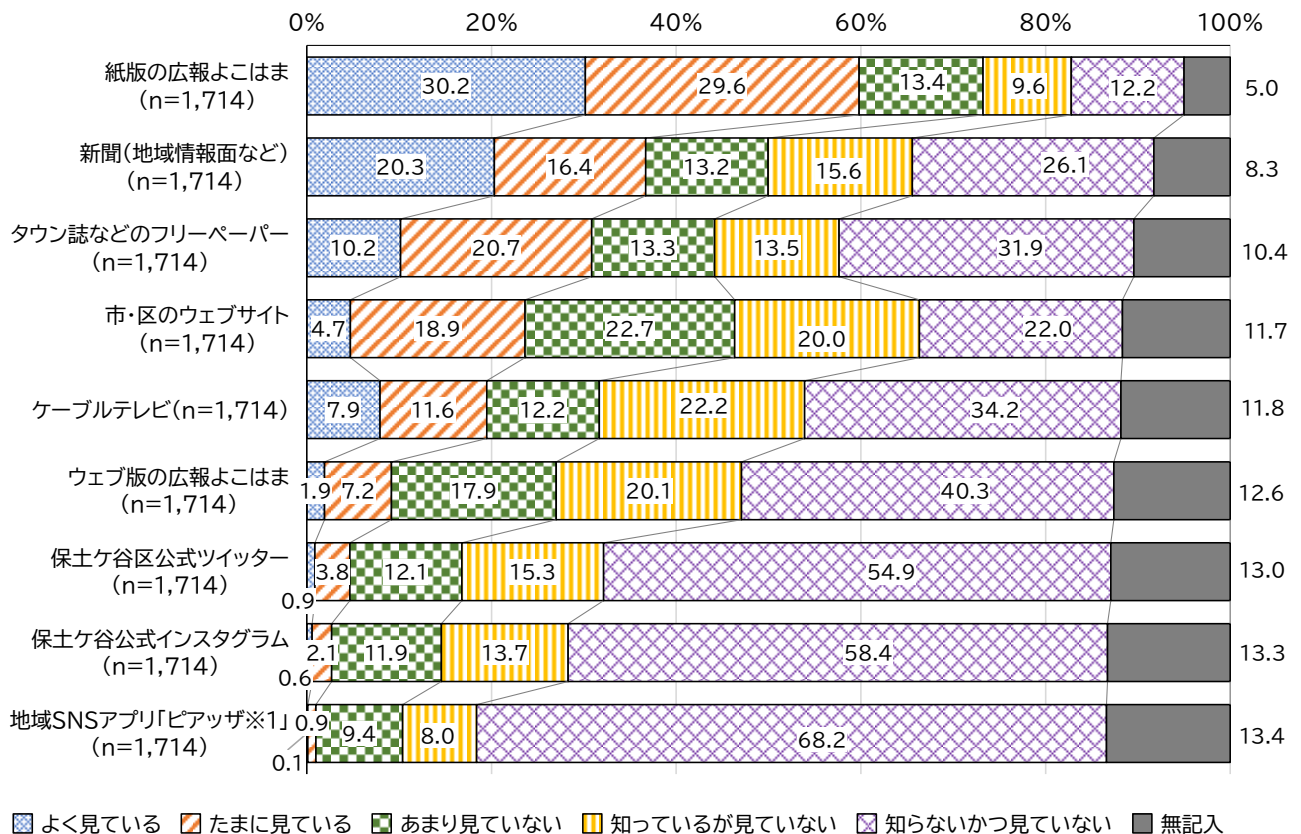
◆市役所や区役所からの情報の入手媒体

- ・「よく見ている」、「たまに見ている」の計が最も多いのは、『紙版の広報よこはま』。

市役所や区役所の情報を入力するときに見ている媒体(問 43)

問 43 普段、市役所や区役所の情報を入力するとき、次の媒体をそれぞれどのくらい見えていますか。
(各項目それぞれ〇は1つだけ)

- ・「よく見ている」が最も多くなっているのは『紙版の広報よこはま』(30.2%)のみである。『市・区のウェブサイト』では「あまり見えていない」(22.7%)が最も多く、それ以外は「知らないかつ見えていない」が最も多くなっている。特に「保土ケ谷区公式ツイッター」、「保土ケ谷公式インスタグラム」、「地域 SNS アプリ『ピアッツァ』」では「知らないかつ見えていない」が5割を超えており、SNSの認知度が低くなっている。



※1 ピアッツァとは:利用者同士で、イベントや子育てなど日常生活に関する情報交換などが行える地域密着型の SNS アプリのことです。

■ 性・年代別 情報を入手する際にしている媒体

<市・区のウェブサイト>

- ・ 性別で見ると、“男性”は「あまり見ていない」が最も多く、“女性”は「あまり見ていない」、「知らないかつ見ていない」が同率で最も多い。
- ・ 年代別にみると、“18～29 歳”では「知っているが見ていない」が最も多く、“30～39 歳”は「たまに見ている」、「40～69 歳”では「あまり見ていない」、70 代以上の年代では「知らないかつ見ていない」が最も多い。

<紙版の広報よこはま>

- ・ 性別で見ると“男性”は「たまに見ている」が最も多い。“女性”は「よく見ている」が最も多く、“男性”より高くなっている。
- ・ 年代別にみると、“18～29 歳”では「知らないかつ見ていない」、30～69 歳では「たまに見ている」、70 代以上の年代では「よく見ている」が最も多い。

		合計	問43 ア 市・区のウェブサイト						問43 イ 紙版の広報よこはま					
			よく見ている	たまに見ている	あまり見ていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入	よく見ている	たまに見ている	あまり見ていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入
全体		1,714	4.7	18.9	22.7	20.0	22.0	11.7	30.2	29.6	13.4	9.6	12.2	5.0
性別	男性	669	4.8	20.9	25.1	19.9	22.4	6.9	24.2	27.4	17.8	10.3	16.4	3.9
	女性	986	4.7	18.1	21.8	20.8	21.8	12.9	35.2	31.9	10.9	9.3	9.2	3.4
年代	18～29歳	139	4.3	14.4	17.3	33.1	30.2	0.7	2.9	19.4	14.4	21.6	41.0	0.7
	30～39歳	170	7.6	27.1	22.4	17.6	24.7	0.6	8.8	30.6	20.0	12.4	28.2	0.0
	40～49歳	234	3.8	21.4	31.2	21.4	20.9	1.3	17.5	35.9	16.7	12.8	15.8	1.3
	50～59歳	294	2.7	25.2	29.6	19.7	22.1	0.7	22.4	36.4	18.4	10.9	10.9	1.0
	60～69歳	307	5.2	21.2	27.7	20.8	17.3	7.8	32.2	35.5	14.7	9.1	4.9	3.6
	70～79歳	365	3.8	14.2	15.9	21.1	23.8	21.1	53.4	25.5	7.7	3.6	3.0	6.8
	80歳以上	175	8.6	9.1	12.0	9.7	21.1	39.4	52.6	20.6	5.1	5.7	4.6	11.4

<ウェブ版の広報よこはま、保土ヶ谷区公式ツイッター、保土ヶ谷公式インスタグラム、地域 SNS アプリ「ピアッサ※1」>

- ・ 年代別にみると、いずれの年代でも「知らないかつ見ていない」が最も多く、50代以下の年代では「知らないかつ見ていない」の数値が全体値を上回っている。

		合計	問43 ウェブ版の広報よこはま					問43 エ 保土ヶ谷区公式ツイッター						
			よく見ている	たまに見ている	あまり見えていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入	よく見ている	たまに見ている	あまり見えていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入
	全体	1,714	1.9	7.2	17.9	20.1	40.3	12.6	0.9	3.8	12.1	15.3	54.9	13.0
性別	男性	669	1.3	7.9	20.8	20.9	40.4	8.7	0.7	4.9	14.8	13.9	57.0	8.7
	女性	986	2.4	6.9	16.5	20.1	41.1	13.0	1.0	3.1	10.9	17.0	54.4	13.6
年代	18～29歳	139	1.4	2.9	10.1	16.5	68.3	0.7	0.7	3.6	5.8	14.4	74.8	0.7
	30～39歳	170	1.2	7.1	17.1	16.5	57.1	1.2	0.0	7.1	7.1	15.9	69.4	0.6
	40～49歳	234	0.4	6.4	19.2	20.9	50.0	3.0	1.3	3.0	10.7	14.1	67.9	3.0
	50～59歳	294	0.7	7.1	23.1	21.4	45.6	2.0	0.3	3.1	15.3	13.3	66.3	1.7
	60～69歳	307	1.3	9.8	23.1	26.1	31.3	8.5	0.3	3.6	14.7	19.2	53.7	8.5
	70～79歳	365	3.6	8.2	16.7	22.2	28.2	21.1	1.1	3.3	16.7	17.8	38.9	22.2
	80歳以上	175	5.1	6.9	9.1	10.9	25.7	42.3	2.9	5.1	5.7	11.4	30.3	44.6

		合計	問43 オ 保土ヶ谷公式インスタグラム					問43 カ 地域SNSアプリ「ピアッサ※1」						
			よく見ている	たまに見ている	あまり見えていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入	よく見ている	たまに見ている	あまり見えていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入
	全体	1,714	0.6	2.1	11.9	13.7	58.4	13.3	0.1	0.9	9.4	8.0	68.2	13.4
性別	男性	669	0.4	2.2	14.5	12.6	61.0	9.3	0.1	1.3	11.2	7.6	70.3	9.4
	女性	986	0.7	2.0	10.6	15.1	57.7	13.8	0.1	0.6	8.6	8.5	68.3	13.9
年代	18～29歳	139	2.2	2.2	5.8	10.1	79.1	0.7	0.7	0.0	5.0	5.0	88.5	0.7
	30～39歳	170	1.2	3.5	6.5	14.1	74.1	0.6	0.0	0.0	7.1	6.5	85.9	0.6
	40～49歳	234	0.4	2.6	9.4	12.4	71.4	3.8	0.0	0.9	6.8	6.0	82.9	3.4
	50～59歳	294	0.3	1.7	13.3	11.9	71.1	1.7	0.0	1.4	7.5	6.1	83.3	1.7
	60～69歳	307	0.7	1.3	16.3	17.6	56.0	8.1	0.3	1.0	13.4	10.1	67.1	8.1
	70～79歳	365	0.3	1.9	16.2	16.4	42.2	23.0	0.0	1.1	13.4	11.2	51.0	23.3
	80歳以上	175	0.0	2.9	7.4	10.9	33.1	45.7	0.0	1.1	7.4	8.6	36.0	46.9

<タウン誌などのフリーペーパー>

- ・ 性別で見ると、男女とも「知らないかつ見ていない」が最も多く、“男性”は“女性”より高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、50代以下の年代と“80歳以上”では「知らないかつ見ていない」が最も多く、60～79歳では「たまに見ている」が最も多い。

<ケーブルテレビ>

- ・ 性・年代別で見ると、性別、年齢問わず「知らないかつ見ていない」が最も多く、“男性”は“女性”より高くなっている。また、30代以下の年代では「知らないかつ見ていない」の数値が全体値を大きく上回っている。

		合計	問43 キ タウン誌などのフリーペーパー					問43 ク ケーブルテレビ						
			よく見ている	たまに見ている	あまり見えていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入	よく見ている	たまに見ている	あまり見えていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	無記入
	全体	1,714	10.2	20.7	13.3	13.5	31.9	10.4	7.9	11.6	12.2	22.2	34.2	11.8
性別	男性	669	6.9	20.8	14.9	13.2	37.1	7.2	6.4	11.5	13.3	20.9	39.5	8.4
	女性	986	12.8	21.2	12.9	13.9	28.8	10.4	9.3	11.8	12.0	23.7	31.2	12.0
年代	18～29歳	139	1.4	10.8	10.1	16.5	60.4	0.7	4.3	9.4	12.9	20.9	51.8	0.7
	30～39歳	170	0.0	12.9	14.1	18.8	52.9	1.2	2.9	8.8	15.3	21.2	51.2	0.6
	40～49歳	234	3.4	24.8	12.4	17.9	38.5	3.0	4.7	9.0	14.5	26.5	42.7	2.6
	50～59歳	294	5.8	22.8	17.0	15.6	37.4	1.4	9.2	18.0	11.6	24.1	35.7	1.4
	60～69歳	307	10.7	27.4	14.7	14.0	26.7	6.5	9.8	12.1	13.4	27.4	30.6	6.8
	70～79歳	365	21.6	22.7	14.5	8.5	15.3	17.3	10.7	11.8	11.5	21.6	23.3	21.1
	80歳以上	175	18.9	13.1	7.4	7.4	19.4	33.7	9.7	8.0	8.0	10.9	23.4	40.0

<新聞(地域情報面など)>

- ・ 性別で見ると、男女とも「知らないかつ見ていない」が最も多く、“女性”は「よく見ている」が“男性”より高くなっている。
- ・ 年代別で見ると、50代以下の年代では「知らないかつ見ていない」、60代以上の年代では「よく見ている」が最も多い。

		合計	問43 ケ 新聞(地域情報面など)					無記入
			よく見ている	たまに見ている	あまり見えていない	知っているが見ていない	知らないかつ見ていない	
	全体	1,714	20.3	16.4	13.2	15.6	26.1	8.3
性別	男性	669	16.4	18.5	14.9	14.2	29.6	6.3
	女性	986	23.5	15.3	12.6	16.9	24.2	7.4
年代	18～29歳	139	2.9	10.1	18.0	23.7	44.6	0.7
	30～39歳	170	1.2	10.6	11.8	20.6	55.3	0.6
	40～49歳	234	6.8	12.8	13.7	25.6	38.0	3.0
	50～59歳	294	11.9	20.4	16.7	17.7	32.0	1.4
	60～69歳	307	23.8	20.8	17.3	14.3	18.6	5.2
	70～79歳	365	41.4	17.5	10.1	8.5	9.9	12.6
	80歳以上	175	36.0	17.1	6.3	6.9	8.6	25.1

IV. 調查票

あなたのご意見をお聞かせください

区民意識調査にご協力をお願いします！

この度、無作為抽出の結果、あなたは保土ヶ谷区民約 20 万人を代表する回答者 4,000 名のひとりとして選ばれました。この調査は、区民の皆さんの区政へのニーズ等を把握し、今後の区政運営に役立てるために行う、とても大切なものです。よりよいまちづくりのために、あなたの貴重なご意見をお聞かせください。

令和 5 年 6 月 保土ヶ谷区長

神部 浩

回答期限

令和 5 年 6 月 26 日 (月) まで

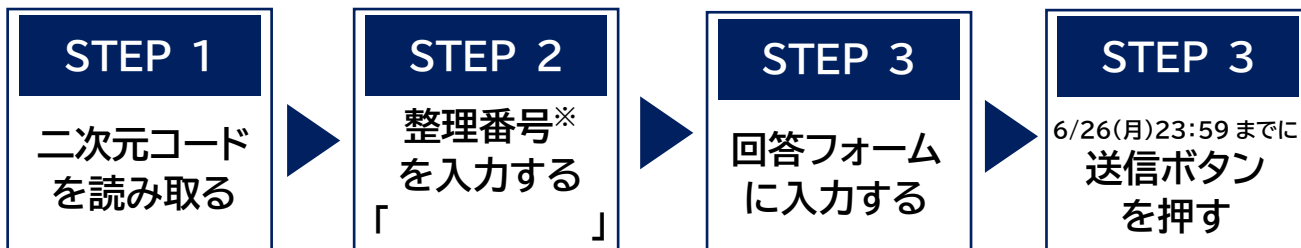
- この調査は、封筒の宛名のご本人がお答えください。
- 回答方法については、郵送かインターネットのいずれか1つをお選びください。
- 回答は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

▼回答方法▼

郵送で回答する場合



インターネットで回答する場合



※整理番号は1人が複数回答することを避けるためのものであり、個人の特定をするためのものではありません。

インターネット回答用 URL: <https://hodogaya-ishiki.city.yokohama.lg.jp/index.php/943765>

インターネット回答用
二次元コード



◆調査に関するお問い合わせ先◆

担当：保土ヶ谷区役所 区政推進課 企画調整係
電話：045-334-6227 FAX:045-333-7945
Eメール：ho-kumin@city.yokohama.jp

■ 保土ヶ谷区の魅力づくりについておたずねします。

問1 相鉄本線星川駅～天王町駅間の高架化^{※1}や相鉄・東急直通線の開業などにより、まちが大きく変化している中、これからのまちの魅力づくりに期待することは何ですか。

(○は3つまで)

- 1 多世代が集まり交流できる場づくり
(多様な世代・人が参加するイベントの開催、公園・空家等を活用した寄合所等)
- 2 自然を感じることができるスペースの創出
(オープンスペースの設置、帷子川など水辺の遊び場等)
- 3 工場跡地等、地域の歴史が感じられる空間づくり
(歴史を感じられる道路景観づくり、歴史看板の設置等)
- 4 安心して子育てできる環境の充実
(放課後・児童・生徒の居場所、情報発信掲示板・サイネージでの各種支援メニューの情報発信等)
- 5 日本人・外国人を問わず文化の多様性が感じられる住環境づくり
(多言語・やさしい日本語での情報発信、国際交流ラウンジと連携した異文化交流体験の実施等)
- 6 その他 (_____)
- 7 特に期待することはない

※1 保土ヶ谷区では、区民・事業者・行政が協働し、星川駅周辺地区の魅力向上を推進するための、まちづくりの基本的な考え方を整理した「星川駅周辺総合的なまちづくりガイドライン」を策定しています。

星川 ガイドライン



問2 保土ヶ谷区内の歴史的な魅力を感じるスポットはどれですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 保土ヶ谷本陣跡 ^{※1} | 7 帷子川沿いの工場跡地 |
| 2 旅籠本金子屋跡 ^{※2} | 8 保土ヶ谷カトリック教会 ^{※7} |
| 3 復元した一里塚と松並木・上方見附モニュメント ^{※3} | 9 洋館付き住宅 ^{※8} |
| 4 権太坂 | 10 その他
(_____) |
| 5 境木地蔵尊 ^{※4} ・北向地蔵 ^{※5} | |
| 6 御所台の井戸（政子の井戸） ^{※6} | 11 知っているものはない |

※1 保土ヶ谷本陣跡とは：江戸時代に公家や大名などが宿泊した幕府公認の旅館のことです。

※2 旅籠本金子屋跡とは：旅人を宿泊させる旅館として栄えました。現在の建物は明治時代初期に再建されたものです。

※3 復元した一里塚と松並木・上方見附モニュメントとは：平成19年、区民と横浜市の協働事業により、旧東海道を象徴する一里塚と松並木を再現しました。

※4 境木地蔵尊とは：江戸時代初期に創建され、旅の道中の安全を祈る旅人が多く参拝しました。

※5 北向地蔵とは：旅人に金沢方面と弘明寺方面を告げる役目を担っていました。平成元年に横浜市の文化財に登録されました。

※6 御所台の井戸（政子の井戸）とは：北条政子が化粧の際にこの井戸の水を使ったという言い伝えがあります。

※7 保土ヶ谷カトリック教会とは：昭和14年にフランス人神父が私財を投じて建築し、平成3年に横浜市の史跡名勝天然記念物に指定されました。

※8 洋館付き住宅とは：大正から昭和初期にかけて建てられた、玄関脇に三角屋根の洋館（洋間）がついた和風住宅のことです。

保土ヶ谷区内には、歴史的で魅力のある建物や遺構、地域の歴史・文化を身近に感じることができるスポットが数多くあります。

区役所ホームページで、旧東海道保土ヶ谷宿についてご紹介しています。



問2-1 問2で挙げた区の歴史的スポットに触れることができる取組として、興味を持つものはどれですか。 (○は3つまで)

1	歴史的スポットを巡るイベント（まちあるきなど）
2	楽しみながら学ぶイベント（クイズやスタンプラリー）
3	歴史に詳しい方と知り合える・交流ができるイベント
4	歴史などの知識を得られる講義形式のイベント
5	若年層に向けた取組（小学校への出前教室など）
6	オンラインでの取組（ツイッターでの発信や動画配信など）
7	多くの人が集まる場所でのパネル展示やパンフレットの配布
8	保土ヶ谷の歴史を紹介するコラムの連載
9	その他（_____）
10	特になし

■ 市の行政サービスについておたずねします。

問3 ア 市の行政サービスの中で満足しているサービスはどれですか。 (○はいくつでも)

イ 今後、充実してほしいと思うサービスはどれですか。 (○はいくつでも)

※「満足はしているが、もっと充実させてほしい」サービスの場合は、両方に○をつけてください。

	ア	イ
	満足している (○はいくつでも)	今後、充実してほしい (○はいくつでも)
1	バスや電車の利便性	
2	道路環境の整備	
3	公園・広場の整備	
4	緑地や水辺環境の整備	
5	最寄り駅周辺のまちづくり	
6	街並みや景観の整備	
7	商店街や産業振興など地域経済の活性化	
8	ごみ対策（分別収集・街の美化）や地球温暖化対策	
9	防災・災害対策	
10	子育て支援	
11	青少年の健全育成	
12	高齢者への福祉サービス	
13	障害児・者への福祉サービス	
14	経済的に困っている人への生活支援	
15	健康づくり支援	
16	区民利用施設の充実や市民文化の振興	
17	国際交流・外国人住民との交流や異文化体験	

■ 定住意向や保土ヶ谷区への愛着についておたずねします。

問4 保土ヶ谷区に住むことになった一番大きな理由は何ですか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 生まれてからずっと住んでいる | 6 子育てや子どもの教育のため |
| 2 住宅購入のため | 7 親の介護のため |
| 3 就職・転勤など仕事のため | 8 親や親族との近居・同居のため |
| 4 自分や家族の進学のため | 9 その他 (_____) |
| 5 自分や家族の結婚のため | |

問4-1 問4で「生まれてからずっと住んでいる」以外に○をつけた方へおうかがいします。保土ヶ谷区を住居地を選んだ理由は何ですか。 (○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 交通の便が良いから | 7 これからもっと発展する地域だから |
| 2 勤め先や通学先までの距離が近いから | 8 保土ヶ谷区に思い入れがあるから |
| 3 自然環境が身近に多くあるから | 9 子育て・教育環境が良いから |
| 4 家賃や住宅の価格が手ごろだから | 10 治安が良く安心・安全だから |
| 5 親や子、親族などが近くに住んでいるから | 11 近隣と良好な関係を築けそうだから |
| 6 まちなみや景観、街の雰囲気が気に入ったから | 12 その他 (_____) |

問5 これからもずっと保土ヶ谷区に住み続けたいと思いますか。 (○は1つだけ)

- | | | |
|------------|-------------|----------------|
| 1 住み続けたい | 3 たぶん転居する | 5 考えていない・わからない |
| 2 たぶん住み続ける | 4 転居が決まっている | |

問5-1 問5で「たぶん転居する」または「転居が決まっている」に○をつけた方へおうかがいします。その理由は何ですか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 住宅購入のため | 7 子育てや教育のため |
| 2 通勤・通学のため | 8 通院のため |
| 3 親や子と同居・近隣に住むため | 9 他に住んでみたい場所があるため |
| 4 生まれ育った土地に戻るため | 10 保土ヶ谷区に魅力や愛着を感じないため |
| 5 交通が不便なため | 11 その他 (_____) |
| 6 買い物等が不便なため | 12 特別な理由はない |

問6 あなたはどのくらい保土ヶ谷区に愛着を感じていますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 愛着を感じる | 3 あまり愛着を感じない |
| 2 やや愛着を感じる | 4 愛着を感じない |

■ 地域との関わりや地域活動についておたずねします。

問7 ア あなたは日頃、隣近所の方とどのような付き合い方をしていますか。(○は1つだけ)

イ 今後の理想として、隣近所の方とどのような付き合い方をしていきたいですか。

(○は1つだけ)

	困った時はいつも相談したり、お互いに助け合ったりする	気のあった人と親しくしている	見かけたら世間話や立ち話をする	挨拶だけする程度	挨拶はしないが、顔は知っている	顔もよく知らず、つながりもない
(記入例) 各項目	①	2	3	4	5	6
ア 日頃の付き合い方	1	2	3	4	5	6
イ 理想の付き合い方	1	2	3	4	5	6

問8 地域の方々が主体となって様々な活動が行われていますが、あなたは地域で行われる何らかの地域活動に関わったことがありますか。(○は1つだけ)

- 1 団体の役員など中心となって参加、または、取り組んだことがある
- 2 行事に参加したことがある
- 3 全く関わったことがない

問9 どのような活動であれば参加、または、取り組めるとお考えですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1 高齢者などの食事会・配食サービス | 8 地域で気軽に集まれる居場所づくり |
| 2 高齢者の見守り・支えあい・訪問活動
(民生委員活動・災害時要援護活動など) | 9 ごみ出し・買い物等の生活支援 |
| 3 障害や発達に心配がある方の通所・通学支援 | 10 スポーツや健康づくりに関する活動 |
| 4 障害がある方のための外出時の付き添い | 11 文化・芸術などを楽しむサークル活動 |
| 5 未就学児の子育てに関する活動
(育児相談・子育てサロンなど) | 12 お祭り・運動会など住民同士の交流イベント |
| 6 青少年の育成に関する活動
(青少年指導員・子ども会など) | 13 ごみ拾い・花の手入れなどの美化活動 |
| 7 高齢者や障害者、子どもとの交流 | 14 外国籍の方への支援 |
| | 15 その他 (_____) |
| | 16 わからない・思いつかない |

問10 上記、問9の1～15の項目のうち、今後地域の中で充実してほしい活動はどれですか。

下の四角の中に数字をご記入ください。

(最大3つまで)

--	--	--

問11 今後の地域活動に関して、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1 団体の役員など中心となって活動したい | 4 行事やイベントの参加だけなら関わりたい |
| 2 団体の役員にはなりたくないが、役員のお手伝いはできる | 5 参加するつもりはない |
| 3 地域活動に興味はあり、今後何かしてみたい | 6 その他 (_____) |
| | 7 どのような地域活動があるのかわからない |

問12 より多くの方が地域活動に参加できるようにするためには、何が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1 誘ってくれる人がいる	8 活動に参加するための知識を習得できる 講習会・研修会がある
2 趣味や特技を生かせる	9 活動に困った時の支援、相談に乗ってくれる 場所や人がいる
3 一緒に活動する仲間がいる	10 役員や委員等の任期が明確である
4 オンライン等で参加できる	11 その他 (_____)
5 少額でも報酬がある	12 分からない・思いつかない
6 初めての方が参加しやすい工夫がある (体験会や同じ境遇の人がいるなど)	
7 活動内容や場所などを事前を知ることができる	

問13 あなたが住んでいる地域の民生委員・児童委員^{※1}が行っている活動の中で、知っているものはどれですか。
(○はいくつでも)

1 高齢者等の見守り・支えあい・訪問活動	5 福祉保健に関する相談・専門機関へのつなぎ役
2 子育て中の親子の交流の場としての子育て サロンの運営	6 民生委員・児童委員 ^{※1} がいることを知らない
3 地域の交流の場としての食事会や高齢者向け サロンの運営	7 その他 (_____)
4 共同募金の呼びかけ	8 知っている活動はひとつもない

※1 民生委員・児童委員とは：厚生労働大臣から委嘱を受けて、住民から様々な生活上の困りごとや心配事に関する相談に応じ、地域ケアプラザなどの専門機関につなぐ「つなぎ役」としての役割を担っています。

■ 自治会町内会についておたずねします。

問14 ア 自治会町内会が行っている活動で知っているものはどれですか。 (○はいくつでも)
イ 自治会町内会に期待するものはどれですか。 (○はいくつでも)

※「知っており、期待する」ものがある場合は、両方に○をつけてください。

	ア	イ
	知っているもの (○はいくつでも)	期待するもの (○はいくつでも)
1 ごみ集積場所の管理や公園の清掃		
2 古紙・古布や缶・びんの回収		
3 児童・生徒の登下校等の見守り		
4 高齢者への配食サービスや訪問による見守り		
5 防災訓練や発災時の避難所の運営		
6 防犯・防火パトロール		
7 防犯灯の故障の発見や区役所への連絡		
8 掲示板へのポスター・チラシ掲出や回覧板を使った広報活動		
9 共同募金・年末たすけあい募金等の活動		
10 夏祭りや運動会、文化祭などの地域行事の実施		

問 15 あなたの世帯は、自治会町内会に加入していますか。

※加入状況が分からない場合は、ご家族の方に聞いて回答していただいても構いません。(○は1つだけ)

- 1 加入している
- 2 以前は加入していたが、現在は加入していない
- 3 加入したことがない

問 15-1 問 15 で「加入している」以外に○をつけた方におうかがいします。

加入していない理由は何ですか。

(○は3つまで)

- 1 加入の仕方が分からない
- 2 どの自治会に所属するか分からない
- 3 勧誘されていない
- 4 加入するメリットがわからない
- 5 班長や役員をやりたくない
- 6 休日や夜間の活動が忙しそう(忙しかった)
- 7 人付き合いが苦手
- 8 その他(_____)

問 16 自治会町内会に加入すると大変だと思う業務はありますか。

(○は2つまで)

- 1 総会・役員会等の会議への出席
- 2 夏祭りや運動会、文化祭など地域行事への参加
- 3 回覧板の仕分けや掲示板へのポスター・チラシ掲出
- 4 自治会町内会費や共同募金等の集金
- 5 その他(_____)
- 6 特になし

■ 福祉・健康づくりについておたずねします。

問 17 あなたは「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」を知っていますか。

(○は1つだけ)

- 1 知っており、何かしら関わっている
- 2 関わりはないが、内容は知っている
- 3 名称は聞いたことがある
- 4 全く知らない

「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」は、保土ヶ谷区のような人や団体が、つながり支えあうことで、安心していきいきと暮らせる地域にしていこうとする「保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の愛称です。

「つながり支えあい 安心していきいきと暮らせるまち ほどがや」を基本理念とし、3つのテーマに沿った取組を進めることで、基本理念の実現を目指します。



ほっとなまちづくり



問 18 あなたの住んでいる地域は、高齢者や障害者、子どもなどが「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域だと思いませんか。

(○は1つだけ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかというと思わない
- 4 そう思わない

問 19 健康づくりに関する情報のうち、知りたいと思う情報はどれですか。 (○は3つまで)

1 年齢や自分のからだにふさわしい運動の種類や方法	7 健康診断の内容や結果の見方
2 運動ができる施設や場所	8 地域で実施している健康イベントや講座
3 食事や栄養の知識・工夫	9 健康づくりを一緒に行うサークル等
4 歯の健康	10 その他 (_____)
5 たばこの害の知識や禁煙の方法	11 特になし
6 生活習慣病予防について	

問 20 過去1年間で、次の健診を受けましたか。 (各項目それぞれ○は1つだけ)

	受けた	受けていない	わからない・覚えていない
(記入例) 各項目	①	2	3
ア 健康診断・健康診査・人間ドック	1	2	3
イ 歯科健診	1	2	3

問 20-1 問 20 で1つでも「受けていない」に○をつけた方におうかがいします。

受診していない理由は何ですか。

(○は3つまで)

1 医療機関に入院や通院をしていたから	7 制度を知らなかったから
2 必要なときにいつでも医療機関で受診できるから	8 めんどうだから
3 費用がかかるから	9 必要性を感じないから
4 予約が取りにくいから	10 検査や結果に不安があるから
5 近隣に実施機関がないから	11 その他 (_____)
6 時間がとれなかったから	12 理由はない

問 21 口の健康に関することのうち、気にしていることはありますか。 (○は3つまで)

1 むし歯	6 歯の黄ばみ・着色
2 口臭	7 歯並び
3 歯ぐきの衰え	8 その他 (_____)
4 食べ物を噛む力	9 気になることはない
5 滑舌の悪さ	

問 22 普段の食生活について、あてはまるものはどれですか。 (各項目それぞれ○は1つだけ)

	毎日	週4～6日	週2～3日	ほとんど食べない
(記入例) 各項目	①	2	3	4
ア 野菜たっぷり(350g/日)の食事を食べる	1	2	3	4
イ 塩分控えめ(8g/日)の食事を食べる	1	2	3	4
ウ 1日2回以上「主食 ^{※1} +主菜 ^{※2} +副菜 ^{※3} 」の組み合わせの食事を食べる	1	2	3	4
エ 朝食を食べる	1	2	3	4

※1 主食例：ごはん、パン、めんなど

※2 主菜例：肉、魚、卵、大豆製品などメインとなるおかず

※3 副菜例：野菜、きのこ、いも、海藻などを中心としたサラダ、小鉢、汁物など

問 22-1 問 22 で朝食を「毎日」食べる以外のいずれかに○をつけた方へおうかがいします。

朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。 (○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 時間がない | 5 準備をするのが面倒 |
| 2 食欲がわかない | 6 食費を節約したい |
| 3 減量(ダイエット)したい | 7 食べる習慣がない |
| 4 朝食が用意されていない | 8 その他 (_____) |

問 23 この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を1回30分以上、週に2回以上していますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問 24 この1年間、どのくらいの頻度で歩数を測定していますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|----------|--------------------------|
| 1 毎日 | 4 ほとんど測定していない |
| 2 週1回以上 | 5 測定できない(測定できるものを持っていない) |
| 3 月に1回程度 | |

問 25 ご自身の健康を管理するために、スマートフォンやタブレットのアプリケーションやウェアラブルデバイス※1を活用したいと思いませんか。 (○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 現在すでに活用しており、今後も活用したい | 3 現在活用していないが、今後は活用してみたい |
| 2 現在すでに活用しているが、今後は活用しない | 4 活用したいと思わない |

※1 ウェアラブルデバイスとは:腕や頭部など、体に装着して健康を管理する機器のことです。

問 26 次の健康に関する言葉とその意味を知っていますか。 (各項目それぞれ○は1つだけ)

	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない
(記入例) 各項目	①	2	3
ア フレイル※1	1	2	3
イ オーラルフレイル※2	1	2	3
ウ ロコモティブシンドローム※3	1	2	3

※1 フレイルとは:高齢期に体力や気力、認知機能など、からだところの機能(はたらき)が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態のことです。

※2 オーラルフレイルとは:食べ物を噛んだり飲み込む機能が低下するなど、口に関連する機能が低下しつつある状態のことです。

※3 ロコモティブシンドロームとは:筋肉や骨、関節などの衰えによって移動に支障が出ている状態のことです。

■ 子ども・子育て支援についておたずねします。

問 27 保土ヶ谷区は、「安心して子育てできるまち」だと思いますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |

問 28 子育てをする上で、特に必要なことは何だと思いますか。 (○は3つまで)

※子育て中ではない方は、一般的な考えとしてお答えください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 親族の協力があること | 6 家の近くに遊び場があること |
| 2 親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること | 7 子どもと一緒に参加できる行事やイベントが多くあること |
| 3 親族以外にも身近な相談相手がいること | 8 子育てに関する様々な情報(育児、保健、行政サービスなど)が手に入れやすいこと |
| 4 隣近所が子育てに好意的で理解があること | 9 その他() |
| 5 必要な時に子どもを預かってくれる場があること | |

問 29 近所の子育てをしている家庭に、あなたはどのような協力(行動、声掛け)ができますか。
 ※選択肢1～9は、令和4年度に0～2歳の乳幼児を持つ子育て世帯を対象に実施した「保土ヶ谷区子育てアンケート」で、「近所の人にしてもらえると嬉しいこと(行動、声かけ)」として挙げられた項目です。
 (○は3つまで)

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1 道でみかけたら挨拶をする | 6 保育園、幼稚園、小学校などの送迎を手伝う |
| 2 「手伝えることがあったら声をかけてね」等と声かけをする | 7 子どもを預かる |
| 3 自治会町内会の行事をお知らせする | 8 公共交通機関(バスや電車)であたたくく接する |
| 4 子どもをあやしたり、話しかけたりする | 9 子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する |
| 5 荷物やベビーカーと一緒に運ぶ | 10 その他() |
| | 11 関わりたくない |

問 30 児童虐待が疑われる場面を見聞きしたとき、どのような対応を取りますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 児童相談所に相談・連絡する | 7 知り合いに相談する |
| 2 区役所(福祉保健センター)に相談・連絡する | 8 自分でその子に声をかける・相談に乗る |
| 3 警察に相談・連絡する | 9 どうしたら良いのかわからない |
| 4 保育所・幼稚園・学校に相談・連絡する | 10 その他() |
| 5 民生委員・児童委員に相談・連絡する | 11 特に何もしない |
| 6 よこはま子ども虐待ホットライン※1に相談・連絡する | |

※1 よこはま子ども虐待ホットライン：(0120-805-240 24時間フリーダイヤル無料)

あなた自身が虐待しているかもしれないと悩んだときは一人で悩まず、連絡をしてください。
 また、虐待が疑われる場合やそのような子どもに気づいた場合も、ご連絡ください。

■ 防災・減災対策についておたずねします。

問 31 ご自身の住む地区の地域防災拠点※1の場所を知っていますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

※1 地域防災拠点とは：自宅が倒壊した場合などに、避難生活を行う場所のことです。地域への物資供給や情報の発信を行います。

問 32 日ごろから災害に備えるために、知りたい情報はどれですか。 (○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1 家庭でできる自助の取組（備蓄や家の中の安全対策等） | 7 災害時の医療体制 |
| 2 共助の取組（地域で行われている防災訓練等の活動） | 8 災害時のペット対策 |
| 3 地震発生時の避難行動・避難場所 | 9 災害が発生するメカニズム |
| 4 風水害発生時の避難行動・避難場所 | 10 被災地の経験談 |
| 5 災害時の情報収集ツール | 11 その他（_____） |
| 6 発災時の自宅周辺の想定震度・浸水区域 | 12 特にない |

問 33 あなたのご家庭では、災害に備えて何日分の食料と飲料水を準備していますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 1日～3日未満 | 3 1週間以上 |
| 2 3日以上～1週間未満 | 4 準備していない |

問 34 過去5年間で、防災に関する訓練や研修会などに参加したことがありますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会 | 4 その他（_____） |
| 2 地域防災拠点で行われる訓練 | 5 何も参加したことがない |
| 3 区役所・消防署等主催の防災訓練・研修・講習会 | |

問 35 あなたのご家庭では、災害発生時に命を守るために、どのような対策をしていますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 家具の転倒防止器具の取付（家具の固定） | 5 電気火災を防止するための感震ブレーカーの設置 |
| 2 食器棚等の引き戸への開閉防止器具の設置 | 6 太陽光発電設備や蓄電池の設置 |
| 3 窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼り付け | 7 その他（_____） |
| 4 ヘルメット等の身を守る防災グッズの購入 | 8 何もしていない |

■ 花と緑・環境に対する意識についておたずねします。

問 36 あなたは、「ほどがや花憲章※1」を知っていますか。 (各項目それぞれ○は1つだけ)

	知っている	知らない
(記入例) 各項目	①	2
ア 名称	1	2
イ 活動内容	1	2



※1 保土ヶ谷区では、平成10年に市内で唯一となる「ほどがや花憲章」を制定して以来、地域・学校・事業者の方々とともに連携しながら「花と緑のあふれる魅力ある街」づくりを進めています。

問 37 「花と緑のあふれる魅力ある街」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。 (○は3つまで)

1 気軽に花や緑に触れ合える機会が増える
2 駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている
3 「ほどがや花フェスタ※1」のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている
4 花や緑に囲まれ、誰もが気軽に利用でき、地域のシンボルとなる憩いの場がある
5 花や緑を育てる活動に自由に参加でき、花や緑が次世代に受け継がれている
6 自宅など身近な場所で花や緑を育てることができる
7 その他(_____)

※1 ほどがや花フェスタとは：「ほどがや花憲章」に基づき、「花と緑のあふれる魅力ある街」づくりを進めるため、毎年5月に星川中央公園で開催している区民参加型のイベントです。

問 38 次のア～サの各項目にあげた環境に配慮した行動について、どの程度取り組んでいますか。 (各項目それぞれ○は1つだけ)

	している いつも	している たまに	いない して	してみたい 今後
(記入例) 各項目	①	2	3	4
ア ごみの分別をする	1	2	3	4
イ 買い物時にマイバッグを持参する	1	2	3	4
ウ 使い捨てとなるプラスチック製の食器をもらわないようにする	1	2	3	4
エ 食べ残し・食材の無駄を減らす	1	2	3	4
オ 購入してすぐ食べる時は「てまえどり※1」を意識する	1	2	3	4
カ フードドライブ※2に参加する	1	2	3	4
キ 環境に配慮された製品・商品を購入する	1	2	3	4
ク 横浜産・ほどがや産の野菜・果物・製品を選んで購入する	1	2	3	4
ケ 家電や照明器具の使用時には節電を意識する	1	2	3	4
コ お風呂・トイレの使用時には節水を意識する	1	2	3	4
サ 花や木、緑のカーテンなどの植物を育てる	1	2	3	4
シ その他(_____)	1	2	3	4

※1 てまえどりとは：食品小売店舗などで、購入してすぐに食べる時は陳列棚の手前にある商品を選ぶことです。

※2 フードドライブとは：各家庭で使いきれない未使用食品をフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄附する活動のことです。

■ 区制 100 周年についておたずねします。

問 39 保土ヶ谷区は令和 9 年（2027 年）※1 に区制 100 周年を迎えます。区制 100 周年を迎えることを知っていますか。 （○は 1 つだけ）

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

※1 令和 9 年は、横浜市に区制がしかれたとともに、保土ヶ谷区が誕生して 100 周年となる節目の年です。

問 40 あなたが次の 100 年にも残したいと思う保土ヶ谷区の魅力は何ですか。 （○は 3 つまで）

- | | |
|--|-------------------|
| 1 緑豊かな自然を感じられる環境
（帷子川や陣ヶ下溪谷公園・保土ヶ谷公園など） | 5 丘陵地ならではの特色ある街並み |
| 2 歴史や遺産を感じられる街並み
（東海道や帷子川沿いの工場跡地など） | 6 住民の保土ヶ谷区に対する愛着 |
| 3 活気のある商店街 | 7 地域活動や住民同士の繋がり |
| 4 都市農業・ほどがや産野菜の充実 | 8 その他（_____） |

問 41 区制 100 周年に向けた取組として、期待するものは何ですか。 （○は 3 つまで）

- | |
|---|
| 1 100 周年をお祝いする記念式典の実施 |
| 2 100 周年の歩みなどを記録した記念誌の作成 |
| 3 100 周年をイメージしたオリジナルグッズや記念品の制作 |
| 4 保土ヶ谷区公式のマスコットキャラクターの制作 |
| 5 写真や映像などで保土ヶ谷の魅力を再発見できるイベントの実施（フォトコンテストなど） |
| 6 保土ヶ谷の歴史や文化に触れることができるイベントの実施（まちあるきなど） |
| 7 子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施 |
| 8 「ほどがや花憲章」や花と緑をテーマにしたイベントの実施 |
| 9 100 周年を迎えた後も地域に愛され長く根付くような地域活動の創出 |
| 10 街中への横断幕やフラッグなどの掲出による雰囲気づくり |
| 11 地域で活躍・貢献している方の表彰 |
| 12 その他（_____） |
| 13 上記 1～11 のようなイベントや記念品といった特別なものは望まない |

■ スマートフォンの使用状況についておたずねします。

問 42 スマートフォンを持っていますか。 (○は1つだけ)

1 持っている

2 持っていない

問 42-1 問 42 で「持っている」に○をつけた方におうかがいします。

ア 現在、使用している機能は何ですか。

(○はいくつでも)

イ 今後、使用してみたいと思う機能は何ですか。

(○はいくつでも)

	ア	イ
	現在、使用している (○はいくつでも)	今後、使用したい (○はいくつでも)
1 電話・通話		
2 電子メールによるメッセージの送受信		
3 チャットアプリによるメッセージの送受信や通話		
4 ソーシャルネットワークサービス (SNS) の利用		
5 インターネット検索・情報収集		
6 ネットショッピング		
7 音楽再生・動画視聴		
8 写真・動画撮影		
9 支払い・決済		
10 地図・乗換案内・タクシーアプリ		
11 電子申請による行政手続き等		
12 アプリ等を用いたオンライン会議 (Zoom・Google Meet など)		
13 その他 ()		

■ 保土ヶ谷区の広報についておたずねします。

問 43 普段、市役所や区役所の情報を入手するとき、次の媒体をそれぞれのどのくらい見えていますか。
(各項目それぞれ○は1つだけ)

	よく 見ている	たまに 見ている	あまり 見えない	知って いるが 見えない	知らない かつ 見えない
(記入例) 各項目	①	2	3	4	5
ア 市・区のウェブサイト	1	2	3	4	5
イ 紙版の広報よこはま	1	2	3	4	5
ウ ウェブ版の広報よこはま	1	2	3	4	5
エ 保土ヶ谷区公式ツイッター	1	2	3	4	5
オ 保土ヶ谷公式インスタグラム	1	2	3	4	5
カ 地域 SNS アプリ「ピアッツァ ^{※1} 」	1	2	3	4	5
キ タウン誌などのフリーペーパー	1	2	3	4	5
ク ケーブルテレビ	1	2	3	4	5
ケ 新聞(地域情報面など)	1	2	3	4	5

保土ヶ谷区では、防災関連情報やイベント・講座の開催情報、区内の魅力スポットなど、区役所からの情報をツイッターやインスタグラムで発信しています。

保土ヶ谷区 ツイッター



保土ヶ谷区 インスタグラム



※1 ピアッツァとは：利用者同士で、イベントや子育てなど日常生活に関する情報交換などが行える地域密着型の SNS アプリのことです。

あなた自身やご家族についておたずねします。

統計上、必要なものですので、ご記入をよろしくお願いいたします。

F 1 あなたの年齢をお答えください。 (○は1つだけ)

1 18～19 歳	6 40～44 歳	11 65～69 歳
2 20～24 歳	7 45～49 歳	12 70～74 歳
3 25～29 歳	8 50～54 歳	13 75～79 歳
4 30～34 歳	9 55～59 歳	14 80 歳以上
5 35～39 歳	10 60～64 歳	15 無回答

F 2 あなたの性別をお答えください。(選択することに違和感がある場合は「無回答」に○をつけてください。) (○は1つだけ)

1 男性	2 女性	3 無回答
------	------	-------

F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。 (○は1つだけ)

1 既婚 (配偶者あり)	3 未婚
2 既婚 (離別・死別)	4 無回答

F 3-1 F 3で「既婚 (配偶者あり)」に○をつけた方へおうかがいします。
共働きをしていますか。 (○は1つだけ)

1 フルタイム共働き	3 していない
2 パートタイム共働き (夫婦のお一人、または両方がパートタイム)	4 無回答

F 4 あなたの同居の家族形態はどれにあたりますか。 (○は1つだけ)

1 単身 (一人暮らし)	4 3世代 (親と子と孫)
2 夫婦もしくはパートナーと二人暮らし	5 その他 (_____)
3 2世代 (親と子)	

F 5 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、おさんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。 (○はいくつでも)

1 子どもはいない	7 短大・大学・大学院在学中
2 小学校入学前	8 学校教育終了－未婚－同居
3 小学校在学中	9 学校教育終了－未婚－別居
4 中学校在学中	10 学校教育終了－既婚－同居
5 高校在学中	11 学校教育終了－既婚－別居
6 各種学校、専修・専門学校在学中	12 その他 (_____)

F 6 あなたの同居の家族に 65 歳以上の方はいますか。(自分も含めて) (○は1つだけ)

1 いる	2 いない
------	-------

F 7 あなたの現在のご職業（アルバイト・パート含む）はどれにあたりますか。

複数ある場合は、主なものをお答えください。

（○は1つだけ）

1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自営業主など）	6 学生
2 管理職（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など）	7 専業主夫・主婦
3 専門技術職（勤務医師、研究所研究員、技師など）	8 無職
4 事務職（事務職、営業職、教員など）	9 その他（_____）
5 現業職（生産工程、販売・サービス、運転手など）	

F 7-1 F 7で「自営業」～「学生」の中から○をつけた方へおうかがいします。

あなたの職場・学校はどこにありますか。

（○は1つだけ）

1 保土ヶ谷区内	4 東京都 23 区内
2 保土ヶ谷区以外の横浜市内	5 通勤・通学はしていない
3 横浜市以外の神奈川県内	6 その他（_____）

F 8 ア～ウの目的のために、どの交通機関を利用していますか。

複数の手段を利用する場合は、全てお答えください。

（○はいくつでも）

	1 徒歩	2 自転車	3 原動機付自転車 (ミニバイク)	4 オートバイ	5 自家用車 (送迎も含む)	6 鉄道	7 路線バス	8 タクシー	9 その他 (_____)
ア 通勤・通学									
イ 買い物									
ウ 通院									

F 9 あなたのお住まいは、どれに該当しますか。

（○は1つだけ）

1 持家（一戸建て）	4 借家（マンション・アパート・共同住宅・社宅・寮など）
2 持家（マンション・共同住宅）	5 その他（_____）
3 借家（一戸建て）	

F 10 あなたは、保土ヶ谷区にどのくらいの期間お住まいになっていますか。 （○は1つだけ）

1 5年未満	4 15年～20年未満	7 40年以上
2 5年～10年未満	5 20年～30年未満	
3 10年～15年未満	6 30年～40年未満	

アンケートはこれで終了です。同封の返信用封筒に入れて、

令和5年6月26日(月)までにポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 保土ヶ谷区区民意識調査

令和6年2月発行

発行：横浜市 保土ヶ谷区役所 総務部 区政推進課
〒240-0001
横浜市保土ヶ谷区川辺町2番地9
TEL 045-334-6227
FAX 045-333-7945
Email ho-kusei@city.yokohama.jp

調査委託機関：株式会社地域環境計画